

Complete Dynamics

マスターエディション

macOS用

バージョン 24.13 について

このマニュアルについて

このマニュアルはあなたにふさわしいか?

Complete Dynamicsのドキュメントは、多くのバリエーションが用意されています。

プログラム構成によって、異なるマニュアルを用意しています。

- プログラムのエディション。Browser、Practitioner、Masterのいずれか。
- コンピュータの種類Apple OS-X、Windows、iPad、iPhone、Android。
- 様々な国際言語。

適切なマニュアルは、あなたの状況にぴったりと適合します。

もし、完璧なマニュアルを読んでいないと思われる場合は、当社のウェブサイトwww.completedynamics.com、セクションドキュメントにアクセスし、そこからマニュアルをダウンロードしてください。

翻訳

Complete Dynamicsの新バージョンがリリースされるたびに、英語版マニュアルを最新版に更新しています。変更されたテキストの翻訳には、余分な時間がかかることがあります。

マニュアルの未翻訳部分は、このテキストのように印刷されたオリジナルの英語テキストが表示されます。

ようこそ

Complete Dynamics - Master Editionへようこそ。

Complete Dynamics ソフトウェアプログラムは、コンピュータを使ったComplete Repertory の読解と学習において、究極の体験を提供します。ホメオパシーの専門家の間では、Complete Repertory は、その完全性、正確性、原典の網羅性で世界的に有名です。

Apple macOS®, Microsoft Windows®, Linux®, Apple iOS®, Android®でご利用いただけます。

マスターエディションでは、以下のことが可能になります。

- Complete Repertory 全文を多言語で読み、学ぶことができます。
- 患者のケースファイルを管理する。
- 分析を行う。
- マテリアメディカの本を読む。
- より経験豊富で要求の厳しいプロのホメオパスのためだけに作られた、多くの機能を使用します。

このページは、プログラムの使い方を説明するためのものです。

まずは、はじめにのセクションで、可能性の概要を知ることをお勧めします。

Complete Dynamics が、プロのプラクティショナー、学生、教師、研究者に関わらず、あなたのホメオパシーライフを豊かにすることを心から願っています。

Complete Dynamicsの開発チームです。

はじめに

直感的なデザイン

Complete Dynamics は、ホメオパシーの専門的なバックグラウンドを持つ人が、直感的に使えるように設計されています。プログラムの一部の機能は、ちょっとしたコツを覚えれば、より効果的に使うことができます。特に、*Jump to* フィールドや、*Find* フィールドを使用する場合は、その傾向が顕著です。これらのテーマに関するヘルプセクションを読んで、その強力な可能性について学んでください。数分の時間を割く価値はあります。

マウスを使う

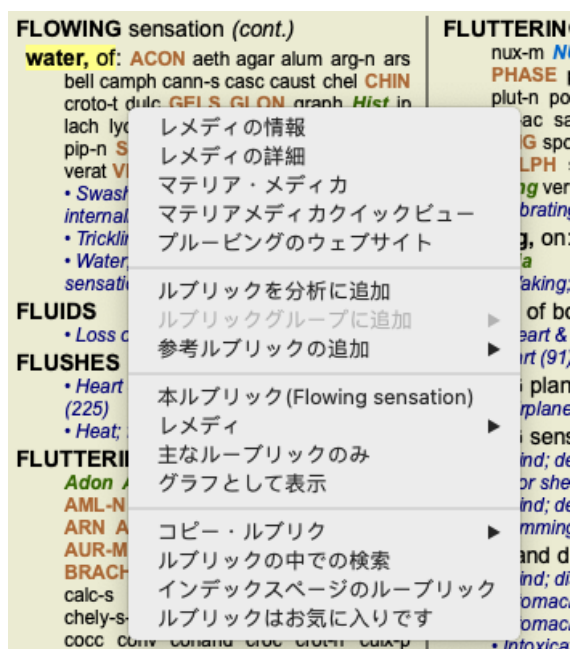
コンピュータのマウスやトラックパッドは、一般的な作業を素早く行ったり、情報を呼び出したりするのに使用します。マウスカーソルが小さな手の形に変わると [BUTTON:hand]、クリックするとカーソルのあるアイテムに何らかのアクションが行われます。例：参考文献をクリックすると、参照したループリックに即座にジャンプします。また、ダブルクリックすることで、クリックした項目の詳細情報を取得できる場合もあります。例：書籍内のレメディの略語をダブルクリックすると、詳細情報を表示するダイアログが表示されます。スクロールホイールは、本のルビを素早く移動するために使用します。マウスやトラックパッドが横スクロールに対応している場合、本のページを素早くめくるために使用する機能です。

キーボードを使う

キーボードでほとんどの機能を素早く操作できるため、マウスとキーボードの使い分けが非常に少なくなりました。キーボードを使って本の中をすばやく移動したり、キーボードショートカットでメニューオプションにアクセスしたりすることができます。メニューを開くと、メニューのオプションと一緒にキーボードショートカットが表示されます。キーボードショートカットの概要については、キーボードショートカットをご覧ください。

ポップアップメニュー

多くの場面で、ポップアップメニューは機能への素早いアクセスを可能にします。右クリックでメニューが開きます（Mac はctrl-Click）。
例



複数選択可

選択した1つの項目だけでなく、複数の項目に対して同時にある作業を行いたい場合が多々あります。このような場合、まず複数の項目を選択し、選択されたすべての項目に対してタスクを実行することができます。

複数の項目を選択する方法

以下の例は、*Analysis* モジュールのルブリックを複数選択したものです。他の場所でも、原理は同じです。

1本の線を選択するには、マウスでクリックするだけです。


```

16 Mind; Activity; night
1 Mind; Activity; midnight, until
9 Mind; Activity; sleeplessness, with
83 Mind; Activity; hyperactive
488 Mind; Cheerfulness
26 Mind; Noises; aversion to
32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; pain
1 Mind; Theorizing; evening
2 Mind; Theorizing; night

```

行の範囲を選択するには、最初の行をクリックし、シフトキーを押しながら、最後の行をクリックします。

```

16 Mind; Activity; night
1 Mind; Activity; midnight, until
9 Mind; Activity; sleeplessness, with
83 Mind; Activity; hyperactive
488 Mind; Cheerfulness
26 Mind; Noises; aversion to
32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; pain
1 Mind; Theorizing; evening
2 Mind; Theorizing; night

```

1行の選択範囲を変更するには、*cmd*キーを押しながら、その行をクリックします。また、テキストの左側をクリックすることで、1行の選択範囲を変更することができます。(Book とFind モジュールで、ループリックラベルの左側をクリックすると、次のようになります。)

```

16 Mind; Activity; night
1 Mind; Activity; midnight, until
9 Mind; Activity; sleeplessness, with
83 Mind; Activity; hyperactive
488 Mind; Cheerfulness
26 Mind; Noises; aversion to
32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; pain
1 Mind; Theorizing; evening
2 Mind; Theorizing; night

```

すべての行を選択するには、*cmd*キー と*shift*キー の両方を押しながら、行をクリックします。

```

16 Mind; Activity; night
1 Mind; Activity; midnight, until
9 Mind; Activity; sleeplessness, with
83 Mind; Activity; hyperactive
488 Mind; Cheerfulness
26 Mind; Noises; aversion to
32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; pain
1 Mind; Theorizing; evening
2 Mind; Theorizing; night

```

複数の選択項目に対して動作するアクション

ブックモジュール

Book モジュールでは、複数のループリックを選択することができます。複数のループリックに対応する機能もあれば、1つのループリックのみに対応する機能もあります。

複数のループリックで動作する機能です。:

- 分析にループリックを追加する。(メニューオプション *症例 / 追加, control-R*, ポップアップメニューオプション *ループリックを分析に追加*).
- 分析中の所定の症状にループリックを追加する。(メニューオプション *症例 / ループリックグループに追加 / 新しい症状*, ポップアップメニューオプション *ループリックグループに追加 / 新しい症状*).
- ループリックラベルをクリップボードにコピーする。(メニューオプション *ブック / コピー・ループリック / コピー (レメディを除く)*, ポップアップメニューオプション *コピー・ループリック / コピー (レメディを除く)*).
- ループリックラベルを、そのレメディとともにクリップボードにコピーする。(メニューオプション *ブック / コピー・ループリック / コピー (ループリックとレメディ)*, ポップアップメニューオプション *コピー・ループリック / コピー (ループリックとレメディ)*).

その他の機能は、1つのループリックで動作します。複数のループリックを選択した場合、最後にクリックしたループリックが使用されます。

モジュールの検索

Find モジュールでは、複数のループリックに関する機能はBook モジュールと同じです。

ケースモジュール

Case モジュールにおいて、複数選択で動作する関数は以下の通りです。:

- 複数の解析結果を削除する。(メニューオプション*症例/ 分析を削除する*, ポップアップメニューオプション*分析を削除する*).
- 複数の解析結果を別のケースに移動することができます。(メニューオプション*症例/ 分析を症例に移す*, ポップアップメニューオプション*分析を症例に移す*).
- 複数の処方箋を削除する。(メニューオプション*症例/ 処方の削除*, ポップアップメニューオプション*処方の削除*).

解析モジュール

Analysis モジュールで、複数選択で動作する関数は以下の通りです。:

- 複数のルビや症状を削除する。(メニューオプション*症例/ 削除*, ポップアップメニューオプション*削除*).
- 重み係数を割り当てる。(メニューオプション*症例/ 重み/ 重みx 2*, ツールバーボタン $\times 2$, ポップアップメニューオプション*重み/ 重みx 2*). などなど.
- 症状の分類クラスを割り当てる。(メニューオプション*症例/ 症状分類/ プソラ*, ツールバーボタン○, ポップアップメニューオプション*症状分類/ プソラ*). などなど.
- グループ化機能のすべて
- すべてのフィルタリング機能
- ルビコンラベルをコピーする機能、救済措置の有無.
- 選択したループリックをコピーして、別の分析に貼り付けることができます。(メニューオプション*分析/ コピー*, \mathbb{C} , ポップアップメニューオプション*その他/ コピー*, メニューオプション*分析/ ペースト*, \mathbb{V} , ポップアップメニューオプション*その他/ ペースト*).
- 選択したループリックを別の症状へ上下に移動させる。(メニューオプション*移転/ 上へ*, ツールバーボタン \uparrow , ポップアップメニューオプション*その他/ 上へ*, メニューオプション*移転/ 下へ*, ツールバーボタン \downarrow , ポップアップメニューオプション*その他/ 下へ*).
- 複数のループリックを選択すると、分析結果エリアにそのループリックの救済措置が強調表示されます.
- 分析結果領域で複数の改善策を選択すると、その改善策が含まれるループリックが強調表示されます.

MMモジュール

レパートリー MM モジュールのセクションで、複数のループリックに関する機能は、Book モジュールと同じです。

インデックスタブ

Complete Dynamicsの主要なモジュールには、インデックスタブと呼ばれる方法でアクセスできます。モジュールを有効にするには、タブをクリックするか、メニューから選択するか (View オプション)、キーボードショートカットを使用します。

Practitioner edition これらは、Index, Book, Find, Case, Analysis and Materia Medica.



Index モジュールでは、テキストとグラフィックの両方を用いて、本の章にすばやくアクセスすることができます。詳しくはヘルプのインデックスモジュールをご覧ください。

Book モジュールはレパートリーを表示します。印刷された本のように読むだけでなく、より凝縮された形で見ることができます。詳細はヘルプセクションブックモジュールをご覧ください。

Find モジュールは、書籍内のループリックやレメディを検索するための強力な機能を備えています。詳しくはヘルプのFind moduleをご覧ください。

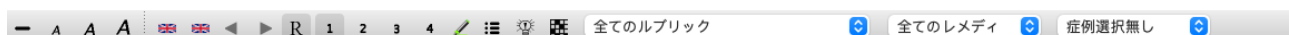
Case モジュールにより、患者のケースファイルを作成し、整理することができます。詳しくはヘルプセクションケースモジュールをご覧ください。

Analysis モジュールは、お客様のケースの分析に使用されます。詳しくはヘルプの解析モジュールをご覧ください。

Materia Medica モジュールはレメディーに関する情報を提供します。詳細は、ヘルプセクションMateria Medica モジュールを参照してください。

ボタンバー

画面上部には、よく使う機能に素早くアクセスできるボタンバーを配置。



ボタンをクリックすると機能が有効になり、マウスをボタンに合わせるとその機能の簡単な説明が表示されます。

ライセンス

ライセンス購入方法

商用ライセンスの購入は、メニューのオプションから直接ウェブショップにアクセスできます。

- *Practitioner Edition* のライセンスについて。(メニューオプションヘルプ/ ライセンスの購入).

- の翻訳版については、Complete Repertory をご覧ください。(メニューオプションヘルプ/ の翻訳を購入する。Complete Repertory).

お支払いは、PayPal、クレジットカード、銀行振込（オプションは国によって異なります）で、安全かつ簡単に行うことができます。

ご注文後、ライセンス情報および請求書をメールにてお送りします。

ライセンスと価格

Complete Dynamicsの商用ライセンスは、サブスクリプションベースで購入することができます。

1ヶ月などの短期間、または長期間の購読が可能です。購入する期間が長ければ長いほど、魅力的な価格となります。

購読には以下が含まれます。

- **Complete Dynamics** を1台のコンピュータで無制限に使用できます。練習だけでなく、自宅でもパソコンを使っている、あるいはノートパソコンが余っている？ 問題ありません、料金に含まれています。(下記のセクション追加ライセンスを参照)。
- ソフトウェアの無償アップグレード。新機能を継続的に追加しています。追加費用なし、料金に含まれています。
- **Complete Repertory** の無料アップグレード。Complete Repertoryの新しいリリースがあるたびに、追加費用なしでいち早く入手することができます。
- **無料テクニカルサポート**。私たちは、ソフトウェアには問題があつてはならないと考えています。つまり、私たちの技術サポートは、他社で経験したことのないものなのです。私たちは、お客様の声に耳を傾け、本当にお客様の問題を解決します。時間をかけずに、コストをかけずに。
ただし、WindowsなどのOSのサポートは含まれていません。私たちは自分たちのソフトウェアをサポートしますが、マイクロソフトには自分たちのソフトウェアをサポートさせましょう。申し訳ございませんでした。

どのようなエディションが必要ですか？

無料の*Browser Edition*、有料の*Practitioner Edition*、*Master Edition* のどちらが必要かは、お客様のニーズによって異なります。

	ブラウザー	プラクティショナー	マスター	
インデックス	✓	✓	✓	インデックスモジュールで、対話形式で簡単に選択できます。
書籍	✓	✓	✓	Complete Repertory 全文を読む。
言語切替	✓	✓	✓	一度に表示できる言語は1つですが、言語の切り替えは可能です。
多言語対応		✓	✓	2カ国語の同時表示が可能です。
探す	✓	✓	✓	レパートリーの中からテキストとレメディを探す。
ケース		✓	✓	ケースマネージメント、処方箋、印刷
分析		✓	✓	解析（レパートリー化）機能。
マテリアメディカ		✓	✓	マテリアメディカモジュール
レパートリーエディター			✓	自分でレパートリーを増やしていく。
レパートリー選択			✓	好きな作家を選ぶなど、独自のレパートリーフィルターを定義することができます。
レパートリーインデックス			✓	ルビをより早く見つけることができる、専用のレパートリー索引を搭載。
グラフィカルなレパートリー			✓	レパートリー・ループリック間の関係を図式化したもの。
改善提案者			✓	関連する症状のレメディーをもとに、小さなルビに追加のレメディーを提案する。
ハイライトの発見			✓	レパートリーまたはマテリアメディカでの検索結果をハイライト表示します。
マテリアメディカで探す			✓	マテリアメディカの本で検索する。
同義語			✓	言葉の同義語で探す。
解析式			✓	解析のための数式を独自に定義する。
解析フィルター			✓	解析結果の高度なフィルタリング
マテリアメディカ編集部			✓	自分のマテリアメディカを編集することができます。

キングダム分析			✓	キングダムとファミリーをベースに分析。
鑑別診断			✓	レメデイの差別化を図るための強力なモジュールです。
高度な機能			✓	その他、経験豊富で要求の厳しいプロフェッショナルのためのオプションが多数用意されています。

価格

ライセンス価格については、当社のウェブサイト www.completedynamics.com, section *Pricing* をご覧ください。

追加ライセンス

お客様は、所有する複数のコンピュータで Complete Dynamics を使用する権利を有します。
 ライセンス購入後、他のコンピュータ用の追加ライセンスをお送りすることができます。そのためには、他のコンピュータのライセンス番号が必要です。ライセンス番号は、他のコンピュータ（複数可）のメニュー/ヘルプ/ユーザーとライセンスのダイアログで確認できます。
 追加のライセンス番号（複数可）をお送りいただくだけで、追加のライセンス情報をメールでお送りします。メニューから、*Menu / Help / General Feedback* で、お問い合わせいただけます。

一定の制約があります。お客様は、ライセンスを使用する権利を有します。


- コンピュータを導入してください。
- 自宅のパソコンで
- ノートパソコン

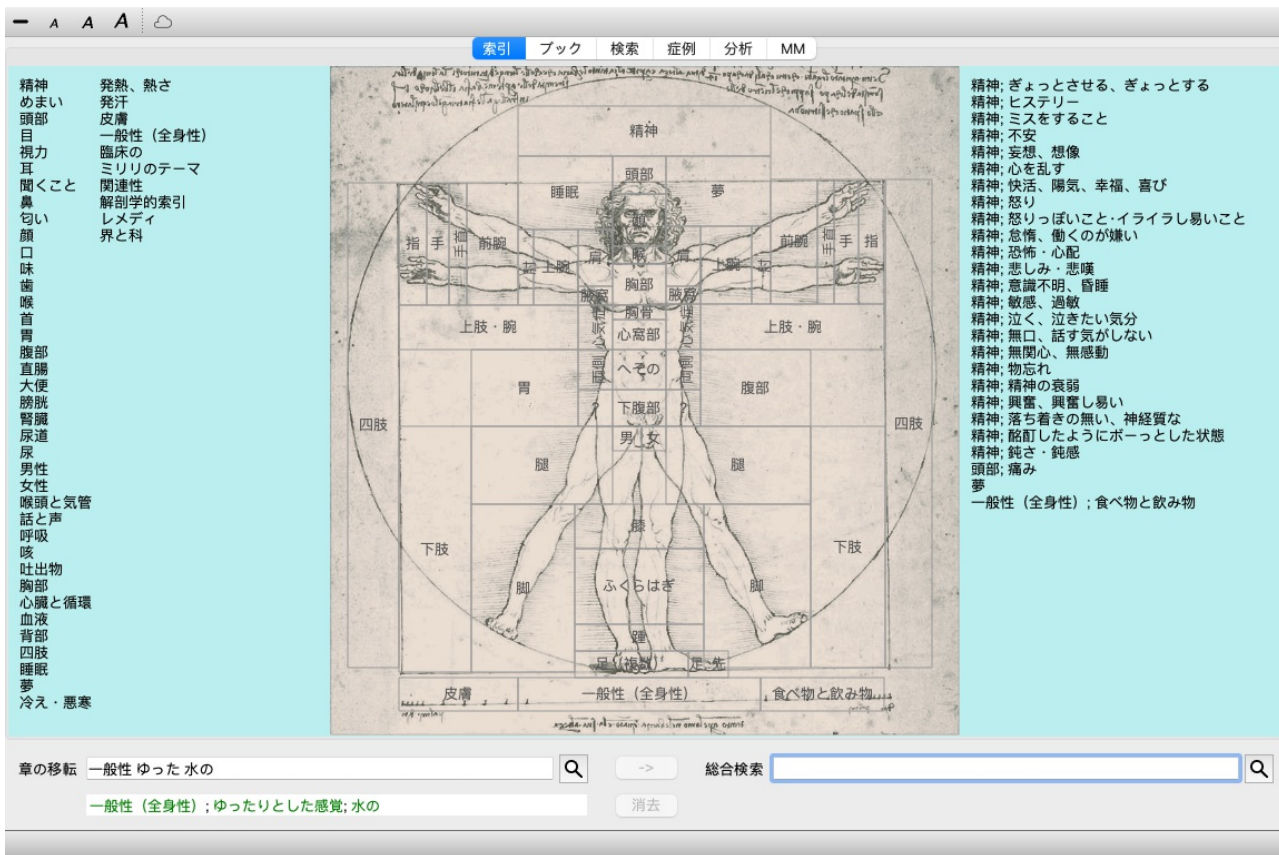
状況が異なる場合は、弊社にお問い合わせください。

お客様のライセンスは個人的なものであり、お客様自身、お客様の部下、またはお客様のために働く家族のみが使用することができます。

インデックスモジュール

Index モジュールを開く

Index タブをクリックし、Index モジュールに移動します。(メニューオプション表示/索引, )



The screenshot shows the 'Index' module interface. At the top, there's a navigation bar with tabs: '索引' (Index), 'ブック' (Book), '検索' (Search), '症例' (Cases), '分析' (Analysis), and 'MM'. Below this, the main area is divided into three sections. On the left, a vertical list of categories includes '精神' (Mind), 'めまい' (Dizziness), '頭部' (Head), '目' (Eyes), '視力' (Vision), '耳' (Ears), '聞くこと' (Hearing), '鼻' (Nose), '顔' (Face), '口' (Mouth), '味' (Taste), '喉' (Throat), '首' (Neck), '腹部' (Abdomen), '直腸' (Rectum), '大便' (Defecation), '膀胱' (Bladder), '腎臓' (Kidneys), '尿道' (Urethra), '尿' (Urination), '男性' (Male), '女性' (Female), '喉頭と気管' (Larynx and Trachea), '話と声' (Speech and Voice), '呼吸' (Respiration), '咳' (Cough), '吐出物' (Excretions), '胸部' (Chest), '心臓と循環' (Heart and Circulation), '血液' (Blood), '背部' (Back), '四肢' (Limbs), '睡眠' (Sleep), '夢' (Dreams), and '冷え・悪寒' (Cold and Chills). In the center, a Vitruvian Man diagram is overlaid with a grid. Japanese labels are placed on the diagram to identify body parts: '精神' (Mind), '睡眠' (Sleep), '夢' (Dream), '指' (Finger), '手' (Hand), '腕' (Arm), '肩' (Shoulder), '胸部' (Chest), '腹部' (Abdomen), '大腿' (Thigh), '小股' (Groin), '脚' (Leg), '足' (Foot), '皮膚' (Skin), '一般性 (全身性)' (General (Systemic)), and '食べ物と飲み物' (Food and Drink). On the right, a list of related terms and symptoms is provided, including '精神; ぎょっとさせる、ぎょっとする' (Mind; to startle, to be startled), '精神; ヒステリー' (Mind; Hysteria), '精神; ミスをする' (Mind; to make a mistake), '精神; 不安' (Mind; Anxiety), '精神; 妄想、想像' (Mind; Delusion, Imagination), '精神; 心を乱す' (Mind; to disturb the mind), '精神; 快活、陽気、幸福、喜び' (Mind; Cheerful, Sunny, Happy, Joy), '精神; 怒り' (Mind; Anger), '精神; 怒りっぽいこと・イライラしやすいこと' (Mind; To be easily angered, to be irritable), '精神; 怠惰、働くのが嫌い' (Mind; Laziness, Dislike of working), '精神; 恐怖・心配' (Mind; Fear, Worry), '精神; 悲しみ・悲嘆' (Mind; Sadness, Lamentation), '精神; 意識不明、昏睡' (Mind; Unconsciousness, Coma), '精神; 敏感、過敏' (Mind; Sensitive, Hyper-sensitive), '精神; 泣く、泣きたい気分' (Mind; To cry, to be in a mood to cry), '精神; 無口、話す気がしない' (Mind; Taciturnity, No desire to talk), '精神; 無関心、無感動' (Mind; Indifference, Unmoved), '精神; 物忘れ' (Mind; Forgetfulness), '精神; 精神の衰弱' (Mind; Mental weakness), '精神; 興奮、興奮しやすい' (Mind; Excitement, Easily excited), '精神; 落ち着きの無い、神経質な' (Mind; Restless, Nervous), '精神; 脇目したようにボーっとした状態' (Mind; Dazed, as if looking sideways), '精神; 鈍さ・鈍感' (Mind; Slowness, Insensitivity), '頭部; 痛み' (Head; Pain), '夢' (Dream), and '一般性 (全身性); 食べ物と飲み物' (General (Systemic); Food and Drink). At the bottom, there are search bars and filters. The first bar is labeled '章の移動' (Move Chapter) and contains the text '一般性 ゆった水' (General Drowsy Water). The second bar is labeled '総合検索' (General Search) and is empty. Below these bars, there are buttons for 'Q' (Search), '>' (Next), and '消去' (Clear). A green bar at the bottom indicates the current filter: '一般性 (全身性); ゆったりとした感覚; 水' (General (Systemic); Drowsy feeling; Water).

Indexモジュールの使用

インデックスモジュールにより、レポートリーの内容に素早くアクセスすることができます。

3つのエリアに分かれています。

- 左側はレポートリーの章立てのインデックスです。
- 中段はグラフィカルなインデックスです。
- 右側には、よく使われるルーブリックのクイックインデックスがあります。

文字や画像の上にマウスを移動させる。選択できるところでは、カーソルが手になります [BUTTON:hand]。項目をクリックするだけで、アクションを実行できます。

複数のレポートリーを使用する

レポートリーのライセンスをお持ちの場合、レポートリーのチャプターへのインデックスにもレポートリー名が表示されます。


Complete Repertory (...)

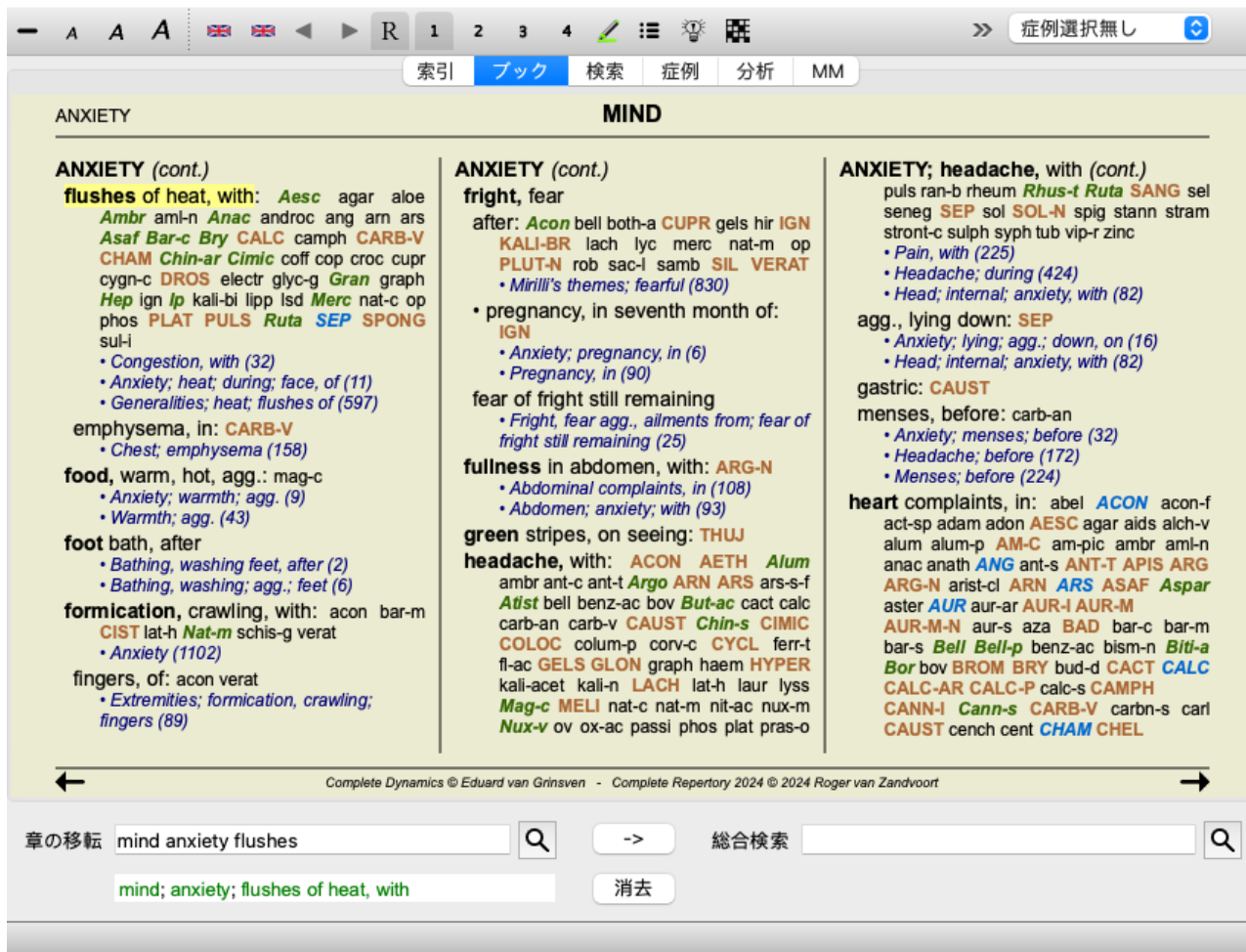
レポートリー名をクリックすると、次のレポートリーが選択され、そのチャプターが表示されます。

また、ポップアップメニューを表示し、レポートリーを選択することもできます。

ブックモジュール

Book モジュールを開く

Book タブをクリックして、Book モジュールに移動します。(メニューオプション表示/ブック, )。次の例では、ルビ（心；不安；火照り）のところで本を開き、。



The screenshot shows the 'Book' module interface. At the top, there's a navigation bar with tabs: 索引 (Index), **ブック** (Book), 検索 (Search), 症例 (Cases), 分析 (Analysis), and MM. Below the navigation bar, the main content area is divided into three columns under the heading 'MIND'. The first column is titled 'ANXIETY (cont.)' and lists various symptoms and remedies. The second column is titled 'ANXIETY (cont.)' and lists various symptoms and remedies. The third column is titled 'ANXIETY; headache, with (cont.)' and lists various symptoms and remedies. At the bottom, there's a search bar with the text 'mind anxiety flushes' and a search button. Below the search bar, there's a list of results: 'mind; anxiety; flushes of heat, with' and a '消去' (Delete) button.

ウィンドウサイズを変更すると、ブックレイアウトが自動的に調整されます。
ウィンドウを大きくすると、本はエステのダブルページレイアウトで表示されます。

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven

Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort

章の転載 mind anxiety flushes

mind; anxiety; flushes of heat, with

総合検索

消去

対処方法と参考文献

ルビがその文章を示し、その後にRemediesとReferencesが続く。

ABUSIVE, insulting: ABIES-N ACON
acon-f agath-a agki-p **Alco** aloe **AM-C**
am-m **ANAC ANDROC** aran-b am ars
ars-s-f **Astac** atro **AUR** aur-m-n aur-s
BELL beryl-n **Biti-a** bor bov bufo **Bung-f**
bute-j calc-i **CAMPH** canth carc **CAUST**
cere-s **CHAM** chin cic **CON** cor-r coriand
CROC cub culx cupr-ar der **Dulc** elae
falco-p **FERR** fic **GALL-AC** gels gink
granit-m **Hafn** harp helx-t hema-h **HEP**
hist hydr hydr-ac **HYOS** ign iod **IP**
KALI-AR kali-c **KALI-N LAC-C** lac-d lach
lava-e lava-f lava-h lil-t loxo-r **LYC** LYSS
m-aust mag-c mangi med **MERC**
MOSCH nat-c nat-m **Nit-ac NUX-V** ozon
PALL PETR **PHYSALA-P** PLAT plb
Raja-s ran-b rhus-g sac-l **Sanic Sarr**
SCORP SENEG SEP **Sil** spong **Staph**
STRAM stront-c **SULPH** syph **TARENT**
thlaspi **THUJ** thul-f trich-d **Tritic-v** **TUB**
URAN **VERAT** verbe-h viol-t vip **Xeno**
• General (1769)
• Answer, answering, answers; offensive (1)
• Contemptuous (119)
• Cursing, swearing, desires (142)
• Insolence, impertinence (51)
• Nipping at everyone (1)
• Quarrelsomeness, scolding (286)
• Rudeness (92)
• Mirilli's themes; offensive (460)
• Psychological themes; aggression (357)

レメディーは4つのグラデーションで表示することができます。
グラデーションは、異なるスタイルと色で見せることで区別しています。

この例では、これらが該当します。

- 4: **CHAM, LYC, NUX-V.**

- 3: **ABIES-N, ACON, AM-C, ANAC, ANDROC, AUR ...**

- 2: **Alco, Bung-f, Dulc, Ip, Nit-ac, Sarr, Sil, Staph.**

- 1: acon-f, agath-a, agki-p, aloe, am-m ...

救済措置のリストに続いて、他のルビを参照することができます。この例では、10個のリファレンスがあります。
参照先をクリックすると、参照したループリックにジャンプします。

フル・コンパクト・ビュー

レメディーやリファレンスを隠す

コンパクト表示では、ループリックのみがレメディーの数とともに表示され、レメディーを隠すことで画面の空きスペースを最適に利用することができます。(メニューオプション表示 / レメディ / レメディを表示, ツールバーボタン R). 全画面表示とコンパクト表示の切り替えは、スペースバーで行います。

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven

Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort

章の移動 mind anxiety flushes

mind; anxiety; flushes of heat, with

総合検索

消去

スペースバーを2回押すと、参考文献も非表示になり、ループリック名だけが表示されます。すべてのレメディーとリファレンスを表示/非表示にするには、ページの任意の余白をダブルクリックします。また、ループリックのラベルをダブルクリックすることもできます。

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven

Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort

章の移動 mind anxiety flushes

mind; anxiety; flushes of heat, with

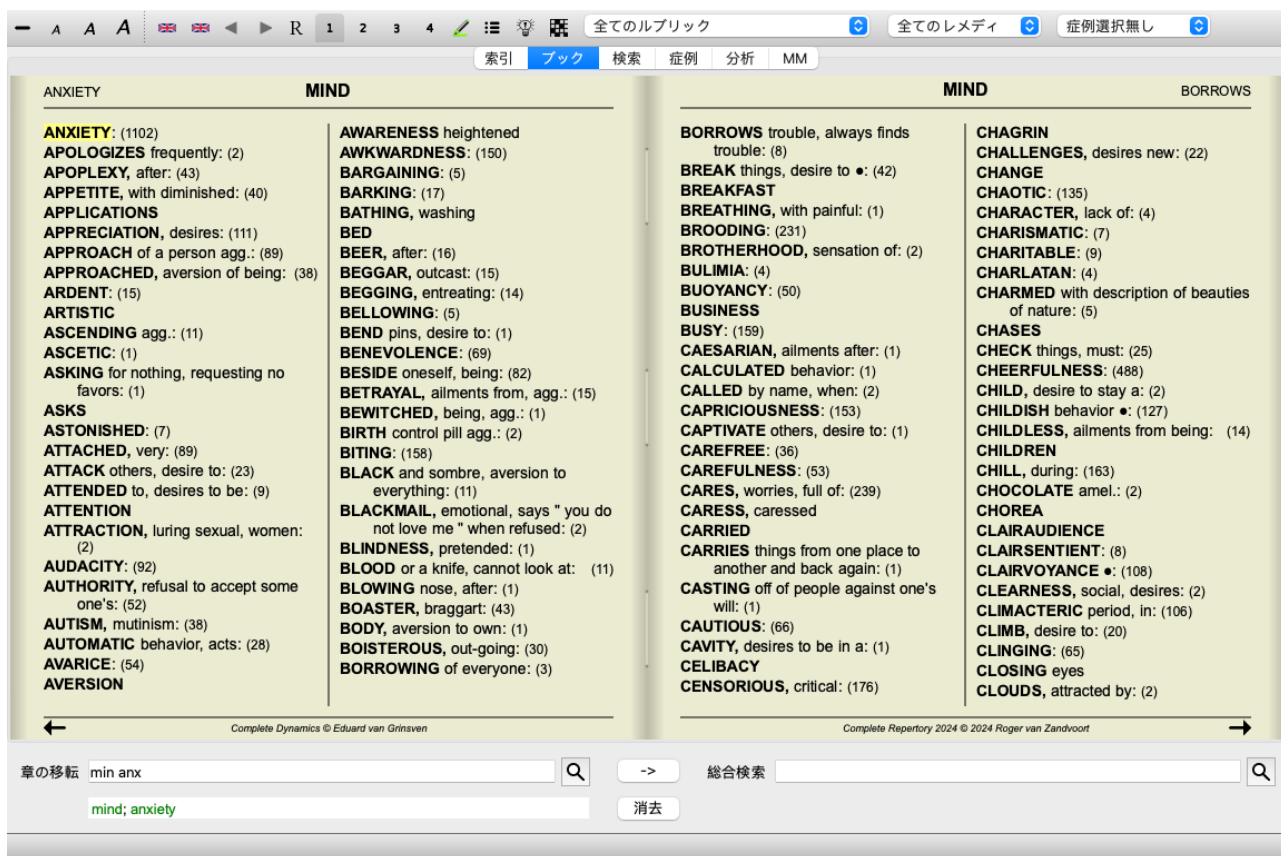
総合検索

消去

サブループルの非表示

また、サブルビをすべて非表示にし、レパートリーのトップレベルのルビのみを表示することも可能です。(メニューオプションブック/主なループリックのみ, ポップアップメニューオプション主なループリックのみ)。

このオプションは、レパートリーの構造を学びたい人に非常に有効です。



すべてのルビを表示するように簡単に戻せます。(メニューオプションブック/主なループリックのみ, ポップアップメニューオプション主なループリックのみ)。
また、ルビをクリックすると、通常のレパートリー表示に戻ることができます。

救済措置の並べ替え順

救済措置の印刷順序は、デフォルトではアルファベット順です。
レメディーを関連性の高い順に表示することができます。(メニューオプション表示/レメディ/重要性の順, ポップアップメニューオプションレメディ/重要性の順). (shift+スペース)を押します。

アルファベット順の並べ替え

ABUSIVE, insulting: ABIES-N ACON
acon-f agath-a agki-p **Alco** aloe **AM-C**
am-m **ANAC** **ANDROC** aran-ix arm ars
ars-s-f **Astac** atro **AUR** aur-m-n aur-s
BELL beryl-n **Biti-a** bor bov bufo **Bung-f**
bute-j calc-i **CAMPH** canth carc **CAUST**
cere-s **CHAM** chin cic **CON** cor-r coriand
CROC cub culx cupr-ar der **Dulc** elae
falco-p **FERR** fic **GALL-AC** gels gink
granit-m **Hafn** harp helx-t hema-h **HEP**
hist hydr hydr-ac **HYOS** **IGN** iod **Ip**
KALI-AR kali-c **KALI-I** **LAC-C** lac-d lach
lava-e lava-f lava-h lil-t loxo-r **LYC** **LYSS**
m-aust mag-c mangi med **MERC**

重要度順に並べ替え

ABUSIVE, insulting: NUX-V VERAT
CHAM **LYC** **MOSCH** **THUJ** **CON** **HYOS**
CAMPH **GALL-AC** **MERC** **SCORP**
CROC **KALI-I** **PLAT** **STRAM** **URAN**
AUR **LYSS** **PETR** **AM-C** **HEP** **BELL**
ABIES-N **ANAC** **ANDROC** **CAUST** **IGN**
KALI-AR **PALL** **SULPH** **ACON** **FERR**
LAC-C **PHYSALA-P** **SENEG** **SEP**
TARENT **TUB** **Nit-ac** **Ip** **Bung-f** **Dulc**
Astac **Sanic** **Alco** **Sarr** **Sil** **Staph** **Biti-a**
Hafn **Raja-s** **Tritic-v** **Xeno** am-m lava-e
cor-r lach hydr agath-a aur-m-n bov
calc-i carc falco-p gels helx-t nat-c nat-m
ran-b acon-f agki-p aloe aran-ix arm ars

その他の情報

書籍内のテキストにマウスを乗せると、そのテキストに関する追加情報が適宜表示されます。
この情報は、ウィンドウの左下にあるメッセージエリアに表示されます。
上の例では、マウスを動かすと次のような情報が表示されます。

ループリックテキストにマウスオーバー
ABUSIVE

Kent p.1; Synthetic p.I-7; Generale p.1

このループリックは、3つの原典に由来しています。

- ケント・レパートリー、1ページ目

- バーテル&クランカーズ・シンセティック・レパートリー」第1巻
7ページ

- Künzli's Repertorium Generale, page 1.

マウスオーバーでレメディ略語**LYC**を表示

lyc = Lycopodium clavatum (Bönninghausen, Gallavardin, Jahr, Knerr)

レメディコード**lyc**は、*Lycopodium clavatum* の略です。

出典として使用した著者は、*Bönninghausen, Gallavardin, Jahr and Knerr* である。

改善策をダブルクリックすると、別ウィンドウで詳細情報が表示されます。

マウスオーバーで参照**Contemptuous**

Mind; contemptuous

ループリックは、*Mind; Contemptuous*。

表示する情報を限定する

フル/コンパクト表示の切り替えに加え、表示するレメディの数を制限することが可能です。

キーボードの1、2、3、4キーを押すことで行います。これにより、表示されるレメディは、指定されたグラデーション1、2、3、4以上のものだけに限定されます。(メニューオプション表示/レメディ/全てのグレード, ツールバーボタン **1**, メニューオプション表示/レメディ/グレード2+, ツールバーボタン **2**, メニューオプション表示/レメディ/グレード3+, ツールバーボタン **3**, メニューオプション表示/レメディ/グレード4, ツールバーボタン **4**, ポップアップメニューオプションレメディ/全てのグレード, ポップアップメニューオプションレメディ/グレード2+, ポップアップメニューオプションレメディ/グレード3+, ポップアップメニューオプションレメディ/グレード4).

例、再びループリックで**Mind; Abusive**:

キーボードキー4を押す。
グレード4のレメディのみ。

キーボードキー3を押す。
グレード3、4。

キーボードキー2を押す。
グレード2、3、4

キーボードキー1を押す。
すべてのレメディを表示します。

**ABUSIVE, insulting: CHAM LYC NUX-V
VERAT (+120)**

ABUSIVE, insulting: ABIES-N ACON
AM-C ANAC ANDROC AUR BELL
CAMPH CAUST **CHAM** CON CROC
FERR GALL-AC HEP HYOS IGN
KALI-AR KALI-I LAC-C **LYC** LYSS
MERC MOSCH **NUX-V** PALL PETR
PHYSALA-P PLAT SCORP SENEG
SEP STRAM SULPH TARENT THUJ

ABUSIVE, insulting: ABIES-N ACON *Alco*
AM-C ANAC ANDROC *Astac* AUR
BELL *Biti-a* *Bung-f* CAMPH CAUST
CHAM CON CROC *Dulc* FERR
GALL-AC *Hafn* HEP HYOS IGN *Ip*
KALI-AR KALI-I LAC-C **LYC** LYSS
MERC MOSCH *Nit-ac* **NUX-V** PALL
PETR PHYSALA-P PLAT *Raja-s* *Sanic*
Sarr SCORP SENEG SEP *Sil* *Staph*

ABUSIVE, insulting: ABIES-N ACON
acon-f agath-a agki-p *Alco* aloe **AM-C**
am-m **ANAC** ANDROC aran-ix am ars
ars-s-f *Astac* atro **AUR** aur-m-n aur-s
BELL beryl-n *Biti-a* bor bov bufo *Bung-f*
bute-j calc-i **CAMPH** canth carc **CAUST**
cere-s **CHAM** chin cic **CON** cor-r coriand
CROC cub culx cupr-ar der *Dulc* elae
falco-p **FERR** fic **GALL-AC** gels gink
granit-m *Hafn* harp helx-t hema-h **HEP**
hist hydr hydr-ac **HYOS** IGN iod *Ip*
KALI-AR kali-c **KALI-I** LAC-C lac-d lach
lava-e lava-f lava-h lil-t loxo-r **LYC** LYSS
m-aust mag-c mangi med **MERC**

文字サイズ

文字を小さくしたり、大きくしたりすることができます。(メニューオプション表示/テキストを縮小, ツールバーボタン **A**, メニューオプション表示/標準サイズ, ツールバーボタン **A**, メニューオプション表示/テキストの拡大, ツールバーボタン **A**, ポップアップメニューオプションテキストを縮小, ポップアップメニューオプション標準サイズ, ポップアップメニューオプションテキストの拡大).

ボタン アクション

A 文字を小さくする。

A オリジナルの文字サイズです。

A 文字を大きくする。

ナビゲーション、キーボードとマウスの使い方


本の中の移動は、キーボード、マウス、ボタンバー、メニュー (Menu / Navigate menu) で行うことができます。

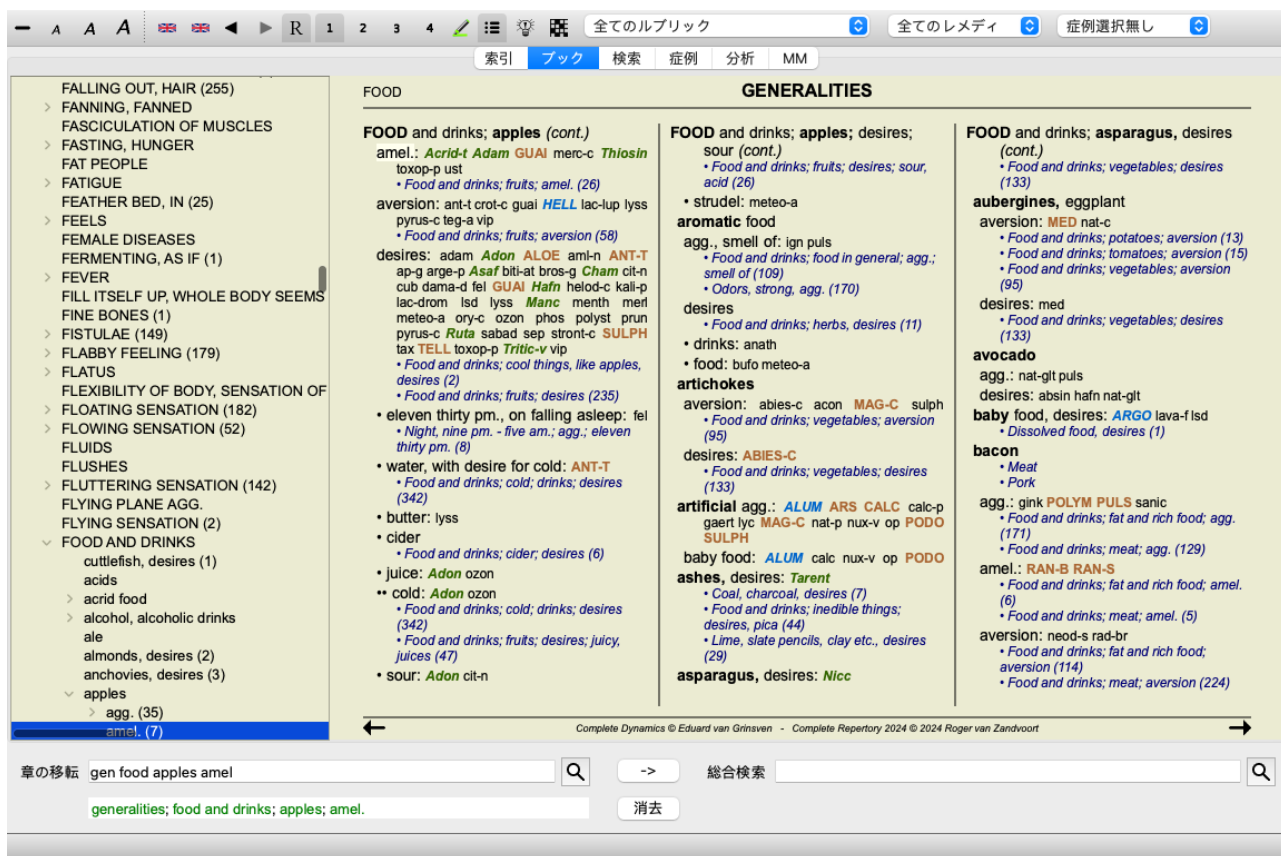
マウスのスクロールは、マウスの小さなホイールや、ノートパソコンに内蔵されているトラックパッドで行います。マウスによっては、スクロールホイールが上下にしかスクロールできないものもありますが、最近のマウスは左右にもスクロールできることが多いようです。左/右スクロールは、不便と思われる場合は、メニューの**Preferences** の設定で無効にすることができます。

ボタン	キーボード	マウス	アクション
	上	上へスクロール	前のループリック
	ダウン	スクロールダウン	次のループリック
⇧	シフト-上	Shift-Scroll up	前回の主なルビ。
⇩	シフト-Down	Shift-スクロールダウン	次の主なルビ。
	Alt-Up	Alt-Scroll up	同レベルの以前のループリック。
	Alt-Down	Alt-スクロールダウン	同レベルの次のループリック
←	左ページアップ	左スクロール	前のページへ
→	右ページダウン	右スクロール	次のページ
⇐	Shift-Left	Shift-左方向にスクロール	前の章へ
⇒	シフト-右	Shift-右方向にスクロール	次の章へ
◀	Alt-左		歴史をさかのぼる。 他のループリックを参照した後に、元の場所に戻るために使用します。
▶	Alt-右		歴史を飛び越える。 前のオプションと組み合わせて使用します。この2つは、ウェブブラウザでよく使われるキーのようなもので、ウェブページを前後に移動するために使用します。
	Shift-Cmd-(キー)		チャプターのクイックオープニング。 M - マインド G - Generatities など、その他のキーについては、メニューバーのショートカット（本メニュー）をご覧ください。

ブックインデックスツリー

Book モジュールには、印刷された本のようにレパートリーのルビとレメデイが表示されます。このレイアウトは読み物としては便利だが、レパートリーのルビ構造が見えない。

Book モジュールでは、レパートリー構造を示す *Index Tree* を追加表示することができます。インデックスツリーの表示/非表示を切り替えることができます。（メニューオプションブック/本の索引を表示, ツールバーボタン).



インデックスツリーは、Bookモジュールで現在選択されているループリックを常にハイライト表示します。Bookモジュールで他のループリックに移動すると、インデックスツリーは自動的に調整されます。同様に、インデックスツリーでループリックを選択すると、Bookモジュールは同じループリックに移動します。

Jump to フィールドも現在選択されているループリックを表示するように調整されることに注意してください。これらのオプションを組み合わせることで、レパートリーをナビゲートするための最大限の自由とパワーを得ることができます。

ループリックをクリップボードにコピーする


ループリックをクリップボードにコピーして、ワープロなどの他のアプリケーションに貼り付けると便利な場合があります。(ポップアップメニューオプションコピー・ルブリク/コピー (レメディを除く), ポップアップメニューオプションコピー・ルブリク/コピー (ルブリックとレメディ)).

ループリックの名前をクリップボードにコピーするには、*Cmd-C (Control-C)*.

Cmd-C を2回 (1秒以内) 押すと、ループリック名がコピーされ、ループリック内の全てのレメディも一緒にコピーされます。

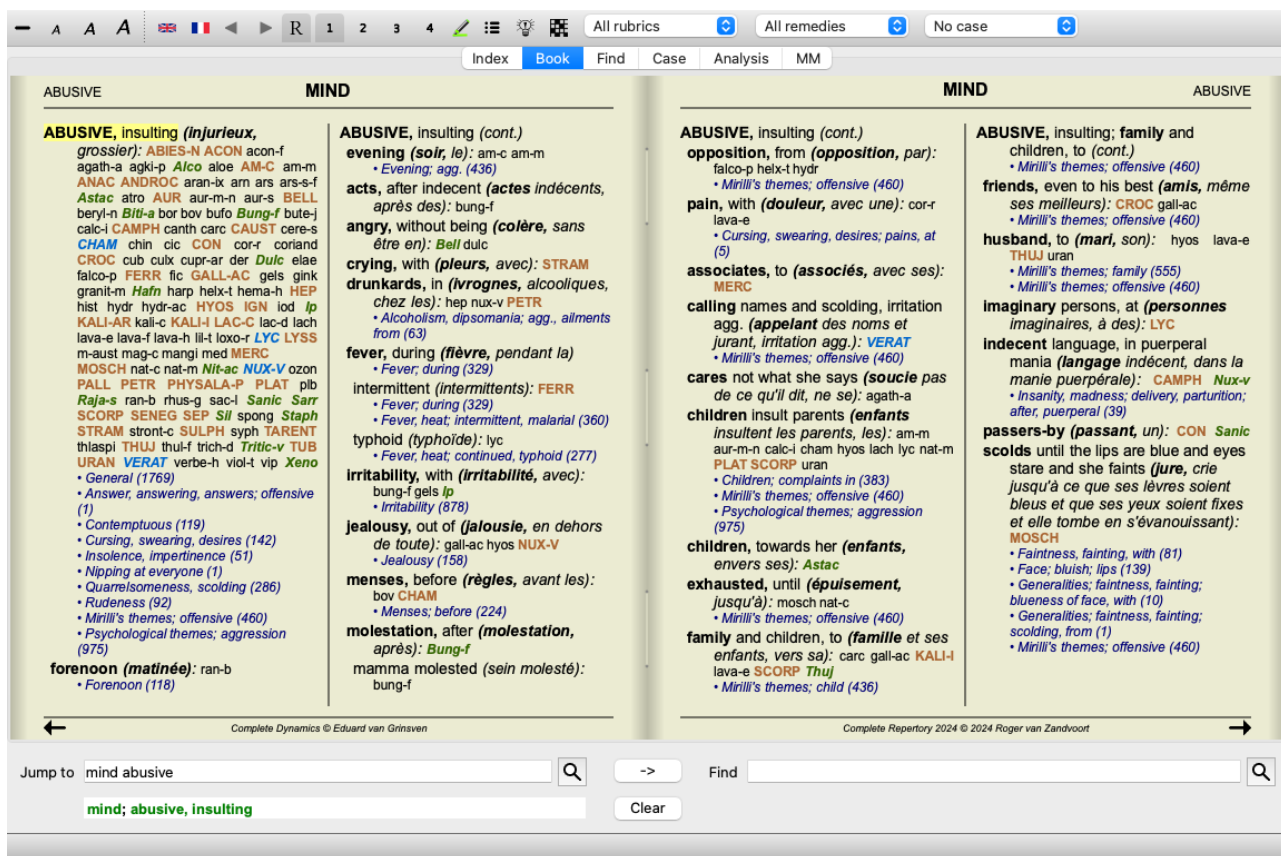
言語選択

プログラムのエディションとライセンスによっては、Complete Repertoryのいくつかの言語オプションが利用できる場合があります。

使用可能な言語オプションは、メニューまたはボタンバーから選択することができます。(メニューオプションブック/言語/英語, ポップアップメニューオプション言語/英語). (フラッグボタン、)

Practitioner 版では、第二言語を選択して (オプションはライセンスに依存)、ループリックのテキストを別の言語で表示することができます。

例えばフランス語。(メニューオプションブック/言語/大体言語: フランス語, ポップアップメニューオプション言語/大体言語: フランス語).



お気に入りのループリック

あるループリックは重要だが、他のループリックはそれほど重要でないと考えるかもしれない。これは特に、*Find* モジュールを使ってループリックを探す場合に当てはまります。自分にとって重要なループリックを特に強調するために、お気に入りマークを付けることができます。

ループリックをお気に入りとしてマークするには、ループリックをクリックし、マークを付けます。(メニューオプションブック/ループリックはお気に入りです、ポップアップメニューオプションループリックはお気に入りです)。

お気に入りとしてマークされたルビは、下線が引かれます。

任意のループリックをお気に入りとしてマークすると、*Find* モジュールに追加フィールドが表示され、お気に入りループリックのみに検索を限定することができます。

グラフィカルなレパートリー表示

レパートリーは一般的に書籍で表現されます。ルビやレメディを調べるのに便利ですが、レパートリーの構造を可視化できるのは一部だけです。

Book Index ツリーを利用すると、レパートリーの階層構造をより簡単に視覚化し、ナビゲートすることができます。

状況によっては、ループリックの意味の類似性から、他のループリックとの関連性を確認することに興味を持つかもしれません。そのような場合は、グラフィカルに表現する方がはるかに簡単です。

ループリックのグラフィカルなレパートリービューを開くことができます。(メニューオプションブック/グラフとして表示, *⌘-G*, ポップアップメニューオプションレパートリー構造を表示)。また、Bookページモジュールのポップアップメニューも利用できます。

例として、ループリック *Mind; Anger; evening agg.; trembling with, after eating* を見てみましょう。このループリックは、いくつかの基本的な要素で構成されています。

- 精神症状
- 怒
- を震え上がらせている。
- 夕方から悪化する。
- 食後に悪化する。

ループリックには救済措置が1つしかないので、これらの要素が少ない類似のループリックを検討することは非常に興味深いかもしれません。

また、他のループリックとの関係もグラフでわかりやすく表示されます。

さまざまなグラフィックビューがあり、それぞれが異なる目的をもっています。

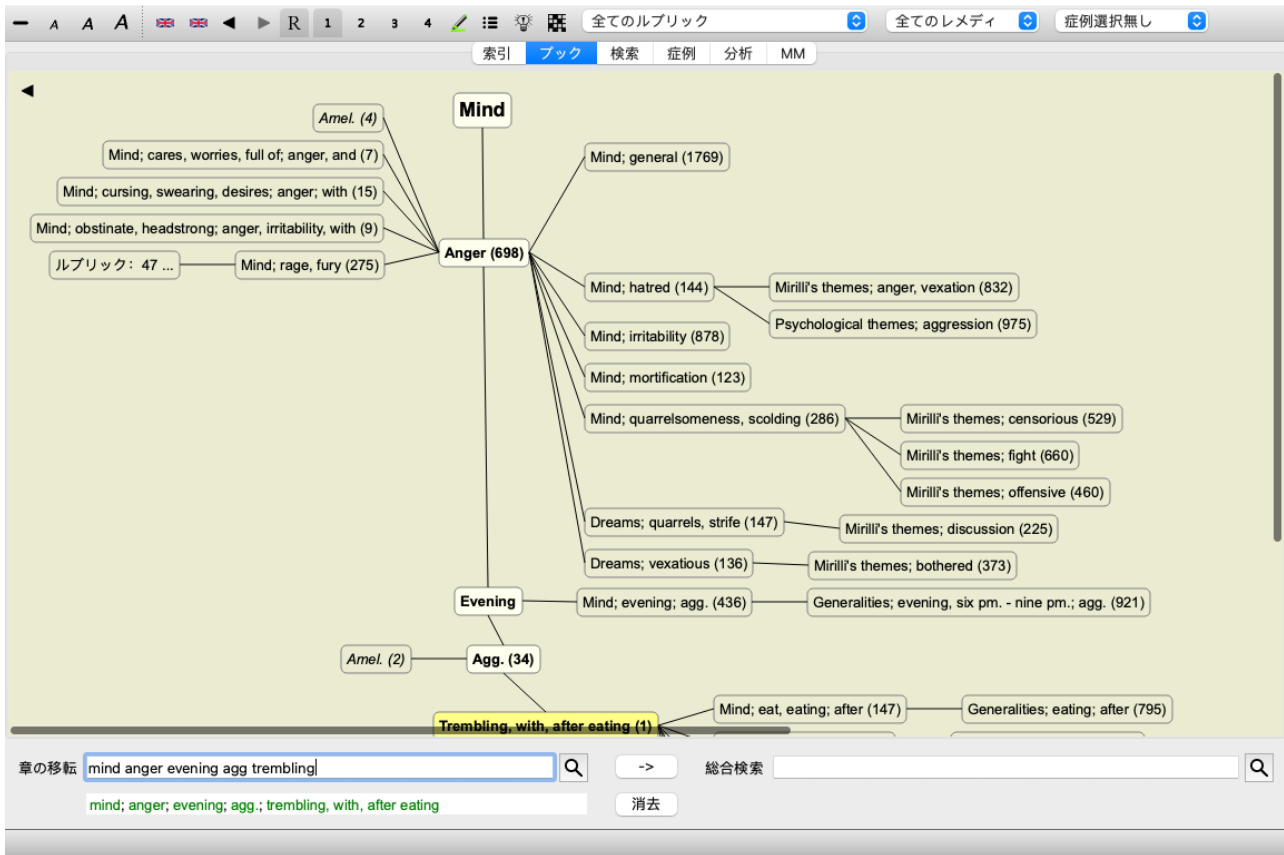
- レパートリー構成 (メニューオプションブック/レパートリー構造を表示, ポップアップメニューオプションレパートリー構造を表示)。

このビューは、レポートリーの構造を研究するのに最適なツールです。

- 一般的なループリック (メニューオプションブック / 一般的なループリックを表示, ポップアップメニューオプション - 一般的なループリックを表示).

このビューは、上記のループリックの例のように、より一般的なループリックを素早く選択するのに役立ちます。

レポートリー構造図



ブロックの縦線はループリックのレベルを示しており、*Mind* から始まり、*Trembling, with, after eating* で終わっている。

左側には、極性ルビが表示されています。この例では、ペア *Amel.* - *Agg.*。

また、左側には、より詳細な症状を説明したループリックが表示されます。

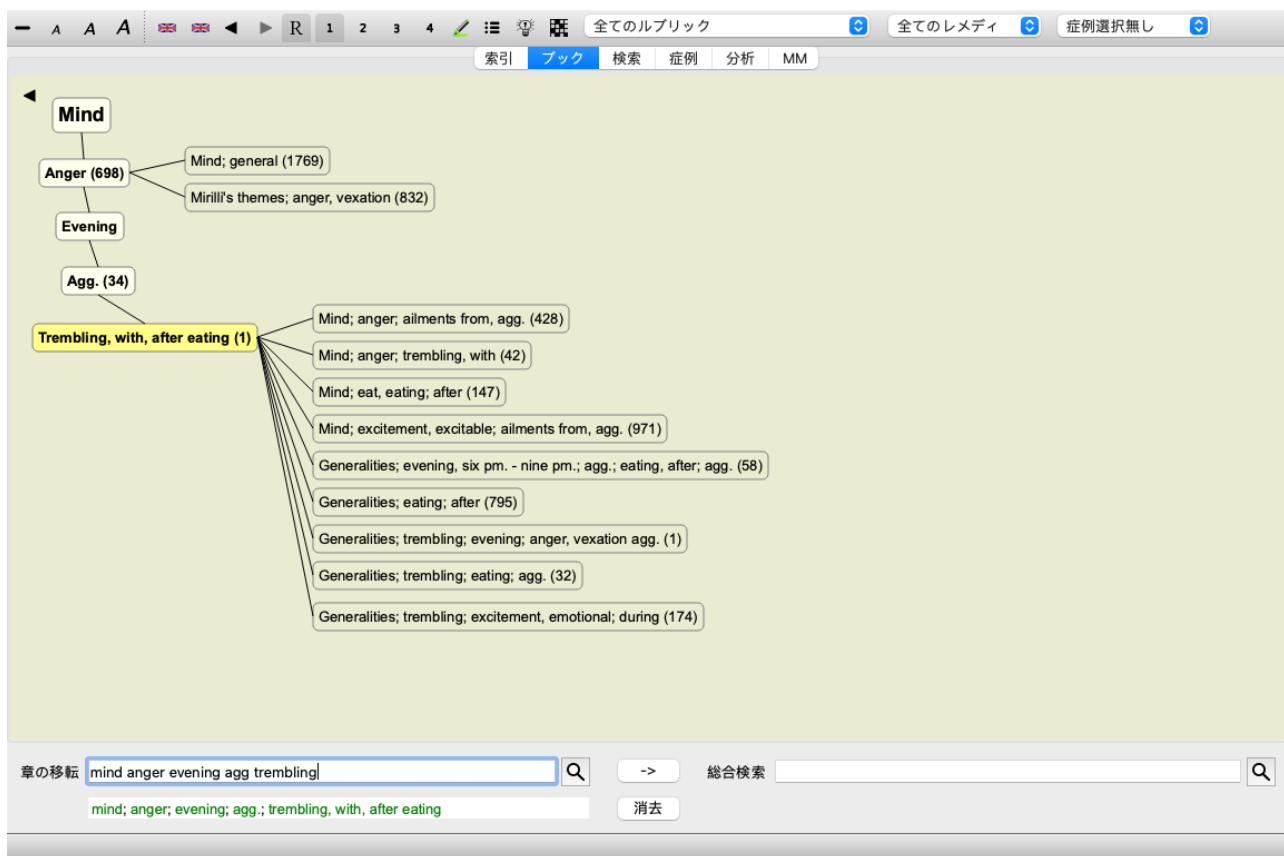
右側には、関連するループリックが表示されます。

ループリックの一つをダブルクリックすると、そのループリックが新たに選択されたループリックになります。

グラフ表示では、分析にループリックを追加することも可能です。そのためのオプションは、ループリックのポップアップメニューにあります。


通常のブック表示に戻るには、◀をクリックするか、メニューオプション *Menu / Book / Show as graph* のチェックを外してください。ポップアップメニューには、オプション (テキストとして表示する) もあります。

一般的なループリック表示



この画面では、選択したループリックと類似しているが、より一般的なループリックのみに限定して表示されます。救済措置が少ない詳細なルビに対して、迅速に代替案を選択することができます。

2つの異なるビューを簡単に切り替えることができます。(メニューオプションブック/レパートリー構造を表示, ポップアップメニューオプションレパートリー構造を表示, メニューオプションブック/一般的なループリックを表示, ポップアップメニューオプション一般的なループリックを表示)。

選択したグラフィック表示を変更することなく、テキストとグラフィックのレパートリー表示を素早く行き来することができます。(メニューオプションブック/グラフとして表示, -G)。

改善提案

患者さんの症状が完全に一致し、それがたまたま全く同じレベルのレパートリーであることもあります。しかし、より多くの場合、その症状は同じ内容では現れず、部分的またはより一般的なものでしかないのです。


例として、ループリック *Mind; Anger; evening agg.; trembling with, after eating* を見てみましょう。このループリックは、いくつかの基本的な要素で構成されています。

- 精神症状
- 怒
- を震え上がらせている。
- 夕方から悪化する。
- 食後に悪化する。

ループリックには救済措置が1つだけ書かれています。あなたが探しているレメディーは、より一般的なループリックのいずれかに含まれている可能性が高いですし、より一般的な症状の構成要素をいくつか組み合わせることで見つかる可能性があります。

例えば、こんな感じです。

- 心; 怒り; 震え、で
- 心; 怒り; 夕方; agg.
- 心; 食べる、食べる、後

ボタン  を押すと、関連するループリックをもとにした分析結果が表示されます。解析結果は画面右側に表示されます。

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven

Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort


章の転移 mind anger evening agg trembling

mind; anger; evening; agg.; trembling, with, after eating

総合検索 during convulsions

消去

関連するループリックがない場合、分析では単にループリックの救済措置のリストを関連性の高い順に表示し、分析でカウントするようにします。もちろんこの情報も非常に有用ですが、「レメディー提案」機能の目的は、ループリックに記載されているレメディーに代わるものを考える手助けをすることなのです。

分析に使用したループリックの概要、ループリックごとの救済措置の詳細などは、のボタンを押すことで確認できます。表形式の分析が表示されます。

Complete Repertory 2021 © 2021 Roger van Zandvoort

Unnamed case

Analysis July 5, 2021, (Rubrics from Remedy Suggester)

Analysis uses 10 rubrics.

Index Book Find Case Analysis MM

Jump to mind anger evening agg trembling

mind; anger; evening; agg.; trembling, with, after eating

Find during convulsions

Clear

Locate remedy

Standard

この一時的な解析は、現在のケースに作成され、ケースを閉じると削除されます。

レメディーフィルター

表示されるレメディーを制限することが可能です。
ツールバーには、レメディーのグループを選択するためのオプションが用意されています。

よく使われるグループ（鉱物、植物、動物、ノゾーデ）があらかじめ設定されています。他のグループを選択するには、オプション**その他...**を選択すると、ダイアログが表示され、キングダム & ファミリーセクションにあるグループの中から1つを選択することができます。

> Acids (72)

Agents & toxins (56)

Alkaloids (85)

Amides (9)

Amino acids (22)

> Anaerobes (27)

> Animals (322)

> APG II taxonomy

> Bacteria (62)

Bloods (37)

Body products (85)

Building stones (3)

Cell constituents (8)

Cosmic bodies (3)

Cosmos (23)

Disease cultures (67)

Diseased material (35)

Drugs (26)

Dyes (19)

Electromagnetism (18)

> Elements (722)

Enzymes (5)

フィルター

リストに永久に追加する ☐

KINGDOMS & FAMILIES; ACIDS: acet-ac acon-ac
agarin ami-sal-ac amp amyg-am asc-ac benz-ac betin bor-ac
brom-ac but-ac camph-ac carb-ac chr-ac chrys-ac cit-ac
coenz-a cortico cystin d-phenyl des-ac fl-ac form-ac fumar-ac
gaba gall-ac guan hemog hip-ac histid hydr-ac hydrobr-ac
l-leuc iod-ac kali-ar kali-x keto-ac l-leuc l-phenyl lac-ac lanol
mal-ac methion mur-ac n-leuc nit-ac nit-m-ac ol-suc oro-ac
ox-ac ph-ac pic-ac prol pyro-ac rib-ac sal-ac salol sarcol-ac
succ-ac sul-ac sul-ac-aro sulo-ac tann-ac tart-ac tell-ac thio-ac
threnin trypt tyrin ur-ac vali

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven

取り消す

同意

フィルターオプションを使用して、適切なレメディーグループを素早く見つけることができます。

Australian funnelweb spiders (1)

Burrowing spiders (1)

Cellar spiders (1)

Daddylongleg spiders (1)

Funnel web spiders (3)

Hunting spiders (10)

Jumping spiders (2)

Orb web spiders (2)

Recluse spiders (3)

Sand recluse spiders (2)

Sixeyed sicariid spiders (5)

Spiders (22)

Spiders (23)

Tangle web spiders (6)

Web spiders (11)

Whitetailed spiders (1)

Widow spiders (5)

Wolf spiders (1)

フィルター

リストに永久に追加する ☐

KINGDOMS & FAMILIES; TAXONOMY; common
names; **English; Australian funnelweb spiders:**
atra-r

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven

取り消す

同意

ブックモジュール標準レパートリーフィルター

通常、Book モジュールには、Complete Repertory の全内容が表示されます。

標準的なフィルターがいくつか用意されています。メニューバー、またはページの端にあるポップアップメニューから選択することができます。(メニューオプションブック/ブックで選択/ブックの選択完了, ポップアップメニューオプションブックで選択/ブックの選択完了).

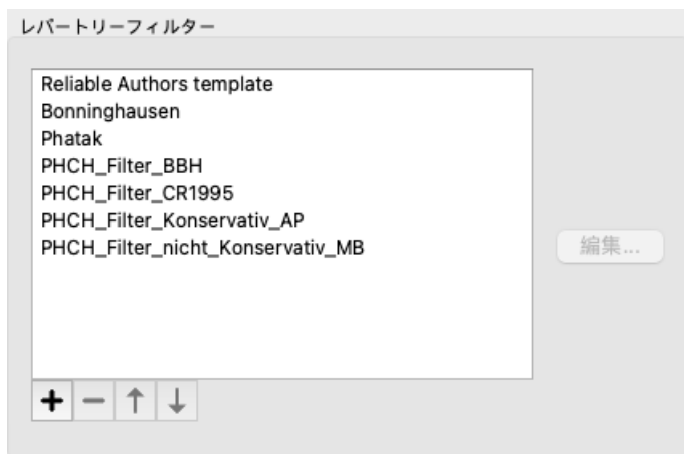
コンプリート	フィルタリングなしで、すべてのレパートリーを表示します。
クラシック	古典的な作家のルビとレメディーだけを表示する。そのため、主なクラシック音楽のレパートリーに登場するルビや、1930年以前の書籍からのレメディーに限定しています。
信頼できる著者	George Vithoukasによると、最も信頼性が高いと思われる著者のみを表示する。
ケント・ループリック	レパートリーはケント社のレパートリーから派生したループリックに限定されます。
アレンズ・セラピー・ポケット・ブックに掲載されているループリック	レパートリーはAllen's Therapeutic Pocket Bookに由来するループリックに限定されます。
CR 4.5程度	1995年に出版されたComplete Repertory Version 4.5で使用されたようなループリックとレメディーに限定しています。

フィルターが選択されている場合、その名前がレパートリーブックレイアウトのヘッダーに表示されます。こうすることで、どのレパートリー・オプションを使用しているかが一目瞭然になります。

注意: レパートリーフィルターは、Complete Repertory のコンテンツにのみ適用されます。
あなたのライセンスが追加のレパートリーの使用をサポートしている場合、またはあなた自身が追加のレパートリー素材を作成した場合、フィルターはその素材には適用されません。

ブックモジュールパーソナルフィルター

独自のレパートリーフィルターを簡単に作成することができます。
個人用フィルターは、環境設定、セクション本で設定されます。



新しいフィルターを追加する場合は、ボタン \oplus を押してください。

レポートリーフィルター名

著者を選択

年から
年まで

最低グレード

レメディの最少数

レメディの最多数

ルブリックの種類

交互に替わる状態
☒
側面
☒
時間
☒
(症状)の広がる状態
☒
身体にある場所
☒
モダリテイ
☒
"as if" 症状、感作、観察出来る症状
☒

書き出す
取り消す
同意

フィルターに意味のある名前を付ける。この名前は、*Menu / Book / Book selection* で、レポートリーフィルターに追加されます。

デフォルトでは、すべての著者がフィルターに含まれます。著者のリストを編集するには、ボタン *Select authors* を押してください。

フィルターで許可したい著者を選択します。最も重要な著者はリストに存在する。レポートリーで使用されているすべての作家を表示するには、オプション *Major authors only* のチェックを外してください。

フィルター

主な著者のみ ☒

著者

Abermann C & Puschkarski M
Ahmad S
Alex P
Allen H C
Allen J V
Allen T F
Anshutz E P
Banerjea S K
Bay Area Homeopathic Study Group
Bellokossy F K
Berridge E W
Blackwood A L
Bocock R South Downs School of Homeopathy
Boericke O
Boericke W
Boger C M
Bond W K
Bonnet M S
Bönninghausen C M von
Boocock R
Borland D M
Bryant C P
Burgess Webster M
Burnett J C
Burt W H
Carr V T
Case E E
Central Council for Research in Homeopathy
Central Council for Research in Homoeopathy

取り消す 同意

著者一覧の下に、年号の範囲を選択することができます。年範囲内に出版されたソースのみがフィルターに含まれます。値0は、使用しないことを意味する。

その他のフィルターのオプションについては、特に説明する必要はないでしょう。

- 救済措置の最低等級。
- 最小ループリックサイズ。
- 最大ループリックサイズ。
- 症状の種類

レパトリエディター

レパトリへの個人的な追加

レパトリエディターを使って、レパトリに個人的な追加をすることができます。
レパトリエディターでは、独自のループリックを作成したり、ループリックにレメディを追加することができます。
また、現在のレパトリにない新しいレメディを作成することも可能です。
ループリックに個人的なメモを追加して、ループリックと一緒に表示することができます。
以下、各機能について説明します。

レパトリエディターの機能は、メニューバーのメニューオプション、ループリックやレメディのポップアップメニューからアクセスすることができます。
ちょっとした付け足しに、これらはとても効果的です。複数の追加を行いたい場合は、**レパトリエディター助手**を開きます。様々な選択肢を検討した上で、アシスタントを説明します。

ループリックの追加

ループリックを追加するには、まず、ループリックを作成したい章で **Book** モジュールを開きます。
新しいループリックを作成することができるようになりました。(メニューオプションブック/編集/ループリックを追加、ポップアップメニューオプション編集/ループリックを追加)。
既存のループリックにサブループリックを追加するには、まずループリックをクリックして選択し、サブループリックを作成します。

ダイアログが表示されます。

レパトリに表示させたいループリックのテキストを入力します。言語規則上、大文字を使用する必要がある場合を除き、小文字のみを使用する。**Book** モジュールは、ループリックテキストの書式に自動的に大文字を使用します。

該当するループリックの種類を選択してください。この操作は必須ではありませんが、新しいループリックをレパトリの他のループリックと同じように動作させることができます。ループリックのタイプは、ループリックのレメディをより良く評価するために、**Analysis** モジュールでも使用されます。

オプション **No copy upwards** は、上位ループリックと反対の意味を持つ下位ループリックにチェックする必要があります。一般的には、ある症状の改善を示すサブルールに使用することが多い。改善とは、上のルビの意味を逆転させることです。このオプションをチェックすると、新しい救済措置がより上位の一般的なループリックに自動的にコピーされるのを無効にします。

また、**Analysis** モジュールによって、関連するループリックで救済措置がどのように発生するかを確認するために使用されます。

作成後、ループリックのテキストやタイプはいつでも変更することができます。(メニューオプションブック/編集/ループリックを編集、ポップアップメニューオプション編集/ループリックを編集)。

なお、編集できるのは自分で作成したループリックのみで、オリジナルのレパトリのループリックは編集できません。

追加したループリックを削除することができます。(メニューオプションブック/編集/ループリックを削除、ポップアップメニューオプション編集/ループリックを削除)。

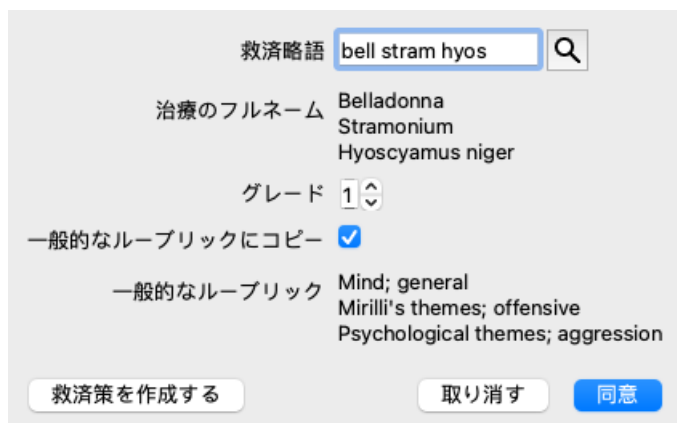
ループリックを削除できるのは、そのループリックに救済措置やサブループリックが含まれなくなった場合のみであることに注意してください。これは、誤って貴重な情報を削除してしまうことを防ぐためです。

レメディの追加

ループリックに救済策を追加するには、まず **Book** モジュールを開き、救済策を追加したいループリックを選択します。そのループリックに救済策を追加する可能性が出てきたのです。(メニューオプションブック/編集/救済策を追加する、

ポップアップメニューオプション編集/救済策を追加する)。

ダイアログが表示されます。



レメディの略語を1つ以上入力することができます。対応するフルレメディー名がフィールドの下に表示されます。誤った略語を入力した場合、OK ボタンが無効となります。

オプション一般的なループリックにコピーを選択すると、選択したループリックより一般的なループリックに救済措置が自動的に追加されます。これらのループリックは、そのオプションの下に記載されています。

レパートリーにまだ存在しないレメディを追加したい場合は、ボタンレメディの作成で作成することができます。レメディの略称とフルネームの入力が必要です。作成するレメディ略語は、標準レパートリーにまだ存在しない略語である必要があります。

新しいレメディを作成した後、その略称や名称はいつでも後から変更することができます。(メニューオプションブック/編集/救済策を編集する, ポップアップメニューオプション編集/救済策を編集する)。

標準レパートリーのレメディのグレードを上げたい場合は、グレードの高いレメディを追加すればよいのです。元のグレードよりも、自分の高いグレードが重要になる。

レメディー追加を削除することができます。(メニューオプションブック/編集/救済策を削除する, ポップアップメニューオプション編集/救済策を削除する)。なお、削除できるのは、自分が追加したレメディーだけです。レメディを削除すると、作者であるあなたが削除されるだけです。同じレメディの作者が他に残っていても、レメディそのものがレパートリーから削除されることはありません。

また、ループリックでは、救済措置の追加をすべて削除することができます。(メニューオプションブック/編集/すべての救済策を削除する, ポップアップメニューオプション編集/すべての救済策を削除する)。

レメディーグレードの指定

選択したグレードのレメディーをすぐに追加するのではなく、個々のレメディーのグレードを明示的に指定することも可能です。

選択したデフォルトの救済グレードを上書きする方法がいくつかあります。

以下の例は、グレード2で救済措置ベルを、グレード3でチャムを、グレード4でディグを追加する方法を示しています。

- 大文字を使うこと。
Book モジュールで使用されているスタイルで、大文字と小文字を使い分けてレメディを入力します。
例ベルCHAM
(グレード4はこの方法では表現できず、グレード3と同様にすべて大文字を使用します)
- 救済措置の略称にグレード番号を付加する。
例: bell2 cham3 dig4
- グレードを()で囲んでレメディーに追加します。
例: ベル(2) チャム(3) ディグ(4)

後者は、ループリックとそのレメディをクリップボードにコピーする際に使用する形式である。この仕組みにより、他のループリックから救済策を素早くコピーすることができます。もう一方のループリックで、ループリックと改善策をコピーし、改善策欄に貼り付ける。(メニューオプションブック/コピー・ループリック/コピー (ループリックとレメディ), ポップアップメニューオプションブック/コピー・ループリック/コピー (ループリックとレメディ))。

レメディーグレードを指定するこれらの追加メカニズムは、外部ソースからコピーしたいレメディーをインポートする際に非常に強力になります。

レメディー作成者の指定


デフォルトでは、レパートリーに追加したすべてのレメディには、あなたが作者であることが表示されます。個人的なレパートリーの追加には、これが一番でしょう。書籍やセミナーなど、他の資料からレメディを追加する場合は、著者を明示的に指定するとよいでしょう。

新しい著者を追加することができます。(メニューオプションブック/編集/ソース/新しいソースを作成、ポップアップメニューオプション編集/ソース/新しいソースを作成)。

著者の中から1人選択できます。(メニューオプションブック/編集/ソース/ソースを選択、ポップアップメニューオプション編集/ソース/ソースを選択)。作者を選択すると、新しく追加されるレメディの作者に自動的になります。

選択した著者の詳細を編集することができます。(メニューオプションブック/編集/ソース/ソース情報を編集、ポップアップメニューオプション編集/ソース/ソース情報を編集)。


Bookモジュールで追加した内容をビジュアル化する


ツールバーのボタンを有効にすると、個人的に追加した内容が薄緑色でハイライトされます。こうすることで、自分が追加したレメディをすぐに確認することができます。

また、他のレメディを一切使用せず、自分の追加分のみを表示することも可能です。そのためには、自分自身を唯一の作者として選択し、個人的なレパートリーフィルターを作成することができます。

ループリックノートの追加

どのループリックにも、個人的なメモを追加することができます。(メニューオプションブック/編集/ループリックメモを追加、ポップアップメニューオプション編集/ループリックメモを追加)。

注釈の有無は、ループリックテキストの後にで表示されます。

ノートを見るには、ループリックテキストにマウスを合わせるか、画像をダブルクリックするだけです。

個人メモを編集したり、削除したりすることができます。(メニューオプションブック/編集/ループリックメモを編集する、ポップアップメニューオプション編集/ループリックメモを編集する)。ダイアログが表示されますが、特に説明は不要でしょう。

レメディノートの追加

ループリックにメモを追加できるように、個々のレメディにもメモを追加することができます。そのための追加機能があります。(メニューオプションブック/編集/救済メモを追加、ポップアップメニューオプション編集/救済メモを追加)。

クロスリファレンスの追加

クロスリファレンスとは、あるループリックから他のループリックへの参照である。クロスリファレンスを作成するには、まず元のループリックを選択し、次に目的のループリックを選択する必要があります。

ループリックをクリックで選択し、原点ループリックとしてマークする。(メニューオプションブック/編集/クロスリファレンス/相互参照元としてループリックを選択、ポップアップメニューオプション編集/クロスリファレンス/相互参照元としてループリックを選択)。

次に、移動先のルビを選択し、マークを付けます。(メニューオプションブック/編集/クロスリファレンス/相互参照先としてループリックを選択、ポップアップメニューオプション編集/クロスリファレンス/相互参照先としてループリックを選択)。

ダイアログが開き、元のループリックと移動先のループリックが表示され、クロスリファレンスを追加するボタンが表示されます。

クロスリファレンスを削除する場合も同様の手順で行います。すると、ダイアログにクロスリファレンスを削除するボタンが表示されます。

また、クロスリファレンスをクリックするだけで、削除することも可能です。(メニューオプションブック/編集/クロスリファレンス/相互参照を削除、ポップアップメニューオプション編集/クロスリファレンス/相互参照を削除)。

なお、クロスリファレンスは1つのレパートリー内にしか作成できません。あるレパートリーのループリックから別のレパートリーのループリックへの相互参照は作成できません。

複数のレパートリーファイルを扱う

個人的に追加したレパートリーは、デフォルトでは *repertory_additions.rep* というファイルに保存されます。

このファイルは、*Documents* フォルダの下に *Complete Dynamics* フォルダに格納されています。

複数のレパートリーファイルを作成することが可能です。複数のレパートリーファイルを使用することには、いくつかの利点があります。

- レパートリーデータをうまく整理して、互いに関連性のある追加データをまとめておくことができます。
例えば、あるセミナーで追加したもの。
例えば、あるマテリアメディカの本や他のレパートリーからコピーしてきたものを追加することができます。
例えば、ご自身の臨床観察などです。
- レパートリー追加のコレクションを他の人と共有することができます。
そのファイルを他の人に渡せば、その人も追加機能を使うことができます。

レパートリーの追加を他人と共有する

レパートリー追加のコレクションを他の人と共有するには、レパートリーファイルのコピーを他の人に渡すだけでよいのです。もちろん、追加したファイルをインターネット上のどこかに置いて、誰でも使えるようにすることもできます。

もう一人の人は、そのファイルを *Complete Dynamics* フォルダに置き、*Complete Dynamics* を起動すればよいのです。その後、あなたが追加したレパトリーが自動的に表示されます。

レパトリーファイルの新規作成

新しいレパトリーファイルを簡単に作成することができます。(メニューオプションブック / 編集 / レパトリーファイル / 新しいレパトリーファイルを作成する, ポップアップメニューオプション 編集 / レパトリーファイル / 新しいレパトリーファイルを作成する)。

ダイアログが表示され、レパトリー追加の詳細を指定することができます。

レパトリー

著者 Healer, Jeremy

題名 Sydney seminar, 3 May 2018

バージョン

レパトリータイプ ☒ 追加をメインレパトリーにマージする
☐ 独立したレパトリー

編集者

名字 Neumann

ファーストネーム John

ミドルネーム von

取り消す 同意

セクション *Repertory* では、レパトリーの追加元に関する情報を入力することができます。

Author は、情報の発信元となる人物です。デフォルトでは、あなたの名前はすでに入力されています。他の人物からの情報である場合は、その人物の名前を使う（例: *Kent, James Tyler*）。

タイトル情報の出所を特定できるような説明をすること。

セクション *Editor* に、レパトリー追加を編集した人の詳細を入力します。デフォルトでは、あなたの名前が記入されています。また、編集作業を別の担当者が継続する場合、この情報を変更する必要がある場合があります。

独立したレパトリーを作成し、メインのレパトリーと並行して存在させるには、オプションレパトリーの種類を選択します。独立したレパトリー。

独立したレパトリーに特有のフィールドがいくつか表示されます。

- チャプタープリフィックス。この接頭辞はレパトリーの章名の前に付けられ、これらの章とメインのレパトリーの章を区別します（例: MINDの代わりにTST-MIND）。
- 著作権情報です。これは、ページ下部の *Book* モジュールに表示されます。

レパートリー

著者

題名

バージョン

レパートリータイプ ☐ 追加をメインレパートリーにマージする
☒ 独立したレパートリー

章のプレフィックス

編集者

名字

ファーストネーム

ミドルネーム

著作権

著作権者名

著作権年

レパートリーファイルの情報を変更する

レパートリーファイルの情報を変更することができます。(メニューオプションブック/編集/レパートリーファイル/レパートリーファイル情報の編集, ポップアップメニューオプション編集/レパートリーファイル/レパートリーファイル情報の編集).

レパートリー

著者

題名

バージョン

レパートリータイプ ☒ 追加をメインレパートリーにマージする
☐ 独立したレパートリー

編集者

名字

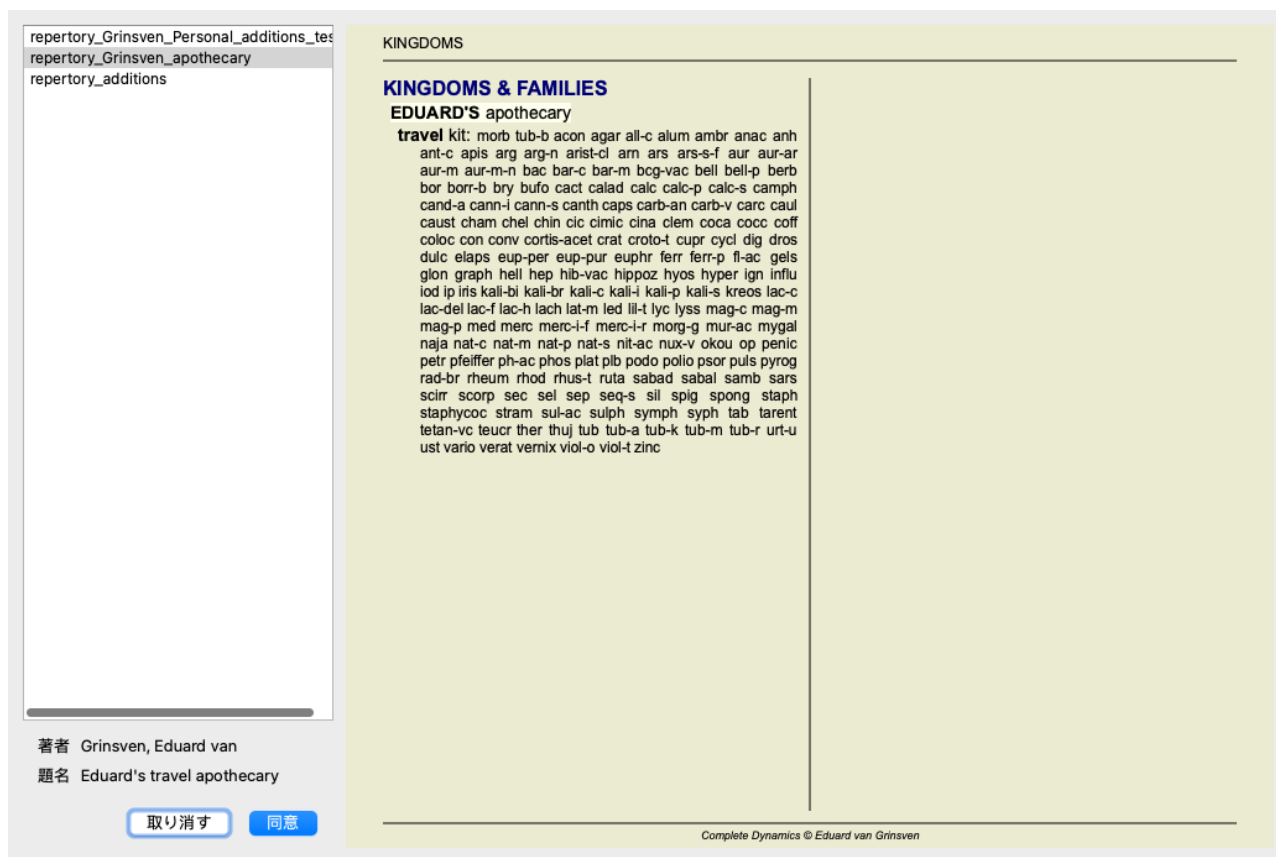
ファーストネーム

ミドルネーム

レパートリーファイルの選択

デフォルトでは、追加したものは *repertory_additions.rep* というファイルに保存されます。他の既存のファイルを操作したい場合は、まずそのファイルを選択する必要があります。(メニューオプションブック/編集/レパートリーファイル/レパートリーファイルを選択, ポップアップメニューオプション編集/レパートリーファイル/レパートリーファイルを選択).

ダイアログが開き、利用可能なレパートリーファイルが表示されます。



左側のリストで、レパートリーファイルを選択することができます。右側には、どのレパートリーが追加されているか、レビューが表示されます。

レパートリー編集アシスタント

複数のレパートリーを追加したい場合、**レパートリー編集アシスタント**を利用すると便利です。(メニューオプションブック / **編集 / レパートリーエディターアシスタントを開く**, ポップアップメニューオプション **編集 / レパートリーエディターアシスタントを開く**)

選択

レパートリー Grinsven, Eduard van
Personal additions
ソース Grinsven, Eduard van
Personal additions
ルブリック Mind
• Abusive, insulting
療法 staph
Staphisagria

行動

レパートリー   
ソース   
ルブリック   
ノート  
療法   
ノート  

クイックレメディー追加

1 

終了

セクション *Selection* は、*Book* モジュールでどのルブリックが選択されたか、また該当する場合はどの救済策がクリックされたかを示しています。

Actions のセクションには、メニューからアクセスするすべての機能のボタンが含まれています。

セクション *クイックレメディー追加* では、選択したルブリックに多数のレメディーを素早く追加することができます。この機能では、救済措置の略語がすべて正しいことが要求されます。この救済措置は、より一般的なすべてのルブリックに自動的に追加されます。詳しくは、*レメディーの追加* (上記) をご覧ください。

レパトリー インポーター

レパトリーインポーターモジュールにより、外部ファイルからレパトリーエントリーを一括でインポートすることができます。レパトリーインポーターはいくつかのデータ形式を認識します。

インポーターを起動する前に、レパトリー追加ファイルを作成し、それを選択する必要があります。(メニューオプション *ブック/編集/レパトリーファイル/レパトリーファイルを選択*, ポップアップメニューオプション *編集/レパトリーファイル/レパトリーファイルを選択*)。

外部データを取り込むレパトリーファイルを選択したら、レパトリーインポータを起動します。(メニューオプション *ブック/編集/レパトリーファイル/外部ファイルからインポート*, ポップアップメニューオプション *編集/レパトリーファイル/外部ファイルからインポート*)。

Importerモジュールが開きます。

Proving of *Calonectris Diomedea borealis* - Smorganson, Vitor

入力テキスト形式

☐ MacRep
☐ エクセルシート
☒ その他の形式

ルブリックの順序を維持する (ソートなし) ☐

成績フォーマット

☐ ☐ ☐ ☒ abcd
☐ Abcd
☐ ABCD

☐ ☒ ☐ ☐ abcd
☒ Abcd
☐ ABCD

☐ ☐ ☐ ☐ abcd
☐ Abcd
☒ ABCD

☒ ☐ ☒ ☐ abcd
☐ Abcd
☒ ABCD

ループリック/救済セパレータ :-

Headache :- acon Bell CHAM DULC

まず、入力テキストの形式を定義します。各フォーマットは以下のように定義されています。各フォーマットには、サンプルファイルが用意されています。これらのファイルは、*Documents / Complete Dynamics / Examples* のフォルダーにあります。すべてのサンプルファイルのフォーマットは異なりますが、まったく同じレパートリーのルビとレメディを定義しています。

次に、レパートリーインポーターにテキストを取り込みます。インポートする入力テキストは、定義された形式に準拠する必要があります。ファイル内で、すべてのテキストを選択し、クリップボードにコピーします。

次に、レパートリーインポーターで、ボタン貼り付けを押します。コピーされたテキストは、大きな空白部分に表示されます。文字に問題がある場合は、元の文書で変更し、再度コピー＆ペーストしてください。

テキストをインポートした後、*Validate* ボタンを押して、最初のテストを行います。エラーが見つかった場合は、それを修正してから次に進みます。

レパートリーに、*Complete Repertory* にないレメディの略語が含まれている場合、それがどのレメディであるかを定義することができるようになりました。*Remedies...* ボタンを使って、不明なレメディを定義します。

エラーがなくなり、すべてのレメディが正しく定義されたら、インポートボタンでレパートリーをインポートすることができます。その後、*Close* ボタンで *Repertory Importer* を終了してください。インポートすると、それまでレパートリーファイルに入っていたコンテンツはすべて削除されますので、ご注意ください。

入力テキストフォーマット

マックレップ

このフォーマットはMacRepertoryで使用され、追加を定義するために使用されます。このフォーマットを選択すると、他の設定をする必要はありません。

詳しくは事例をご覧ください。サンプルと一緒に、ファイルフォーマットに関する詳細な情報を提供するファイルも用意されています。

エクセルシート

このフォーマットでは、最初の列でループリックを定義します。最後の列はレメディを保持します。例を見るだけで、簡単です。

その他のフォーマット

このフォーマットでは、救済措置の等級はテキストスタイルによって定義されます。

また、ループリックスラベルとレメデイを区切るテキストフラグメントを定義することができます。
各救済等級について、フォーマットを定義することができます。設定の下には、選択した設定で書式付きテキストがどのように見えるかの例が表示されます。

ループリックスの階層は、テキストをインデントすることで定義されます。これはさまざまな方法で行うことができます。

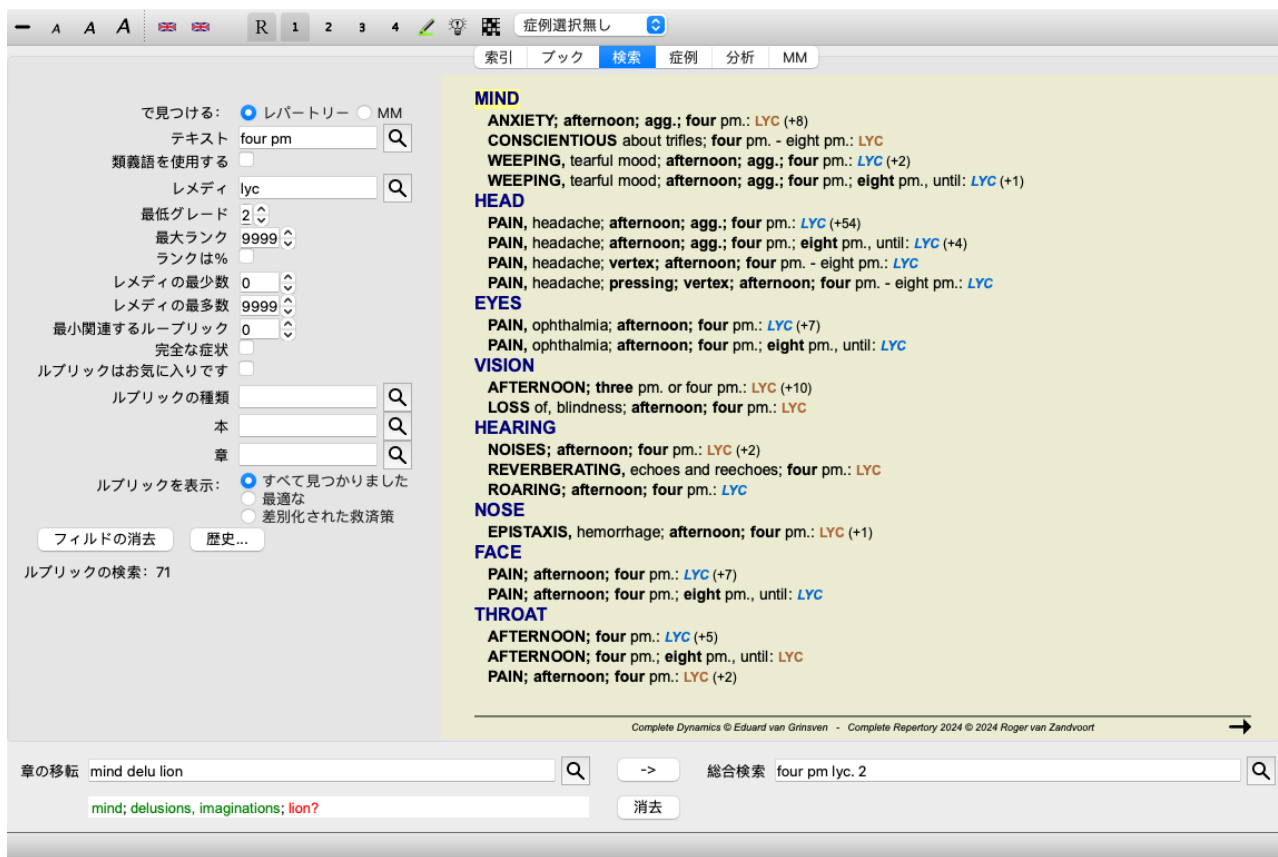
- タブを使う本文中のTab文字が1つ増えるごとに、階層が1つずつ増えていきます。
- スペースの活用すべてのループリックスレベルをSpace文字で開始する。4-8-12-16のように、一貫したインデントを使用する必要があります。
- 段落の余白。テキストエディタで、段落スタイルに左マージンを定義することができます。ループリックスの階層レベルごとに段落スタイルを定義し、そのスタイルを同じレベルの各ループリックスに適用するだけです。
- 上記の組み合わせ。ほとんどの場合、これもうまくいきますが、もしあなたのテキストが組み合わせを使用している場合、おそらく書式が悪いでしょう。

各インデントの方法のサンプルファイルがあります。

モジュールの検索

Find モジュールを開く

Find タブをクリックし、Find モジュールに移動します。(メニューオプション表示 / 検索, ⌘-S).



フィールドの検索

画面の左側には、探したいものを記入することができます。(検索したい内容を入力する別の方法として、ウィンドウの下部にある強力な 検索フィールドを使用することもできます。この単一のフィールドを使用して強力な検索を行う方法については、セクション 検索フィールドを参照してください)。



で検索 探したい場所を選択します。
 レポートリー レポートリーで検索します。
 ださ MMはマテリアメデイカで検索します。マテリアメデイカで検索する場合、レポートリーにしか関連性
 い。 がないため、他の選択肢はほとんど削除されます。
 テキスト 検索するテキストフラグメントを入力します。

クシーズ	xyz で始まる任意の単語。
=xxyz	Word はxyz のように正確に入力する必要があります。
= = Abcβ	Word は正確にAbcβ でなければならない。 a=A やa=ā のように、補正のない文字を比較します。
*クシーズ	Word は、そのテキストのどこかにxyz を含んでいます。
「エービーシーエックスワイジー	テキストの組み合わせabc の後にxyz が続く。
abc + def	abc ANDdef の両方のテキストが出現しなければならない。
abc+def	同上、スペースは省略可能です。
abcデフ	上記と同じ、ANDがデフォルトです。 (defの前には自動的に+が挿入されます。)
-エービーシー	テキストabc は、本文中に存在してはならない。 これは、上記のように「=」「*」「'''」と組み合わせることができます。 例 --モーニング --** -「ベッド上
abc / def	abc ORdef のいずれかが必要です（スペースは任意）。
これらの組み合わせは可能です。例	
四・八時	(4 OR8), ANDpm.
午後4時/8時	上記と同じで、順番は重要ではありません。
「朝起き	シーケンスrising from bed, ANDmorning.
恐怖 / 不安 群衆 / 人	(恐怖OR不安) AND (群衆OR人々). (群衆の前に自動的に+が挿入されます)

同義語 チェックすると、単語の同義語で検索します。詳しくは、「単語の同義語」をご覧ください。
 を使用
 する

レメ 検索するレメデイの略語を入力します。フィールドの右側にあるQボタンを押すと、検索ウィンドウ
 デイー が表示され、レメデイをインタラクティブに選択することができるので、略語を暗記していない場合に
 に便利です。

セプ	Remedysep
sep.	上記と同様、ドット表記も可能ですが、ここでは不要です（Find フィールドでは必要です）。
-セプ	Remedysepはループリックに存在してはならない。
sep / nat-m	いずれかの救済措置sep ORnat-m
セパレート ナットエム	上記と同じ、ORがデフォルトです。 (nat-m の前に / が自動的に挿入されます)
sep/staph+nat- m/mag-m	(sep ORstaph) AND (nat-m ORmag-m)
sep. staph.+ nat-m. mag- m.	同上(staph の前とmag-m の前に / が自動的に挿入されます)
クモ	クモの王国のレメディー。 の間に入力する名前は、「王国と家族」の章にあるルビ名のいずれかと一致する必要があります。 名前を調べるには、Qボタンを押してから、ボタンGroups...を押してください。
{動物} - [クモ]	レメディーグループは、単一のレメディーと同じように組み合わせることができます。 この例では、クモ以外のすべての動物が対象です。

Min.グ レメデイの最小グラデーションを入力します（1～4）。

最大ランク 探しているレメディーは、ループリックの中で最も重要なレメディーの上位X位に入っていないと
 ならない。
 例：10と入力した場合、レメディーを重要度でソートする際に、1～10の位置にレメディーを配置する
 必要があります。

ランク チェックした場合、ランク値は絶対数ではなく、パーセントで取得されます。
 は%で 例：10と入力した場合、救済措置は最初の10%以内でなければならない。
 す

最小 ループリックの救済措置の最小数を入力する。

ループ
リック
サイズ

最大 ループリックの救済措置の最大数を入力します。

ループ
リック
サイズ

Min. 関 ある救済措置が発生すべき関連ルビの最小数を入力する。

連ル 関連ループリックとは、あるループリックよりも具体的なループリックのことである。詳細について
ブリッ は、ヘルプセクション *Analysis module / Formulas* を参照してください。
ク

完全な 完全な症状に限定して検索します。

症状 完全な症状とは、場所、感覚、モダリティまたは随伴物から構成される症状のことである。
このオプションは、*Complete Repertory* で検索するときのみ使用します。他のレパートリーには、一般的にこのような情報は含まれていません。

ループ フィールドの右側にある **Q** ボタンを押すと、タイム、サイド、ロケーションなどのループリックタイプ
リック プをインタラクティブに選択できるウィンドウがポップアップ表示されます。

の種類 お使いのライセンスが追加レパートリーの使用をサポートしている場合、追加レパートリーには、*Times, Sides, Location* などのルビが付けられていないことが多いのでご注意ください。ここで選択したものは、*Complete Repertory* のように、このために適切に準備されたレパートリーにのみ適用することができます。

章立て フィールドの右端付近にある **Q** ボタンを押すと、チャプターをインタラクティブに選択できるウィンドウがポップアップ表示されます。

ループ どのようなルビを表示するかを選択します。

リック *All found*: 検索条件に一致するルビをすべて表示します。

を表示 最も関連性の高い: 1つまたは複数のレメディーについて、与えられた基準に対して最も関連性の高い
する ループリックのみを表示します。

レメディーを区別する: 与えられた基準で、2つ以上のレメディーを区別するのに最適なループリックを示す。

検索条件を入力すると自動的に検索が開始されるので、ボタンを押す必要はありません。

なお、テキストの場合、複数のフラグメントのデフォルトはANDですが、レメディーの場合はORになります。

これは、複数のテキストを入力する場合は検索結果を限定することが多いのに対し、複数のレメディーを入力する場合は鑑別診断を行うことが多いからである。

過去の発見を呼び起こす

History... ボタンをクリックすると、以前の検索結果を素早く呼び出すことができます。過去に検索したクエリの一覧を表示するダイアログが表示されます。

レパートリーの検索結果

検索要求の結果は、ウィンドウの右側に表示されます。

詳細度は、検索された内容によって異なります。レメディーが検索された場合、選択されたレメディーが検索結果に含まれます。テキストのみを検索した場合は、レメディーは表示されません。

要するに、検索結果は、要求されたものに焦点を当て、要求されない細部には焦点を当てないということです。

検索結果エリアは、*Book* モジュールと多くの類似点があります。

ナビゲーションは、同じキーボード、マウス、ボタンバー、またはメニュー機能で行います。

また、ウィンドウの大きさに合わせて自動的にレイアウトが調整されます。

ヒント: *Book* モジュールと同様に、*space* を押すと、レメディーの表示・非表示が切り替わります。

Find モジュールでは、レメディーの表示はやや小さめのルビに限定されています。レメディーが多いルビは、レメディーの数だけ表示されます。

Book モジュールのナビゲーションオプションに加え、検索結果では、ループリックをマウスでダブルクリックするだけで、ブック内のループリックに直接ジャンプするオプションが用意されています。

最も関連性の高いもの

1つまたは複数のレメディーに対して最も関連性の高いループリックを検索する場合、表示される結果は最も関連性の高いループリックに限定されます。

また、単一のレメディーを探す場合は、逆マテリアメデイカでそのレメディーを探した場合と全く同じ結果になります。これは、まさに「逆マテリアメデイカ」が意図していることであり、理にかなっている。例として、救済措置に最も関連性の高いループリック *arn* を見てみましょう。

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven - Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort

索引 ブック 検索 症例 分析 MM

で見つける: ☒ レポートリー ☐ MM

テキスト

類義語を使用する ☐

レメディ

最低グレード

最大ランク

ランクは%

レメディの最少数

レメディの最多数

最小関連するルブリック

完全な症状 ☐

ルブリックはお気に入りです ☐

ルブリックの種類

本

章

ルブリックを表示: ☐ すべて見つかりました ☒ 最適な ☐ 差別化された救済策

フィルドの消去 歴史...

ルブリックの検索: 12248

MIND

ANGUISH; heart complaints, in; angina pectoris, in: [ARN](#) (+1)

ANSWER, answering, answers; stupor returns quickly after: [ARN](#) (+26)

DESPAIR; concussion, after: [ARN](#)

DULLNESS; injuries of head, after: [ARN](#) (+10)

FEAR; touch, of; gout, in: [ARN](#) (+1)

FORGETFULNESS; injuries, after: [ARN](#) (+8)

INDIFFERENCE, apathy; fever; during: [ARN](#) (+40)

INDIFFERENCE, apathy; heat; during: [ARN](#) (+10)

INDIFFERENCE, apathy; stool; after: [ARN](#) (+1)

RESTLESSNESS, nervousness; perspiration; during: [ARN](#) (+39)

STUPEFACTION, as if intoxicated; concussion of brain, after: [ARN](#)

STUPEFACTION, as if intoxicated; injury, after: [ARN](#) (+5)

STUPEFACTION, as if intoxicated; perspiration; during: [ARN](#) (+14)

UNCONSCIOUSNESS, coma; brain complaints, in: [ARN](#) (+47)

UNCONSCIOUSNESS, coma; fever, during: [ARN](#) (+72)

UNCONSCIOUSNESS, coma; injury, after: [ARN](#) (+12)

WEeping, tearful mood; cough; before: [ARN](#) (+8)

WEeping, tearful mood; cough; during: [ARN](#) (+33)

HEAD

CONGESTION, hyperemia; chill; during: [ARN](#) (+26)

CONGESTION, hyperemia; thirst, with: [ARN](#) (+3)

HEAT; chilliness; during: [ARN](#) (+25)

HEAT; coldness, with; body, of: [ARN](#) (+42)

INFLAMMATION; meninges, meningitis; injuries, after: [ARN](#) (+5)

PAIN, headache; brain complaints, in: [ARN](#) (+25)

PAIN, headache; injuries, after: [ARN](#) (+42)

PAIN, headache; injuries, after; concussion: [ARN](#) (+23)

PAIN, headache; injuries, after; fall, after a: [ARN](#) (+7)

PAIN, headache; forehead; warmth; agg.: [ARN](#) (+15)

PAIN, headache; burning, smarting; coldness of body, with: [ARN](#) (+1)

PAIN, headache; stitching; cough; during: [ARN](#) (+43)

SWELLING; children: [ARN](#) (+2)

章の移転 総合検索

複数のレメディーを探している場合、いずれかのレメディーに最も関連性の高いルビが表示されます。例えばクモのようなレメディーファミリーを探す場合、逆マテリアメディカでクモのファミリーを開いたときと同じ結果にはならないでしょう。リバースマテリアメディカは、他の家族と比較した家族全体の分析を行い、ファインドモジュールは、家族一人一人の結果を見ます。

検索機能を使えば、特定のルブリックを検索することができます。例えば、Lycopodiumに最も関連する時間基準です。

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven - Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort

索引 ブック 検索 症例 分析 MM

で見つける: ☒ レポートリー ☐ MM

テキスト

類義語を使用する ☐

レメディ

最低グレード

最大ランク

ランクは%

レメディの最少数

レメディの最多数

最小関連するルブリック

完全な症状 ☐

ルブリックはお気に入りです ☐

ルブリックの種類

本

章

ルブリックを表示: ☐ すべて見つかりました ☒ 最適な ☐ 差別化された救済策

フィルドの消去 歴史...

ルブリックの検索: 2223

MIND

LOATHING; life, of; morning: [LYC](#) (+4)

MOROSE, sulky; morning: [LYC](#) (+70)

WEARINESS of life; morning: [LYC](#) (+7)

WEeping, tearful mood; daytime: [LYC](#) (+9)

WEeping, tearful mood; daytime; night amel., in children: [LYC](#) (+2)

WEeping, tearful mood; afternoon; agg.: [LYC](#) (+15)

WEeping, tearful mood; afternoon; agg.; four pm.: [LYC](#) (+2)

WEeping, tearful mood; afternoon; agg.; four pm.; eight pm., until: [LYC](#) (+1)

HEAD

CONGESTION, hyperemia; morning: [LYC](#) (+23)

PAIN, headache; afternoon; agg.; four pm.: [LYC](#) (+54)

PAIN, headache; afternoon; agg.; four pm.; eight pm., until: [LYC](#) (+4)

PAIN, headache; vertex; afternoon: [LYC](#) (+48)

PAIN, headache; vertex; afternoon; four pm. - eight pm.: [LYC](#)

PAIN, headache; pressing; vertex; afternoon: [LYC](#) (+10)

PAIN, headache; pressing; vertex; afternoon; four pm. - eight pm.: [LYC](#)

PAIN, headache; pulsating, throbbing; brain; daytime: [LYC](#)

PAIN, headache; stitching; night: [LYC](#) (+29)

EYES

AGGLUTINATION; night: [LYC](#) (+77)

DRYNESS; morning: [LYC](#) (+39)

PAIN, ophthalmia; afternoon: [LYC](#) (+81)

PAIN, ophthalmia; afternoon; four pm.: [LYC](#) (+7)

PAIN, ophthalmia; afternoon; four pm.; eight pm., until: [LYC](#)

PAIN, ophthalmia; stitching; evening: [LYC](#) (+23)

PHOTOPHOBIA; evening: [LYC](#) (+17)

VISION

LOSS of, blindness; evening: [LYC](#) (+20)

NOSE

EPISTAXIS, hemorrhage; afternoon: [LYC](#) (+18)

章の移転 総合検索

ツールバーのボタン「BUTTON:マイナス」「BUTTON:プラス」を使って、ルブリックの表示数を減らしたり増やしたりすることができます。

レメディーを区別する

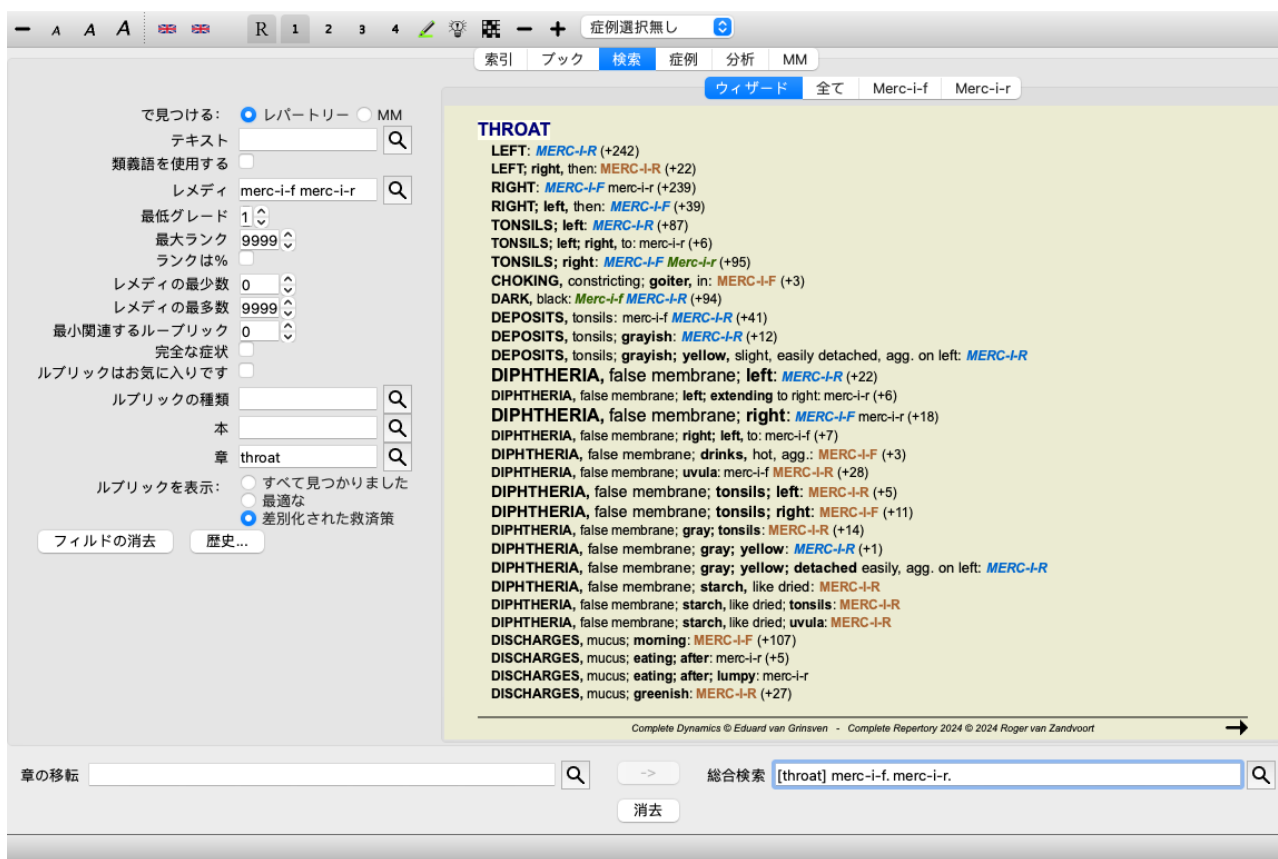
この機能は非常に強力で、2つ以上のレメディーを最もよく区別する症状を検索することができます。2つのレメディーの違いを調べるだけでなく、より大きなレメディーグループの中の関連する違いを見つけるためにも使用できます。

Findモジュールのすべての強力な条件を使用して、特定の分野に焦点を当てることができます。

選択されるループリックは、一般的に以下のカテゴリーに分類される。

- あるレメディーが別のレメディーと反対の行動をとる、反対行動。
例：悪化/改善、暖かい/冷たい、左/右、嫌悪/欲望など。
このような違いに対して、悪化のループリックと改善のループリックのように、相反する2つのループリックが記載されていることがよくあります。あるいは、左用のルビが1つ、右用のルビが続く。
- 同じような症状に対する時間の違い。
例：朝/夕、昼/夜。
- その他、部位、拡張子、随伴症状などの違いもある。
- 特に症状
これらは、あるレメディーに特有の症状であり、他のレメディーでは発生しないものです。

例として、喉の症状におけるレメディー *merc-i-r* と *merc-i-f* の最も重要な違いについて見てみましょう。



ツールバーのボタン 、 でループリックの表示数を減らしたり増やしたりすることが可能です。

なお、より多くのレメディーを区別する場合、レメディーをより大きな2つのグループに分けるのに役立つループリックがより重要であると考えられる。

例えば、10種類のレメディーを鑑別したい場合、5 agg. 5 agg. / 5 amel. は、1 agg. / 9 amel. よりも区別しやすい。/ 9 amel. よりもよく区別できます。あるいは、ある症状が10種類のレメディーのうち5種類で知られている場合、10種類のうち8種類で知られている場合よりも区別が付きやすくなります。

例として、キンポウゲ科のモダリティを区別してみよう。

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven - Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort

索引 ブック 検索 症例 分析 MM

で见つける: ☒ レポートリー ☐ MM

テキスト

類義語を使用する ☐

レメディ {Ranunculaceae}

最低グレード 1

最大ランク 9999

ランクは%

レメディの最少数 0

レメディの最多数 9999

最小関連するルブリック 0

完全な症状 ☐

ルブリックはお気に入りです ☐

ルブリックの種類 mod

本

章

ルブリックを表示: ☐ すべて見つかりました ☐ 最適な ☒ 差別化された救済策

フィルドの消去 歴史...

MIND

ABSORBED, buried in thought; **sadness**, indulges in: acon cemic **CLEM HELL PULS** ran-b (+48)

ANGUISH; heart complaints, in: **ACON** adon **CIMIC PULS** (+69)

BED; agg.: **ACON** aconin **Act-sp CIMIC Clem HELL** hell-f hydr **PULS Ran-b RAN-S STAPH** (+351)

CONCENTRATION; difficult; attempting to, on: acon **PULS RAN-B STAPH** (+53)

DELIRIUM; fever; during: **ACON** act-sp **CIMIC HELL HYDR PULS** (+128)

DULLNESS; vertigo; during: **ACON CLEM HELL PULS Ran-b** ran-s staph (+117)

EAT, eating; while: **ACON clem HELL HYDR PULS** ran-b staph (+95)

EAT, eating; amel.: clem (+69)

EXCITEMENT, excitable; ailments from, agg.: **mental** and emotional consequences of: **ACON** act-sp adon **CIMIC CLEM HELL** macrin **PULS RAN-B** ran-s **STAPH** (+739)

FORGETFULNESS; head complaints, in: **ACON HELL PULS STAPH** (+61)

INSANITY, madness; **women**, in: **ACON CIMIC HELL PULS** (+6)

LOVE; disappointment, unhappy, ailments from, agg.: **ACON** act-sp **CIMIC HELL PULS STAPH** (+126)

SADNESS, depression; fever; during: **ACON HELL PULS Staph** (+66)

SHRIEKING, screaming, shouting; pain, during: **ACON** act-sp **CIMIC HELL HYDR pulS RAN-B RAN-S** (+147)

TOSSING about; sleep; during: **ACON Clem hell hydr PULS Ran-s Staph** (+83)

TOUCHED; being, agg.: **ACON cemic CLEM PULS STAPH** (+111)

TOUCHED; being, agg.: **genitals**, of: acon cemic **CLEM PULS STAPH** (+47)

TRIFLES; ailments from, agg.: **ACON Act-sp** adon **CIMIC Clem HELL HYDR PULS** pul-s-n **RAN-B STAPH** (+502)

UNCONSCIOUSNESS, coma; brain complaints, in: **ACON CIMIC CLEM HELL PULS** (+43)

UNCONSCIOUSNESS, coma; fever, during: **ACON CLEM HELL PULS** (+69)

WEEPING, tearful mood; pains; with: **ACON PULS Ran-b STAPH** (+86)

WOMEN; mental, emotional complaints in: **ACON CIMIC HELL hydr PULS STAPH** (+133)

HEAD

HEAT; pain, with: **ACON Cimic PULS** (+17)

PAIN, headache; alcohol, alcoholic drinks; agg.: **Adon** apom cemic hell hydr **PULS RAN-B STAPH** (+94)

PAIN, headache; alcohol, alcoholic drinks; amel.: hell (+12)

PAIN, headache; excitement, emotional; agg.: **ACON CIMIC Hell PULS RAN-B STAPH** (+163)

PAIN, headache; fright, fear agg.: **ACON CIMIC PULS** staph (+25)

PAIN, headache; intoxication, after: **Adon** apom cemic hell hydr **PULS RAN-B STAPH** (+99)

PAIN, headache; room; agg.: **ACON CIMIC hydr PULS RAN-B** ran-s **STAPH** (+146)

PAIN, headache; room; amel.: staph (+41)

PAIN, headache; warmth; agg.: **ACON CIMIC PULS** ran-b **STAPH** (+110)

章の移転

総合検索 #mod {ranunculaceae}

消去

興奮からくる症状Ailments は、家族の約半分を切り離すため、非常に高い評価を受けていることがわかります。

マテリアメデイカの検索結果

次の例は、Materia Medicaでdog/dogsを検索したときの結果である。

Abrotanum *Allen Encyclopaedia*
Sleep: Frightful dreams of mad dogs, etc. (fourteenth day), .

Aconitum napellus *Allen Encyclopaedia*
Throat: Fine stinging sensation in the back of the throat, as from the small pricking hairs of the seed of the dog rose (Rosa canina) (1 h.), . —

Aconitum napellus *Hahnemann MM Pura*
Fine shooting sensation at the back of the throat, as from the prickly hairs of the dog-hip (aft. 1h.).

Aconitum napellus *Kent Lectures*
"Vertigo, turning and whirling." A woman out shopping runs up suddenly against a dog and becomes violently dizzy, she cannot even get to her carriage.

Aether *Allen Encyclopaedia*
Mind: In one case, the experimenter retained full possession of his faculties; while giving way to convulsive laughter, he himself compared it to the barking of a dog, and was quite aware that he was [...]

Aethusa cynapium *Allen Encyclopaedia*
Mind: Delirium; he imagines he sees dogs and cats, . — *

Aethusa cynapium *Boericke Pocket manual*
Mind: Sees rats, cats, dogs, etc.

Aethusa cynapium *Clarke Dictionary*
Characteristics: Delirium; sees cats and dogs; wants to jump out of bed, or out of the window.
1. Mind: Delirium: sees cats and dogs; tries to jump out of the window.

Aethusa cynapium *Cowperthwaite Textbook*
Mind: Bry., Cham., Nux-v .) Delirium; sees cats and dogs; tries to jump out of the window.

Aethusa cynapium *Hering Guiding Symptoms*
Mind: Delirium: imagines he sees cats and dogs; jumps out of window; even with the chill.
Heart, Pulse & Circulation: Slow strong beats of heart, stupor and death (dog).
Sleep: Sopor, dilated pupils and death (dog).

Aethusa cynapium *Phatak MM*
Mind: Delirium, sees cats, dogs and rats etc.

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven

語句の検索は完全な文章で行われます。単語の組み合わせを探す場合、この組み合わせはレメディーテキスト全体ではなく、センテンスにも適用されます。ですから、例えばbed too hard という3つの単語を探す場合、その3つの単語はすべて同

じ文の中になければなりません。

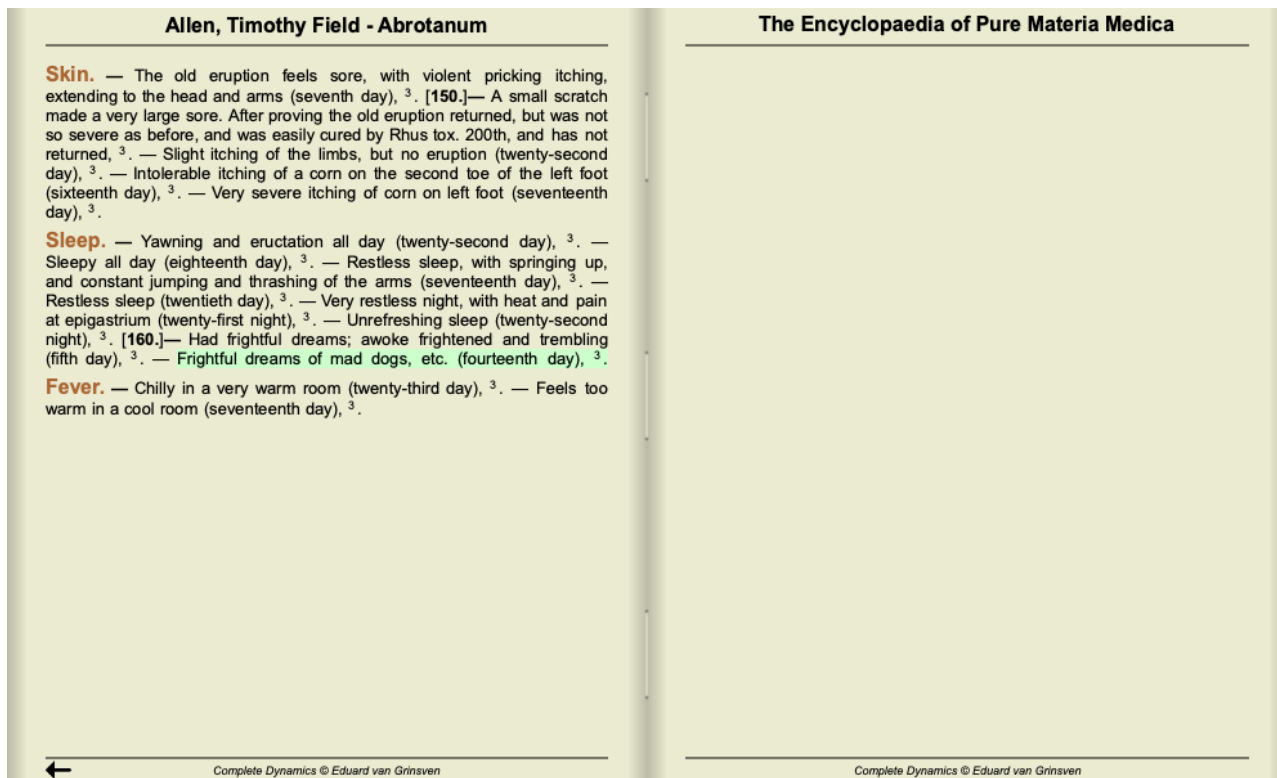
なお、文章の構成は著者や本によって異なることが多いので、ご注意ください。文の始まりと終わりを規定する防水ルールはない。現在のマテリアメデイカの本で問題ない場合がほとんどです。

その結果から、対応するマテリアメデイカに簡単にジャンプすることができます。テキストをクリックすると、マテリア・メデイカ・ブックを開くことができます。

狂犬の恐ろしい夢など（14日目）」という文章のどこかをクリックすると、この文章があるページで本が開きます。セクション名「睡眠」をクリックすると、そのセクションがあるページでブックが開きます。

書籍名「Abrotanum Allen Encyclopaedia」をクリックすると、remedy Abrotanumで簡単に開くことができます。

なお、検索クエリにマッチした文は薄緑色でハイライトされている。



マテリアメデイカの検索は、いくつかのレメデイやレメデイグループに制限することができます。レメデイの欄に、レメデイおよび/またはグループ（例：「ars bell acon」、「{spiders}」）を入力します。なお、「ars+bell+acon」のような組み合わせは、1つの文が2冊以上には出てこないで、意味がない。

その他の例


上記のフィールドに検索条件を入力し、ウィンドウの下部にある検索フィールドを使用すると、1対1の関係があります。findモジュールの詳しい使用例は、Find fieldのセクションに記載されています。

Findモジュールの鑑別診断

Findモジュールでは、Differential Diagnosisが、見つかったすべてのループリックについて、分析に似た関連する改善策をリストアップして表示します。（メニューオプション表示/レメデイ/レメデイ比較表示, ツールバーボタン^{30f}, ポップアップメニューオプションレメデイ/レメデイ比較表示）。

この例では、痙攣時にを探索した後、：

Species	Mean	SD
cupr	0.00	0.00
cic	0.00	0.00
bell	0.00	0.00
hyos	0.00	0.00
op	0.00	0.00
lach	0.00	0.00
stram	0.00	0.00
nux-v	0.00	0.00
ign	0.00	0.00
caust	0.00	0.00
camph	0.00	0.00
oena	0.00	0.00
ars	0.00	0.00
sec	0.00	0.00
calc	0.00	0.00
mosch	0.00	0.00
bufo	0.00	0.00
cham	0.00	0.00
sulph	0.00	0.00
absin	0.00	0.00
plb	0.00	0.00
verat	0.00	0.00
sil	0.00	0.00
cina	0.00	0.00
verat-v	0.00	0.00
plat	0.00	0.00
art-v	0.00	0.00
lyc	0.00	0.00
ip	0.00	0.00
glon	0.00	0.00
hydr-ac	0.00	0.00
cocc	0.00	0.00
sep	0.00	0.00
merc	0.00	0.00
zinc	0.00	0.00
stry	0.00	0.00
puls	0.00	0.00
acon	0.00	0.00
canth	0.00	0.00

鑑別診断分析に使用されたすべてのループリックの詳細を見るには、ボタンを押してください。これにより、すべてのループリックをレポートリークセクションごとに整理した表形式の分析表が一時的に作成されます。解析結果は、現在のケースに保存され、ケースを閉じると削除されます。

[illegible]

なお、1000枚以上のルーブリックが見つかった場合は、あまり意味がありません。

オプション *Use word synonyms* をチェックすると、*text* フィールドのすべての単語がその単語の同義語で拡張されます。

例えば、「子供」というテキストを探す場合、同義語として、乳児、息子、娘、赤ちゃん、男の子、女の子、若者、子孫、新生児、10代が考えられます。

こうすることで、入力した単語と厳密に一致するルビよりも、より多くのルビを見つけることができます。これは、あなたが望むことかもしれませんが、あなたが書いたとおりの検索をしたい状況もあるでしょう。

現在、単語の同義語は英語のみで利用可能です。同義語の欠落や不正確な表現についてご提案があれば、ぜひお知らせください。正しい同義語の定義を構築することは、継続的な改善のプロセスです。

独自の同義語を作成する

Complete Dynamicsは、独自の同義語リストを定義することが可能です。

同義語は、1つまたは複数の（フォーマットされていない）テキストファイルで定義され、特別なフォルダに保存されます。フォルダ名は、*Complete Dynamics*。Windowsでは、*My Documents* フォルダに、OS-Xでは、*Documents* フォルダに配置されています。


そのフォルダに *synonyms_example.txt* というサンプルファイルがプリインストールされています。そのファイルには、同義語の定義がどのようになされるかの例が掲載されています。

また、英語以外の言語でも同義語を作ることができます。

同義語を他の人と共有する

同義語の定義を他のユーザーと共有したい場合は、同義語の定義ファイルを送信だけです。他のユーザーが前述のフォルダにファイルをインストールすると、プログラムを停止して再起動した後、自動的に同義語が利用できるようになります。

ハイライト テキストとレメデイを検索する

Findモジュールで検索したテキストやレメディーは、簡単にハイライト表示することができます。（ツールバーボタン)。ハイライト表示されると、これらのテキストやレメディーは、画面を見たときに非常に素早く探し出すことができます。Find, Book and Materia Medica モジュールでハイライトを適用することができます。

レポートリーで探す

ハイライトをオンにすると、検索結果リストでクエリのテキスト要素がハイライトされます。

例として、「fear」というテキストが検索されます。なお、Findモジュールの「fear」は「fearで始まるすべての単語」を意味する。そのため、「恐怖」「怖い」「怖いもの見たさ」という言葉も出てきます。

MIND

ANGER; ailments from, agg.; **fright**, **fear**, with: (24)
ANGER; **fright**, **fear** agg.: (20)
ANXIETY; **night**; **agg.**; **fright**, **fear** agg.: (1)
ANXIETY; **fear**, with: (154)
ANXIETY; **fear**, with; **agg.** until five am., with sleeplessness: (1)
ANXIETY; **fear**, with; **climacteric** period, in: (2)
ANXIETY; **fear**, with; **fever**, during: (1)
ANXIETY; **fear**, with; **stands**, when he, forehead becomes covered with cold perspiration, sick to vomiting: (1)
ANXIETY; **fright**, **fear**
ANXIETY; **fright**, **fear**; **after**: (19)
ANXIETY; **fright**, **fear**; **after**; **pregnancy**, in seventh month of: (1)
ANXIETY; **fright**, **fear**; **fear** of fright still remaining
ANXIETY; **sitting**; **bent** over, forward; **fear** of death, with: (1)
ANXIETY; **waking**, on or after; **shrieks**, screams and remains full of **fear**: (1)
ANXIETY; **heart** region; **fear**, with: (5)
ANXIETY; **heart** region; **pain** in heart, with; **extending** to cervical region, left shoulder and arm, with **fear** of death: (4)
ANXIETY; **health**, about; **fear** of society, people, with: (1)
ANXIETY; **health**, about; **timid**, **fearful**: (1)
BED; **get out of**, wants to; **fright**, **fear** agg.: (3)
BED; **remain** in, desires to; **fear**, from: (1)
BESIDE oneself, being; **fright**, **fear** agg.: (2)
CHEERFULNESS; **alternating** with; **fearfulness** due to retro-lateral version of uterus: (1)
CHEERFULNESS; **fearful**, but: (1)
COMPANY; **desire** for; **alone**, agg. being; **fear** of people, yet: (5)
CONTEMPTUOUS; **hard** for subordinates and agreeable or pleasant to superiors or people he has to **fear**: (4)
COURAGEOUS; **alternating** with; **fear**: (1)
DEATH; **desires**; **fear**, with: (18)
DEATH; **desires**; **fear**, with; **death**, of: (16)

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven - Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort



次の例では、「fear」にレメデイ「bell」または「stram」のいずれかを加えて検索しています。

MIND

ANGER; ailments from, agg.; **fright**, **fear**, with: **BELL STRAM** (+22)
ANGER; **fright**, **fear** agg.: **BELL** (+19)
ANXIETY; **fear**, with: **bell** (+153)
ANXIETY; **fright**, **fear**; **after**: **bell** (+18)
BED; **get out of**, wants to; **fright**, **fear** agg.: **BELL** (+2)
DEATH; **desires**; **fear**, with: **BELL Stram** (+16)
DEATH; **desires**; **fear**, with; **death**, of: **BELL Stram** (+14)
DELIRIUM; **fear** of men, with: **bell** (+1)
DELIRIUM; **lively** active, vivid, alternating with **fear** of monsters, shrieking for help: **stram**
DELIRIUM; **raging**, raving; **fright**, **fear** agg.: **bell stram**
DELUSIONS, imaginations; **alternating** with; **fright**, **fear**: **STRAM**
DELUSIONS, imaginations; **gallows**, of the, with **fear**: **BELL**
DELUSIONS, imaginations; **stranger**, strangers; **sees**; **night**; **every**, since six weeks, causing **fear**, had to leave bed, a old woman: **STRAM**
DESPAIR; **death**, with **fear** of: **bell** (+9)
FEAR: **BELL STRAM** (+932)
FEAR; **alternating** with; **mania**: **BELL** (+1)
FEAR; **alternating** with; **rage**: **bell** (+1)
FEAR; **afternoon**: **stram** (+25)
FEAR; **evening**; **agg.**: **STRAM** (+78)
FEAR; **evening**; **agg.**; **sunset**, after: **STRAM**
FEAR; **evening**; **agg.**; **dark**, in: **stram** (+4)
FEAR; **night**; **agg.**: **BELL STRAM** (+184)
FEAR; **night**; **agg.**; **children**, in, pavor nocturnus: **bell STRAM** (+27)
FEAR; **abortion**, in threatening: **bell** (+4)
FEAR; **anger**, vexation, after: **BELL STRAM** (+26)
FEAR; **bed**; in: **BELL** (+39)
FEAR; **children**, in: **bell STRAM** (+70)
FEAR; **children**, in; **cholera** infantum, in: **STRAM**

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven - Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort



Findモジュールと同様に、BookモジュールでもFindクエリのテキストとレメデイをハイライト表示することができます。

FEAR	MIND	MIND	FEAR
FEAR (cont.) children , in: abel achy ACON ambr ant-e arg am ARS AUR-BR BAR-C bar-m bell BISM bism-met BOR brach BUFO CALC camph carb-v CARC CAUST cham chap CHEL CHLOL cic cimic CINA CUPR CUPR-ACET cypr DROS GELS HALIAE-LC hyos hyosin IGN lod KALI-BR kali-c KALI-P lac-c lach lil-t LYC med merc NAT-C OP PHOS Plac PLUT-N pras-f psor puls Rheum sac-alb SANIC santin scut sil sol-n STAPH STRAM SULPH SYPH thuj TUB tung valer zinc • Anxiety; children, in (46) • Children; complaints in (383) cholera infantum , in: STRAM • Rectum; cholera; infantum (123) everything it sees , of: calc pavor nocturnus • Fear; night; agg.; children, in, pavor nocturnus (29) chill , during: Ars CALC carb-an cycl gels hura Lam Puls sulph tub verat • Chill, during (163) bed , on going to: hura • Bed; agg. (363) • Fear; bed; going to, on (9) closing eyes , on: aeth CARB-AN CAUST • Closing eyes; agg. (83) coition , during • Coition; agg. (62) coldness , with: am-c calc carb-f diom-e op puls samb VERAT	FEAR; coldness , with (cont.) • Generalities; coldness, lack of vital heat; fright, fear agg. (7) company amel. : agar ars BELL bism CALC fab fic-i gard-j GELS hyos LAC-C med rad-br ran-b ros-g STRAM • Solitude, being alone, of (177) constipation , with: Bell lach OP • Constipation; with (52) • Mirilli's themes; constriction (87) convulsions before: agar aml-n arg-n cic CUPR nat-m • Anxiety; convulsions; before (9) • Convulsions; before (92) • Generalities; convulsions, spasms; fright, fear; from (44) • Mirilli's themes; fit (230) during: Absin acon agar ang apis arg-n ars bell bufo calc camph cann-i canth cimic cocc coff con convo-s cupr dros elaps gels glon hell hep hyos ign kali-br kali-c kali-p lach lil-t lyc Morph MOSCH Nat-s nux-v phos phys plat ran-b sec sep stram stry verat verat-n zinc • Anxiety; convulsions; during (27) • Convulsions; during (177) • Generalities; convulsions, spasms; anguish, with (14) • Mirilli's themes; death (660) • Mirilli's themes; fit (230) • delivery, parturition, after, puerperal: stram • Delivery, parturition; after, puerperal (87)	FEAR; convulsions ; during; delivery, parturition, after, puerperal (cont.) • Generalities; convulsions, spasms; delivery, parturition; after, puerperal (91) • intervals, at: cupr cough , during: ANAC BRY cham CINA dros KALI-BR Meph PHOS SPONG syph • Coughing; while (109) whooping cough: SPONG • Cough; whooping (225) crowd , in: abel ACON aloë Alum am-m AMBR Amet ARG-N am ars ars-s-f asaf AUR aur-ar aur-i AUR-M-N aur-s bamb-a bar-br bar-c bar-s BELL beryl beryl-n blatta bufo calc Cann-J carb-an CARC caust cic con dios dysp elaps fagu ferr ferr-ar ferr-p graph hep her-s hydr-ac irid KALI-AR kali-bi kali-c kali-p lac-cpr lac-del lac-eq led levo LYC manc merc morg morg-g nat-ar nat-c NAT-M nat-s nux-m NUX-V oxyg parth PETR phos Plac plat plb PLUT-N pter-a PULS rhus-t salv sam-s scan sel sil stann stram sulph tab taosc teg-a thuj til tritic-v ven-m • Crowd, in (120) • Fear; approaching; others, of (58) • Narrow, small place, in, claustrophobia (97) • Public places, of (35) • Streets, busy (8) • Generalities; crowded places agg. (146) • Mirilli's themes; crowd (186)	FEAR; crowd , in (cont.) • Psychological themes; anxiety, fear (1074) delirium tremens , in: calc cimic scut • Delirium tremens, mania-a-potu (112) delirium , in: ACON AIL anac apis ARS ATRO AUR-M bapt bar-c BELL BROM bry Calc camph Cann-I canth carb-v caust chin cic cimic colch coloc CROC CUPR cypr dig HEP hydrog HYOS IGN LAC-C lach Lat-4 lyc merc nat-m nicot nit-ac NUX-V OP phos PLAT PLB poco PULS rhod samb SEC SIL STRAM stry sulph TARENT-C THUJ VERAT zinc zinc-p • Delirium (397) violent beating of carotid and temporal arteries, from: AUR-M • Fear; delirium, in (58) • Neck; pulsation; bloodvessels; carotids (128) • Mirilli's themes; blood (178) • Mirilli's themes; death (660) • Mirilli's themes; insanity (674) delivery , parturition, during • Anxiety; delivery, parturition; during (21) delusions , from: Absin BELL falco-p HYPER KALI-C STRAM succ tax Tritic-v • Delusions, imaginations; anxious (28) diabetes , in: NAT-S • Clinical; diabetes; mellitus, type 2 (276) agg.: cod • Clinical; diabetes; mellitus, type 2 (276)

次の例では、レメディーを探すのはノゾーデです。どのノゾキがどのルビにあるのか、すぐにわかるようになりました。

CARES	MIND
CARES, worries, full of (cont.) agg. , ailments from: absin acal acet-ac act-sp agar Agri ALF alum AMBR amet ana-i ant-c apis aran-ix ARG-N am ARS aur aur-ar AVEN bacch-a bamb-a BELL-P biti-a bor bov bud-d CALC calc-ar calc-f calc-sil carb-f CARC CAUST cer cer-p cham chrysan cich cimic cinis-p clem COCA cocc COFF coff-t con cortico Corv-c crot-h cygn-c-b diosp-k dys-co erb-p ergot eur-n EXCR-CAN ferr-i gala gall GELS germ Graph gymn Haliae-Ic heli hell helo HELON hep hist HOCH hydrog HYOS IGN impa-w kali-ar kali-bi KALI-BR kali-i kali-m KALI-P kron lac-del lac-drom lac-leo lac-m LACH lat-m LIL-T lith-c LYC MAG-C mag-p mal-c mang med meny merc merc-i-r mur-ac nat-ar nat-hchls NAT-M nelu niob nit-ac nux-m NUX-V PASSI PH-AC PHOS pic-ac pisc PLAC plb PODO por-m PSOR puls Rhus-t sanic senec SEP STAPH SULPH sumb syph thlaspi thul-m thymu tub Uran uro-h urt-u vanad xan ZINC-P	

マテリアメデイカで探す

マテリアメデイカのテキストを検索する際、見つかった単語はハイライト表示されます。次の例では、探したテキストは「bed too hard」でした。なお、「toothache」も「too」で始まるため、強調表示されています…。

Aconitum napellus Allen Encyclopaedia

Extremities in general: Pain as from a contusion in shoulder and hip-joints, after sleeping, as if the bed had been too hard, . —

Aconitum napellus Hahnemann MM Pura

330. After sleeping, a pain on moving in the shoulder (and hip) joint as from being crushed, of as if the bed had been too hard.

After sleeping, a pain, on moving, in the hip (and shoulder) joint as from being crushed, or as if the bed had been too hard.

Antimonium crudum Allen Encyclopaedia

Conditions: [...] bed, toothache; thirst: pinching in abdomen begins; in bed, crawling, etc., of the hemorrhoids; hard [...] bed, [...]

Arnica montana Boericke Pocket manual

Bed feels too hard.

Arnica montana Cowperthwaite Textbook

Generalities: (Ars., Camph., Colch., Sec., Verat.) Weary, bruised (Ran-b.), sore (Bad., Ruta); great, weakness (Chin.); must lie down yet bed feels too hard.

Arnica montana Dewey Essentials

After traumatic injuries, over-use of any organ, strains; limbs and body ache as if beaten, bed feels too hard. [...] a bruised feeling all over the body; complain that the bed is too hard and toss about to find a soft spot; involuntary stools and urine; pete- chiae all over the body; ecchymoses and bed [...]

Arnica montana Hering Guiding Symptoms

Nerves: Weary, bruised, sore, great weakness, must lie down, yet bed feels too hard.

Arnica montana Kent Lectures

"Weary, bruised, sore, great weakness, must lie down, yet bed feels too hard."

Arnica montana Nash Leaders

Bruised, sore feeling all over; bed feels too hard.

Both have feeling as if the bed were too hard.

Arnica montana Farrington Clinical MM

The patient complains of a bruised feeling all over the body, so that the bed feels too hard to him.

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven



マテリアメデイカモジュール

Materia Medicaモジュールでは、ハイライトは単語だけでなく、Findモジュールでクリックした文にも適用されます。文章は単語より薄い色でハイライトされています。

Complete Repertory
Allen, Henry Clay
Keynotes and Characters
The Materia Medica of
Allen, Timothy Field
Clinical Hints
The Encyclopaedia of
Anschutz, Edward
New, old and forgotten
Boericke, William
Pocket Manual of Homeopathy
Boger, Cyrus Maxwell
A synoptic key of the Materia Medica
Bönnigshausen, Carl
Characteristics
Clarke, John Henry
Dictionary of Practical Materia Medica
Cowperthwaite, Allen
A Textbook of Materia Medica
Dewey, Willis Allison
Essentials
Farrington, Ernest J.
Clinical Materia Medica
Hahnemann, Samuel
Materia Medica Pura
Organon of Medicine (1797)
Hansen, Oscar
A Text-Book of Materia Medica
Hering, Constantine
The Guiding Symptoms
Hutchinson, John V.
700 Red Line Symptoms
Kent, James Tyler
Lectures on Homeopathy

Allen, Timothy Field - Aconitum napellus

clenched and the thumbs doubled into the palms so that he could not open the hand, ¹. [1150].— Weariness of arms and legs, ³¹. — Weariness and exhaustion of all the limbs, with stretching and straining, ³⁵. — Weariness of the limbs, especially the legs, with constant sleepiness and ill-humor, ¹. — Heaviness and stiffness of limbs in open air, ³¹. — Painful heaviness of limbs, ^{19c}. — Stiffness and difficulty of moving limbs, ¹. — Difficulty of moving limbs, ³⁶. — An arm and a leg feel paralyzed, ¹⁶. — A paralyzed feeling in left arm and thigh; the power of moving was gone in both, only slightly remaining in the hand. When the left side lost this it came into the right side in the same way; when he could raise the right arm he could not the left, and vice versa: at length could raise them both, ¹⁴. — Feeling as if the limb had gone to sleep, ¹. — It seemed as though the circulation stopped in all his limbs; no circulation at all was felt by him from the wrists to the finger ends, and from the ankles to the tips of the toes, ⁹. [1160].— Weakness and unsteadiness in the ligaments of all the joints (46 h.), ¹. — Feeling as though the ligaments of the joints were relaxed, ²⁷. — Great weakness of the joints, especially the knee and joints of the foot, with jerking in the tendons so that he can scarcely walk, ⁹. — Numbness in the tips of the fingers and toes, ³⁵. — * Coldness of extremities, ¹¹. — Bruised feeling in the limbs, ³⁶. — Pain as from a contusion in shoulder and hip-joints, after sleeping, as if the bed had been too hard, ¹. — Drawing now in the knee and calf, now in elbow, ³³. — Drawings here and there in the joints, ³⁴, ³⁵. — * Drawing, tearing pains in limbs, ²⁵. [1170].— Transient pains, like bone pains, in the metacarpal and long bones of upper and lower extremities, ³⁸. — Stretching pains in the limbs, ¹. — Pain in the elbows, knees, and hips; pressure after walking about, ¹. — Almost directly after getting into bed, momentary drawing pains in left middle finger and right heel, ³⁸. — Shuddering of the extremities, ¹². — Crawling in upper and lower limbs, ¹¹. — Pain in the joints, ³⁶. — * All the joints are painful (7 h.), ¹⁶. [See S. 1420.] — Painless cracking of all the joints especially the knees, ¹.

Upper Extremities. Shoulders. — Pain in left shoulder-joint, ⁴. [1180].— Slight pain in shoulder-joints, ³⁶. — Pains in left shoulder, ³⁶. — Tearing pain from the shoulder down the arm to the wrist and fingers, on

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven



The Encyclopaedia of Pure Materia Medica

every motion; during the pain the hand is blue (after 1, 14 h.), ¹. — Tumor in the muscles of the shoulder, extremely painful to the touch, as if bruised (after 4 h.), ¹. — The shoulder is painful, and feels as if it would sink down, ⁶. — Some transient stitches in the left shoulder, ⁶, ³⁰. — Numbness in the shoulders, ¹. — Drawing, tearing pain in shoulder-joint, ²⁵. — Pressure in right shoulder and upper arm, ³¹. — Pressive pain in left shoulder, and posterior-exterior side of left upper arm, ²². [1190].— Violent drawing and tearing, with paralytic sensation in head of left humerus, ²⁰. **Upper Arms.** — Tingling down the arms, ⁴¹. — The arms feel bruised and sink down powerlessly, ⁶. — Weariness of arms, ³¹. — Coldness and insensibility of the arms, ¹. — No feeling in arms, ¹. — Pinching, as if with blunt forceps, on some spots of the left arm, often returning, ³¹. — Throws the arms about, ¹. — Single shootings in middle of right upper arm, anteriorly, while at rest, not changed by motion or pressure, ³. — Sudden drawing and shooting pain in right upper arm posteriorly, ³. [1200].— Drawing and paralytic stiffness in right upper arm, ²⁷. — Weariness of left upper arm, ²¹. — Tickling itching on inside of left upper arm, ²¹. **Elbows.** — Drawing pain in the elbow-joints, ⁶. — Drawing-tearing pain in the elbow-joints, ²⁵. — Several rheumatic-like pains in left elbow-joint, ³⁸. — Dull, rheumatic pains about right elbow-joint, ⁴³. — Violent shootings in the elbow-joints down to the wrists, on the outside of the arm, on flexing the fingers to the wrist-joint, ⁶.

Forearms. — Sensation of weight in the arms, from the elbow to the fingers; they feel as if they would fall, with sensation in fingers as if they were asleep, on grasping anything, ⁶. — Drawing-tearing pain in the forearm, ²⁵. [1210].— Pain in the forearm, as if from a violent blow, ⁶. — Drawing, shooting pain in the bones of the forearm, excitable by movement, ¹. — Crawling in right forearm, ²². — Paralytic feeling in right forearm and hand (on writing), relieved by violent motion, but returning while writing, or at rest, but less severely, ³. — Drawing-tearing pain on the outside of right forearm, ³. — Cramp-like pain in the whole of the left forearm, not relieved by anything, ³. — Undulating, tearing pain in the upper end of the left forearm, ³. — Acute pain in right forearm, along the flexor tendons of the little finger, increased by movement, ³⁵. — * Numb, tingling sensations in arms and hands, as though the poles of a galvanic battery were being

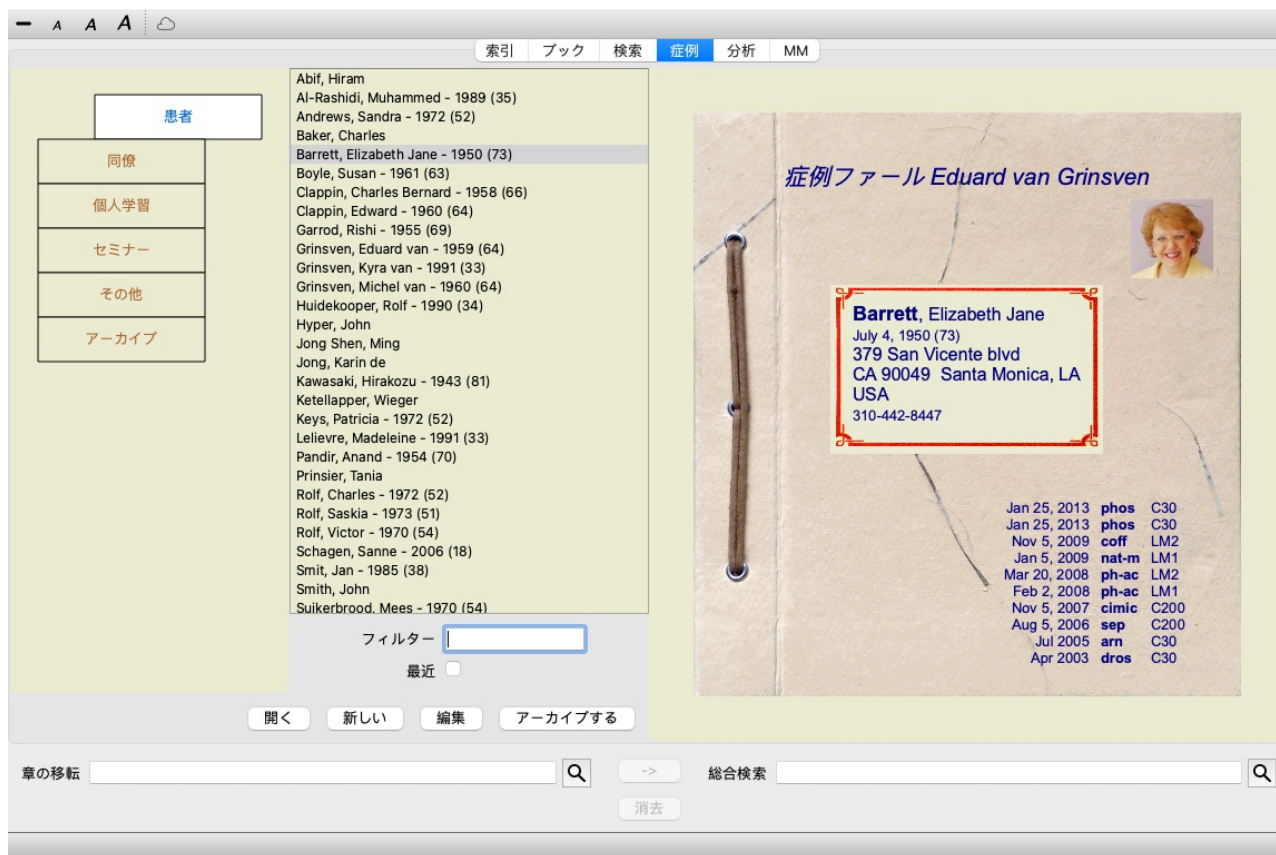
Complete Dynamics © Eduard van Grinsven



ケースモジュール

Caseモジュールを開く

Case タブをクリックし、Case モジュールを表示します。(メニューオプション表示 / 症例, \mathbb{R} -D).

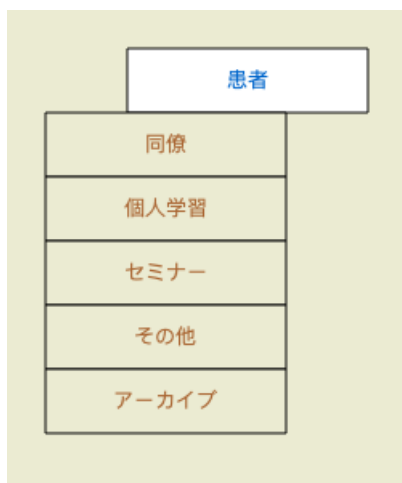


Caseモジュールでは、患者さんの症例ファイルの作成と整理、作成した処方箋の登録、分析の作成と整理が可能です。

Caseモジュールで作業することは、実際の事件簿を扱うのと同じです。ケースは、実際の生活でケースファイルをファイルキャビネットや引き出しごとに整理するように、グループごとに整理されています。まず、作業したいグループ（複数可）を選択します。選択されたグループの症例は、患者情報の要約のみがリストで表示されます。名前と生年。リストの下にある *Filter* フィールドに患者名の1つまたは複数のパーツを入力することで、症例をフィルタリングすることができます。リストで案件を選択すると、画面右側に案件ファイルが表示されます。次に、ケースファイルを開くこととなりますが、まず、このケース管理の部分について少し詳しく説明します。

グループを選択し、独自のグループを作成する

グループセクターは、一種のドロワーキャビネットと見ることができます。



この写真では、*Patients* の引き出しを開けたところです。

標準グループは

患者様 症例説明で *Patient* と表示され（詳細は後述）、あなたが著者となっているすべての症例ファイルです。

同僚 ケースの説明で *Patient* と記され、他の誰かが著者となっているすべてのケースファイル。

研究内容 *Study* と表示されているすべてのケースファイル。これらは、あなたの患者さんとは直接関係なく、あなたの個人的な勉強のためだけの症例です。

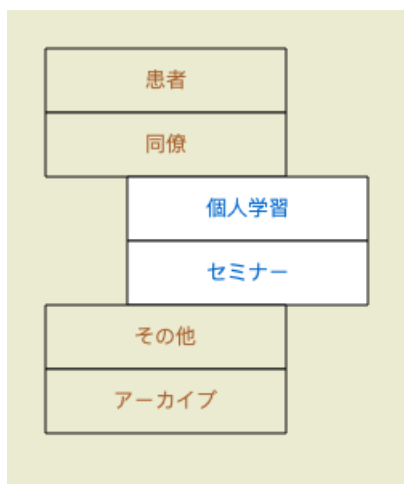
セミナー セミナーと表示されたすべてのケースファイル。セミナーや研修で発生するケースは、このグループに作成します。

その他 他のどのグループにも属さないすべてのケース。

アーカイブ アーカイブしているすべてのケース。

アーカイブされたケースは、他のどのグループにも表示されなくなります。

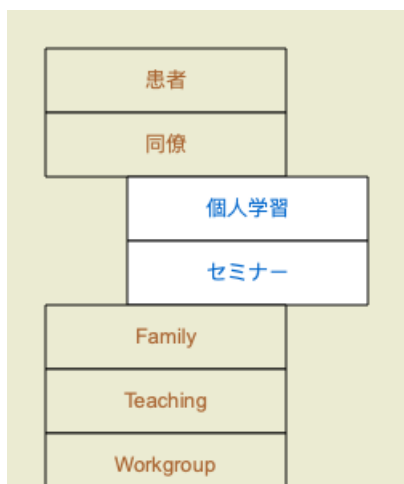
1つまたは複数の引き出しを同時に開けることができます。引き出しをクリックするだけで、開いたり閉じたりすることができます。引き出しの一つをダブルクリックすると、その引き出しが開き、同時に他の引き出しが閉じます。



2つの引き出しを開けたところ。

事例のあるリストには、「Study」または「Seminars」と表示されているすべての事例が表示されます。

もちろん、これらのグループが個人の希望と一致するわけではありません。独自のグループで新しいドロワーを作るのも簡単です。案件情報を編集する際に、案件をどのグループに所属させるかを指定することができます。標準の3つのグループ「Patient」「Study」「Seminar」を使用できますが、独自のグループ名を入力することもできます。新しいドロワーは自動的にリストに追加されます。



ドロワー *Family, Teaching and Workgroup* は自動的にリストに追加されますが、これは一部のケースでこれらのグループ名がケース情報内で使用されていたためです。

適切なケースファイルの選択

選択されたグループまたはグループに一致するすべての症例がリストに表示されます。*Filter* フィールドに何らかのテキストを記入すると、リストがフィルタテキストに一致するケースに制限されます。フィルタの使用例です。



このフィルターには、適切なケースを選択するための非常に強力なオプションがあります。これは、*Find* フィールドがテキストやレメディに使用すると同じフィルタリング基準を使用します。*Case* モジュールでは、*text* はリストに表示されている名前、*remedies* は患者に処方された（または処方されていない）レメディです。詳しくは、「*検索*」フィールドをご参照ください。

例Johnまたは Joseph という名前の患者を探すには、*nux-v* は処方されているが、*sulph* は処方されていない、とタイプするだけです。

ジョン/ ジョセフ NUX-V. -sulph.

(レメディー名の後ろのドットにご注目！)。

オプションRecentをチェックすると、最近変更されたケースのみが表示されます。その標準的な期間は7日間です。この設定は、Preferences SectionCase で変更することができます。

ケースファイルの概要

案件を選択すると、案件情報の一部が右側に描画されます。

などの情報があります。

- 本件の著者名
- 患者情報（氏名、住所、生年月日）。
- 写真（ある場合）。
- 直近の処方箋のリスト。

例



ケースファイルの作成

New ボタンをクリックすると、新しいケースファイルを作成することができます。(メニューオプション症例/ 新しい症例, control-N).

ダイアログが表示され、患者情報や症例背景を入力することができます。

ケースデータの編集

Patient セクションでは、患者について保存したいすべての個人情報を記入できます。Photo ボタンを押して、写真の入った画像ファイル (gif, jpeg or png 形式) を選択します。写真は自動的にリサイズされます。クリアボタンで、既存の写真を削除します。

患者の誕生日、誕生月、誕生日が不明な場合は、単に0と記入してください。

正確な生年月日が不明で、患者から現在の年齢しか提供されない場合は、「生年」の欄に年齢を入力することができます。

患者さんのメールアドレスを記入すれば、簡単にメールを送ることができます。(メニューオプション症例/ 患者にメールを送る)。

患者
症例

個人情報

姓

ファーストネーム

ミドルネーム

イニシャル

性別 女姓

生まれた年

生まれた月

誕生日

写真




写真
削除
回転

住所

道路

郵便番号

都市

国

電話番号（家）

電話番号（職場）

電話番号（携帯）

メール

家族の情報

連れ合い

子供

取り消す
同意

症例セクションでは、患者自身とは関係のない、症例の背景情報を入力することができます。

Author info グループには、この案件を作成した人の名前を入力できます。ほとんどの場合、これはあなたなので、あなたの情報はすでに自動的に入力されています（他の人からケースを受け取り、それを引き継ぐ場合は、*Me* ボタンを押してください）。著者情報は、患者ケースを *Patient* または *Colleagues* のグループ選択の下に配置するために使用されます。

Case groups グループでは、標準のグループから1つを選択するか、スペースまたはセミコロンで区切られた独自のグループ名を記入することができます。

ケース背景グループは、このケースがセミナーや雑誌などから発信されており、ケースの出所を覚えておきたい場合に便利です。

患者

症例

作者情報

姓

Grinsven

ファーストネーム

Eduard

ミドルネーム

van

イニシャル

私

症例群れ

患者

☒

研修

☐

セミナー

☐

その他

症例の背景

症例の起源

Complete Dynamics documentation centre.

ノート

This is an example case, for use in the documentation.

The information entered here will appear on the case background sheet in the opened case file.

取り消す

同意

カスタムデータフィールドの追加

患者さんに入力できる標準的な情報だけでは不十分な場合は、自分で項目を追加することができます。これにより、個人の働き方に合わせて、あらゆる情報を簡単に管理できるようになりました。

案件情報に新しい項目を追加する場合は、画面右側の「+」ボタンを押します。



これで、新しいフィールドの名前と値を入力することができます。

追加フィールドを作成

ラベル

Insurance nr.

データ・タイプ

☒ テキスト

☐ 数

値

BX-1234567

新しいフィールドを追加すると、患者情報を編集するたびに、フィールドが自動的に表示されます。この例では、2つの新しいフィールドが追加されています。

個人的な追加

Insurance nr. BX-1234567

Family doctor GrandHeal sr.

+

新しい情報は、Caseモジュールの患者情報セクションにも表示されます。

患者について

名前	Demo case Andrew (A.)
性別	男
生年月日	January 1, 1971 (53)
住所	123 Lessmore drive 54321 Metropolis Neverland
家の電話番号	123-456-7890
勤め先の電話番号	
携帯電話番号	
メール	andrew@demoworld.tx
配偶者	Julia
子供	
Insurance nr.	BX-1234567
Family doctor	GrandHeal sr.

お客様の個人情報、使用されるケースがなくなると自動的に消去されます。

ケースを開く

既存のケースファイルをリストで選択し、*Open* ボタンをクリックすると、そのファイルを開くことができます。(メニューオプション *症例 / 症例を開く, control-O*).

また、リスト内のエントリーをダブルクリックすることもできます。

新しいケースを作成すると、そのケースは自動的に開かれます。

ケースファイルを開くと、実際のケースファイル内にあるような内容も表示されます。


- 患者情報を記載した紙
- 処方箋のある用紙です。
- ケースファイルに含まれるすべての分析結果の概要を記載したフォーム。
- 分析ごとに1枚の紙を用意する。
- 事件の背景を書いた紙1枚

例

索引 ブック 検索 症例 分析 MM

患者について

名前 Barrett, Elizabeth Jane (E.J.M.)
 性別 女
 生年月日 July 4, 1950 (73)
 住所 379 San Vicente blvd
 CA 90049 Santa Monica, LA
 USA
 家の電話番号 310-442-8447
 勤め先の電話番号
 携帯電話番号
 メール lisabarret50@gmail.com
 配偶者 Bill
 子供 Jane, Peter



症例の作者: Eduard van Grinsven
 症例の背景: Complete Dynamics documentation centre.

This is an example case, for use in the documentation.
 The information entered here will appear on the case background sheet in the opened case file.

日付	レメディー	ポテンシー	ノート
Jan 25, 2013	phos	C30	
Jan 25, 2013	phos	C30	
Nov 5, 2009	coff	LM2	
Jan 5, 2009	nat-m	LM1	
Mar 20, 2008	ph-ac	LM2	Only when grief reappears.
Feb 2, 2008	ph-ac	LM1	
Nov 5, 2007	cimic	C200	
Aug 5, 2006	sep	C200	
Jul 2005	am	C30	Repeat until bruises gone.
Apr 2003	dros	C30	

利用できる分析

日付	描写
Jan 5, 2009	Grief remains, eczema from youth gets back
Feb 2, 2008	Grief after death mother
Nov 3, 2007	
Aug 5, 2006	

章の移転 -> 総合検索

開いている案件を閉じるには、左上の小さな矢印◀をクリックします。(メニューオプション症例/ 症例を閉じる, control-C, ポップアップメニューオプション症例を閉じる)。

処方箋の管理

新しい処方箋を追加するには、処方箋の上部にある空の行をダブルクリックします。(メニューオプション症例/ 処方追加, control-X, ポップアップメニューオプション処方追加)。

新しいダイアログが表示され、処方箋に関する情報を入力することができます。

レメディ

Phosphoricum acidum

ポテンシー

反応

指導

ノート

年

月

日

月または日が不明な場合は、単に0を記入する。

処方箋を削除するには、リストで選択し、次に処方箋を削除します。(メニューオプション*症例/ 処方*の削除, ポップアップメニューオプション*処方*の削除).

リスト内のエントリーをダブルクリックすると、処方箋を編集することができます。(メニューオプション*症例/ 処方*の修正, ポップアップメニューオプション*処方*の修正).

分析の管理

メニューのオプションで新しい分析を追加するか、分析インデックスの上部にある空の行をダブルクリックすることができます。(メニューオプション*症例/ 分析*を付け加えて, *control-A*, ポップアップメニューオプション*分析*を付け加えて).

新しいダイアログが表示され、解析に関する情報を入力することができます。

描写
 診断
 ノート
 年 月 日

月または日が不明な場合は、単に0を記入する。

一覧で選択し、「Delete analysis」で削除します。(メニューオプション *症例/分析を削除する*, ポップアップメニューオプション *分析を削除する*).

リスト内のエントリーをダブルクリックすると、分析結果を編集することができます。(メニューオプション *症例/分析を編集...*, ポップアップメニューオプション *分析を編集...*).

解析をコピーして、新しい解析の基礎にする場合は、解析の複製を使用します。(メニューオプション *症例/分析を複製する*, *control-D*, ポップアップメニューオプション *分析を複製する*).

解析を別のケースに移動するには、メニューの「解析をケースに移動する」を使用します。(メニューオプション *症例/分析を症例に移す*, ポップアップメニューオプション *分析を症例に移す*).

リスト内の解析の一つをクリックすると、この解析が *Analysis* モジュールで使用される解析になります (セクション *Analysis* を参照)。

印刷

自分のケース、またはその一部を印刷することができます。(メニューオプション *症例/プリントする*, *⌘-P*, ポップアップメニューオプション *プリントする*).

ケースの印刷は、ケースを開いた後にのみ可能です。

印刷したいものを選択するダイアログが表示されます。

なにを印刷しますか

☐ 症例のカバー
☒ 分析
☐ 全ての分析
☐ 分析無し
☐ 分析の詳細
☐ ルブリックとレメディ

印刷の選択


☒ 色
☒ プリンター
☐ PDFファイルに
☐ Write to HTML file
☐ クリップボード
☐ 写真のファイル
☐ 高解像度

ケースカバー

このオプションをオンにすると、印刷の最初のページに患者情報と処方箋の概要が表示されます。

現状分析	現在選択されている分析結果のみを、 <i>Analysis</i> モジュールで使用されている設定で印刷したい場合は、このオプションを選択します。。
全分析	すべての分析結果を印刷する場合は、このオプションを選択します。
分析なし	分析結果を印刷しない（ケースカバーのみ）場合は、このオプションを選択します。
分析内容	このオプションをチェックすると、各分析に入力した情報（診断、メモ）が印刷されます。
ループリックとレメディー	このオプションをチェックすると、すべての分析プリントに、分析に使用されたループリックのすべての救済措置の概要が含まれるようになります。 著作権の関係上、ルビは最大20枚までしか印刷されませんので、ご了承ください。20枚以上のルビを印刷した場合、救済措置の多いルビは救済措置が記載されない。
カラー	カラーで印刷する。チェックを入れないと、モノクロプリンターに最適化された印刷が行われます。
プリンターへの印刷	プリンターに直接印刷する場合は、このオプションを選択します。
PDFファイルへの書き込み	PDFファイルへの書き込みを行う場合は、このオプションを選択します。
HTMLファイルへの書き込み	HTMLファイルに書き込む場合は、このオプションを選択します。出力の一部を他の文書にコピーする場合などに便利な形式です。
クリップボード	このオプションを選択すると、コンピュータのクリップボードに分析結果の画像が作成され、他のアプリケーションに含めることができます。
画像ファイル	解析画像をファイルに書き込む場合は、このオプションを選択します。

複数のケースの概要を印刷


ケースを開いていない場合は、複数のケースの概要を印刷できます。（メニューオプション*症例/プリントする,  P*, ポップアップメニューオプション*プリントする*）。

例えば、あなたの患者を監視する同僚のためにリストを作成したい場合、これは実用的です。そして、過去6ヶ月間に診た患者の名前と生年月日だけで、治療薬の処方リストを作成することができます。
印刷ダイアログのオプションについては、これ以上説明する必要はありません。

パスワードによる保護

外出先から患者さんの情報を保護することができます。

このため、パスワードを設定することができます。（メニューオプション*症例/症例データベース/パスワードを変更する*）。

パスワードが設定されている場合、ケースモジュールに新しいボタンが表示されます。
そのボタンを押すと、すぐにケースモジュールがロックされ、開くにはパスワードの入力が必要です。

また、しばらく使わないでいると、自動的に案件情報をロックすることも可能です。
自動ロックするまでの時間は、*Preferences* の設定で、自分で設定することができます。（メニューオプション*全般/環境設定*）。
0分に設定すると、自動ロックは行われません。

パスワードの設定には十分な注意が必要です。あなた以外に、あなたのパスワードを知っている人はいません。パスワードを忘れたら、家の鍵を失くしたのと同じことで、もうアクセスできない。

アーカイブと削除

アーカイブ事例

症例一覧に表示されなくなった症例は、アーカイブすることができます。（メニューオプション*症例/アーカイブケース*）。
ケースをアーカイブすると、グループ*Archived* に表示されます。

アーカイブされている間でも、ケースを開くことはできます。ケースに何らかの変更を加えると、そのケースは自動的に*Archived* グループから削除され、他のアクティブなケースと一緒に戻されます。

複数の古いケースをアーカイブすることができます。（メニューオプション*症例/古いケースをアーカイブする, ポップアップメニューオプション古いケースをアーカイブする*）。
開いたダイアログで、月数を指定することができます。指定された月数の間、変更されていないすべてのケースをリストで表示します。次に、リストで選択されているすべてのケースをアーカイブすることができます。

ケースファイルの削除

ケースファイルを保管する必要がなくなった場合は、削除することができます。（メニューオプション*症例/ケースを削除*）。
ケースは、アーカイブされた後にのみ削除することができます。

また、アーカイブされた古いケースを自動的に削除させることも可能です。*Preferences* の設定にそのためのオプションがあります。デフォルトでは、アーカイブされたケースは自動的に削除されません。

自動バックアップ

意図せずケースファイルを削除してしまった場合、バックアップから復元することができます。（メニューオプション*症例*

/ 症例データベース / バックアップからケースを復元する)。

バックアップは自動的に行われます。

- この1ヶ月間、毎日です。
- 毎月、この1年間。
- 1年経過すると、バックアップは永久に削除されます。
- なお、バックアップはお客様のコンピュータのローカルに保存されます。

クラウドサーバー

はじめに

診療に複数のパソコンを使用している場合、それらのパソコン間で症例情報を同期させておくといでしょう。これにより、どこにいても常に最新の案件情報を入手することができます。外出先でも、スマホやタブレットで。

当社のクラウドサーバーは、ケースを自動的に同期させるための柔軟で簡単な仕組みを提供します。

他の多くのクラウドソリューションとは異なり、Complete Dynamicsは、インターネット接続の有無にかかわらず使用することができます。インターネットに接続されていない場合、すべてのケースはあなたのデバイスにローカルに保存されます。あなたが行ったすべての変更は、ローカルに保存されます。インターネットに接続できる環境であれば、クラウドサーバー経由で自動的にケースを同期させることができます。

インターネットに接続していない状態で、別の端末でケースに変更を加えても、何も変わりません。クラウドサーバーへの接続が可能になると、異なるデバイスで行ったすべての変更を統合することができます。同じ案件を担当していたとしても

クラウドサーバーは何をすることですか？

クラウドサーバーの目的は、このサービスを利用するすべてのデバイスで、お客様のケースを同一に保つことです。

1つのデバイスで追加したものは、他のデバイスでも追加されます。
1つのデバイスで変更したことは、他のデバイスでも変更されます。
1台のデバイスで削除したものは、他のデバイスでも削除されます。
ケースをアーカイブすることは、他のデバイスでもアーカイブされることを意味します。

クラウドサーバーを利用するメリット

- どのようなデバイスを使用していても、自動同期後にあなたのケースが最新の状態になります。
- ライセンスに含まれるすべてのデバイスで動作します。
- インターネットに接続していない状態でも作業が可能です。
- インターネットが利用できるようになれば、自動的に同期が行われます。
- パソコンが壊れたときのために、常にケースのコピーを用意しています。

クラウドサーバーは、どのようなデバイスで利用すればよいのでしょうか？

これはあなた自身の選択です。

パソコン1台で利用する場合、クラウドサーバーを利用することでケースのコピーを確保することができます。万が一、パソコンが壊れても、新しいパソコンに自動的にケースを転送することができます。

2台以上のデバイスを使用する場合、クラウドサーバーは1台のデバイスで行った変更を他のデバイスに適用することができます。

クラウドサーバーを利用するかどうかは、利用するデバイスごとに決めることができます。例えば、自宅やオフィスのパソコンにはクラウドサーバーを使うが、スマホには使わないということも可能です。

セキュリティとプライバシー

私たちは、セキュリティとプライバシーが非常に重要であることを認識しています。

セキュリティ

あなたの大切なデータを守ります。

- クラウドサーバーへのアクセスは、お客様名義の有効なライセンスがあるデバイスからのみ可能です。
- 他のデバイスがあなたのケースにアクセスすることはありません。
- あなただけが知っている特別なパスワードが必要です。
- サーバーとの接続は暗号化されています。

プライバシー

お客様は、当社のクラウドサーバを利用する義務を負いません。患者さんの情報を遠隔地のコンピュータのどこかに保存しておきたくないという気持ちは、よくわかります。クラウドサーバを利用するかどうかは、お客様の判断にお任せします。

私たちは、あなたとあなたの患者さんのプライバシーを十分に尊重します。お客様のデータを使用したり、加工したりすることは一切ありません。クラウドサーバが行うのは、あなたのデバイスとの間のコピーだけです。

クラウドサーバのセットアップ

クラウドサーバでデバイスを使い始めるには、まず、アクティベーションを行う必要があります。アクティベーションは、*Preferences, sectionCase*で行います。(メニューオプション全般/環境設定)。ここで、*Use Cloud Server* というオプションを選択することができます。

初めてクラウドサーバを起動する場合は、自動的にケースデータを保護するための暗証番号の作成が案内されます。この暗証番号は、後でいつでも変更できます。(メニューオプション症例/症例データベース/クラウドピンを変更します)。クラウドPINは、他のデバイスをアクティベートする際に必要になりますので、忘れないようにしましょう。

クラウドサーバの状態

Case モジュールのページ上部には、サーバの接続状態を示すアイコンが表示されます。

- ☐ クラウドサーバが利用可能です。
- ☒ コミュニケーション中。
- ☒ インターネットに接続できない、またはサーバが一時的にオフラインになっている。
アイコンが表示されていない場合は、クラウドサーバが未設定です。

アイコンをクリックすると、すぐに同期が実行されます。

制限事項

クラウドサーバの目的は、あるデバイスで行われたすべての変更を、他のすべてのデバイスに適用することです。しかし、これは常に可能なことではありません。制限の内容を把握するのに役立ちます。

特にオフラインで作業している場合、クラウドサーバへの接続が再確立する前に、同じ案件を別の端末で変更することが起こり得ます。通常であれば、ほとんど問題になることはないでしょう。

事件の情報は、いくつかの独立した要素で構成されています。

- 患者さんに関する情報です。
- 本件に関する情報です。
- それぞれの分析
- 各レメディーの処方

これらの要素の1つを変更し、別のデバイスの別の要素に変更を加えることができます。しかし、例えば2つのデバイスで同じ解析を変更した場合、最後に変更したものだけが保存されます。あるデバイスのある分析を、別のデバイスの別の分析に変更しても、問題はありません。あるいは、あるデバイスでレメディー処方を追加し、別のデバイスで別のレメディー処方を追加しても、問題はありません。

バックアップ

クラウドサーバに保存されている案件は、お客様の端末の案件をコピーしたものです。元データはお客様の端末にあります。

パソコンのバックアップは、常に自己責任で行ってください。

ケースシェアリング

同僚とケースを共有する

多くの場合、自分のケースや分析結果を同僚や学生、教師に渡したり、インターネットのフォーラムで発表したりしたいと思うかもしれません。

Complete Dynamicsは、症例の全体または一部をファイルとしてエクスポートすることができます。このファイルを同僚に渡して、その人のパソコンに取り込むことができます。あなたの同僚は、このために*Practitioner Edition* のライセンスを必要としません。無料の*Browser Edition* でも、ファイルをインポートして見ることができます。また、症例共有は匿名で行うことができるため、患者さんとあなたのプライバシーを確保することができます。輸出入はどのように行われるのか、以下に説明します。まず、Case sharingのもう一つの重要な特徴について見ていきます。

複数のコンピュータ間でケースを同期させる

手動同期は、クラウドサーバー経由の自動同期を使用しないことを選択した場合にのみ関連します。

ケース共有では、あるコンピューターから別のコンピューターへケースを持ち運ぶための2つの強力なオプションが用意されています。

最も簡単な方法は、一方のコンピューターで症例データベースの完全なコピーをエクスポートし、もう一方のコンピューターでそれをインポートすることです。

これは、もう一方のコンピューターに保存されているすべてのケース情報を置き換えるものです。
このオプションは、ケースデータベースのバックアップを定期的に作成する場合にも使用できます。

より高度な方法としては、1台のコンピューターで修正したケースだけをエクスポートし、2台目でインポートする方法があります。この場合、変更された情報だけがコピーされ、2台目のコンピューターのデータベースにマージされる。この強力な同期メカニズムは、両方のコンピューターでケースが変更された場合にも機能します。

1つのケースをエクスポートする

1つのケースをエクスポートするには、ケースモジュールを開き、エクスポートするケースを選択します。

次に、オプションのExport current case...を使用します。(メニューオプション*症例 / 症例通信 / 当面の症例*をエクスポート..., *control-Y*, ポップアップメニューオプション*症例通信 / 当面の症例*をエクスポート...).

ダイアログが開き、エクスポートするケースの部分を選択することができます。

作者情報 ☒

患者情報 ☒

症例のノート ☒

処方 ☒

分析

- Jan 1, 2022-Multiple Views
- Mar 3, 2016-DD example - Sepia case
- Mar 1, 2016-DD example - Ferrum case
- Sep 1, 2015-Family analysis
- Jan 25, 2011-Bönnighausen style analysis
- Mar 1, 2009-Simple classification example
- Feb 1, 2009-Grouping example
- Feb 1, 2009-Symptoms with many or few ru
- Jan 4, 2009-An example of symptom and ru
- Jan 3, 2009-A simple analysis - using Symp
- Jan 2, 2009-A simple analysis - with Groupir

パスワード (任意)

著者情報 このオプションをオフにすると、エクスポートに名前が含まれなくなります。

患者様へのご案内 このオプションをオフにすると、患者は匿名化されます。患者さんの性別と生年のみ使用します。
このオプションをオンにすると、患者のすべての個人情報エクスポートに含まれます。

ケースノート このオプションをオンにすると、案件の背景情報がエクスポートに含まれます。(事例背景、メモ、グループ)。

処方箋 このオプションをオンにすると、作成した処方箋がエクスポートに含まれます。

分析結果 ケース内のすべての分析について、エクスポートするかどうかを決定することができます。行をクリックすると、選択のオン/オフが切り替わります。*All* と *None* のボタンを使って、すべての分析結果を選択するか、まったく選択しないかを簡単に選択することができます。

パスワード ここに値を入力すると、エクスポートファイルがパスワードで保護されます。それを取り込むためには、誰かがパスワードを知らなければならない。インターネット上で公開したい匿名性の高い情報を除き、共有する情報にはパスワードを設定することをお勧めします。

準備ができたなら、OK ボタンを押すと、任意のファイル名と保存先を聞かれます。
デフォルトのファイル名がすでに記入されていますが、好きな名前を選ぶことができます。

1つの解析結果をエクスポートする

1つの分析をエクスポートするには、分析を含むケースを開き、エクスポートする分析を選択します。

次に、メニューオプションのExport current analysis...を使用します。(メニューオプション*症例 / 症例通信 / 当面の分析*をエクスポート..., ポップアップメニューオプション*症例通信 / 当面の分析*をエクスポート...).

ダイアログが表示され、解析と一緒にエクスポートするケースの部分を選択することができます。

作者情報 ☒
 患者情報 ☒
 症例のノート ☒
 パスワード (任意)

各フィールドの意味については、上記の情報を参照してください。

複数のケースをエクスポートする

複数の案件を1つのファイルにまとめて書き出すことができます。(メニューオプション *症例 / 症例通信 / 複数のケースをエクスポート...*, ポップアップメニューオプション *症例通信 / 複数のケースをエクスポート...*).

患者

同僚

個人学習

セミナー

その他

アーカイブ

Abif, Hiram
Al-Rashidi, Muhammed - 1989 (35)
Andrews, Sandra - 1972 (52)
Baker, Charles
Barrett, Elizabeth Jane - 1950 (73)
Boyle, Susan - 1961 (63)
Clappin, Charles Bernard - 1958 (66)
Clappin, Edward - 1960 (64)
Garrod, Rishi - 1955 (69)
Grinsven, Eduard van - 1959 (64)
Grinsven, Kyra van - 1991 (33)
Grinsven, Michel van - 1960 (64)
Huidekooper, Rolf - 1990 (34)
Hyper, John
Jong Shen, Ming
Jong, Karin de
Kawasaki, Hirakozu - 1943 (81)
Ketellapper, Wieger
Keys, Patricia - 1972 (52)
Lelievre, Madeleine - 1991 (33)
Pandir, Anand - 1954 (70)

作者情報 ☒
患者情報 ☒
症例のノート ☒
処方 ☒

個人情報を守るため、パスワードを勧めます。
パスワード

症例が並んだリストで、エクスポートしたい症例をクリックで選択します。

マウスをエントリにドラッグすることで、範囲を選択することができます。

事例や分析結果をインポートする

他の人から症例や解析のエクスポートファイルを渡された場合、メニューの「インポート」を使って簡単にインポートすることができます。(メニューオプション *症例 / 症例通信 / インポート...*, *control-I*, ポップアップメニューオプション *症例通信 / インポート...*).

インポートするファイルの入力を求められます。ファイルを選択すると、そのファイルがケースデータベースに取り込まれます。パスワードで保護されているファイルの場合、最初にパスワードの入力が求められます。

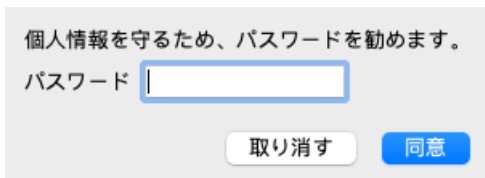
インポートしたケースは、ファイルに著者名がある場合は、グループ *同僚* で見つけることができます。そうでない場合は、グループ *その他* で見つけることができます。ケースを開いた後、ケース情報を自分で簡単に変更したり、分析を他のケースに移動させたりすることができます。(メニューオプション *症例 / 分析を症例に移す*).

症例データベース全体のエクスポート

症例データベース全体をエクスポートした場合、お客様名で登録されたライセンスを持つコンピュータでのみインポートが

可能です。

症例データベース全体をエクスポートするには、メニューオプションの「症例データベース全体をエクスポート...」を使用します。(メニューオプション**症例/ 症例通信/ 全ての症例** データベースをエクスポートする。、ポップアップメニューオプション**症例通信/ 全ての症例** データベースをエクスポートする。)。ダイアログが開き、このファイルを保護するためのパスワードを入力することができます(強く推奨します)。

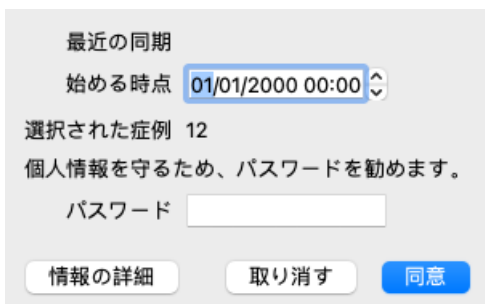
A dialog box with a light gray background. At the top, it says '個人情報を守るため、パスワードを勧めます。' (To protect personal information, we recommend a password). Below this is a label 'パスワード' (Password) followed by a text input field. At the bottom, there are two buttons: '取り消す' (Cancel) and '同意' (Agree).

OK ボタンを押すと、ファイル名と保存場所を聞かれます。ファイルを別のコンピュータに持っていき、そこでImportを行う。(メニューオプション**症例/ 症例通信/ インポート...**, *control-I*).

修正したケースをエクスポートする

修正した案件をエクスポートすることは、複数のコンピュータ間で案件情報を同期させる最も柔軟な方法です。

変更をエクスポートするには、メニュー オプションの [変更されたケースのエクスポート] を使用します。(メニューオプション**症例/ 症例通信/ 修正症例**のエクスポート, ポップアップメニューオプション**症例通信/ 修正症例**のエクスポート). ダイアログが表示され、同期するものを指定することができます。

A dialog box with a light gray background. At the top, it says '最近の同期' (Recent synchronization). Below this is a label '始める時点' (Start time) followed by a date/time picker showing '01/01/2000 00:00'. Below that, it says '選択された症例 12' (Selected cases 12). Then, it says '個人情報を守るため、パスワードを勧めます。' (To protect personal information, we recommend a password). Below this is a label 'パスワード' (Password) followed by a text input field. At the bottom, there are three buttons: '情報の詳細' (Details), '取り消す' (Cancel), and '同意' (Agree).

デフォルトでは、最後に同期をとった日付が記入されています。別の日時以降に変更されたものを同期させたい場合は、値を変更するだけです。エクスポートに含まれるケースの概要を知るには、*詳細...* ボタンを押して、ケースとその最終修正時刻の一覧を取得します。

修正したケースをインポートする

修正した症例は、別のパソコンで取り込むことができます。(メニューオプション**症例/ 症例通信/ インポート...**, *control-I*, ポップアップメニューオプション**症例通信/ インポート...**). ファイルを選択すると、必要な同期動作の情報を表示するダイアログが開きます。

操作	日付	患者
新しい	Jan 5, 2014	Holiday, Jimmy - 1942
合併する	Jan 6, 2014	St.Clair, Bonnie - 1970
交換	Jan 6, 2014	Eastwood, Herny - 1992
新しい	Jan 6, 2014	Baker, Charles - 1950
新しい	Jan 7, 2014	Smarting, All - 1962
合併する	Jan 7, 2014	Williams, Charita - 1970
無視する	Jan 20, 2014	Underwood, Sam - 2013

ここで重要なのは、一番左の欄です。このカラムは4つの異なる値を持つことができる。

新規 このケースはローカルデータベースに存在しない。新たに作成されることになります。

交換 ローカルデータベースではケースは変更されませんが、エクスポートファイルのバージョンが新しくなっています。新しい情報で上書きされます。

マージ マー筐体は2台のPCで改造しています。エクスポートファイルの情報は、ローカルデータベースの情報にマージされます。既存の情報は上書きされませんが、新しい情報がコピーされます。

無視 このケースは、両方のコンピュータのいずれでも修正されていないようです。何もしていない。

リスト内のどのケースに対しても、アクションを修正することができます。いくつかのケースをクリックして選択し、**無視**、**新規**、**置換**、**結合**のいずれかのボタンを押します。ボタン **Reset** を押すと、すべてのアクションが元の設定に戻されます。

変更された設定値は、元の設定値と異なることを示すために、色でハイライトされます。

操作	日付
無視する	Jan 5, 2014
交換	Jan 6, 2014
交換	Jan 6, 2014
新しい	Jan 6, 2014

アクションが明示的に **New** に設定されている場合、類似の症例がすでにローカルデータベースに存在する場合でも、症例は新規症例としてコピーされます。インポート後、同じ名前のケースが2つ表示されるので、自分で確認することができます。通常、これは決して必要ではありません。オプション **Merge** は、いかなる情報も捨てません。

自動バックアップ

バックアップを容易にするため、プログラムは毎日一回、症例データベースの完全なエクスポートを自動的に作成します。これらのバックアップは過去7日間保存されます。これを使えば、プログラムが内部データベースをどこに保存しているかわからなくても、自分でバックアップを取ることができます。バックアップの場所や緊急時の復元方法について詳しくお知りになりたい場合は、サポート部門までお問い合わせください。(メニューオプションヘルプ/このソフトウェアについて、ご意見をおしえてください。).

症例データベースの共有化

通常、あなたのケースは、あなた自身のコンピュータにしかないケースデータベースに保存されます。自分のケースの一部を他の人に公開したい、という状況もあるでしょう。

ケース共有の機能により、選択したケースのエクスポートを行い、他の人がそれをインポートすることができます。この場合、インポートされた症例は他のユーザーの症例データベースの一部となります。

しかし、あなたのケースを他の人の個人的なケースデータベースに組み込むことを意図していない状況もあります。ここでは、*Shared Case Database* が解決策となります。

共有ケースデータベースは、個人用ケースデータベースの外部にあるデータベースファイルです。通常のケースデータベースと同じように、ケースを格納することができます。

ファイルは、*Documents* フォルダの下に *Complete Dynamics* フォルダに保存されます。

ファイルを渡したり、インターネット上に置いたりして、他の人と共有することができます。他のユーザーが自分のコンピュータにファイルをコピーすると、そのユーザーはデータベースを開くことができ、すべてのケースにアクセスすることができます。

意図しない利用から情報を保護するために、ファイルをパスワードで保護することができます。

共有ケースデータベースを使用する場合。

- 同僚と一緒に、ケースについて話し合う勉強会です。
- 同僚たちの診療が休みの間、その同僚たちのためにサービスを提供する。
- 事例集を出版する。
- 複数人による案件を手がける。
- 研修機関で使用される、ケース集です。

共有ケースデータベースの新規作成

共有ケースデータベースを簡単に新規作成することができます。(メニューオプション *症例 / 症例データベース / 新しい共有ケースデータベースを作成する*, ポップアップメニューオプション *症例データベース / 新しい共有ケースデータベースを作成する*)。

ダイアログが開きます。

共有ケースの使用目的について短い説明を入力できます。

患者さんの個人情報への意図しないアクセスを避けるため、パスワードの指定を強くお勧めします。

OK を押すと、*Complete Dynamics* フォルダに新しいファイルが作成されます。名前は、あなたの名前と、ダイアログフィールド *説明* に入力したテキストを元に作成されます。

新しい症例データベースが自動的に開かれます。

共有ケースデータベースを開く

共有ケースデータベースを開くことができます。(メニューオプション *症例 / 症例データベース / 共有ケースデータベースを開く*, ポップアップメニューオプション *症例データベース / 共有ケースデータベースを開く*)。

ダイアログが開き、*Complete Dynamics* フォルダにインストールされているすべての *Shared Case Databases* の名前が表示されます。

正しいファイルを選択し、OK を押してください。

どのケースデータベースを開いているかが一目瞭然です。



共有案件データベースを開いている間、関連する情報を変更することができます。(メニューオプション *症例 / 症例データベース / ケースデータベース情報の編集*, ポップアップメニューオプション *症例データベース / ケースデータベース情報の編集*)。

集).

グループ *Patients* の下には、自分が作成した症例があることに注意してください。他人の Shared Case Database を使用する場合は、多くの場合、*Colleagues* グループでケースを見つけることができます。

いつでも個人のケースデータベースに戻ることができます。(メニューオプション *症例 / 症例データベース / 標準ケースデータベース* を使用する, ポップアップメニューオプション *症例データベース / 標準ケースデータベース* を使用する).

ケースの転送

共有ケースデータベースは、個人のデータベースと全く同じように機能します。つまり、いつもと同じようにケースを作成することができるのです。

また、*Case Sharing* のすべての機能を使用して、ケースをエクスポートおよびインポートしたり、同じ Shared Case Database を使用している他の人と変更内容を同期させたりすることができます。

個人用ケースデータベースとの間でケースを素早く移動できる、非常に強力な仕組みが追加されました。(メニューオプション *症例 / 症例データベース / トランスファーケース*, ポップアップメニューオプション *症例データベース / トランスファーケース*).

共有症例データベース

パーソナルケースデータベース

Paris La Defense group / 症例データベース

患者

同僚

個人学習

セミナー

その他

アーカイブ

フィルター

最近

個人データベースにコピーする

共有データベースにコピー

個人データベースに移動する

共有データベースに移動する

終了

左側には、開いている「共有ケースデータベース」のケースが表示されます。右側には、あなたの個人的なケースデータベース内のケースが表示されます。

下部のボタンで、選択したケースを素早くコピーしたり、反対側に移動させたりすることができます。

ケースの選択は通常と同じように行われます。このダイアログでは、1つのケースではなく、複数のケースを選択することができます。

ケースをクリックすると選択・解除できます。

マウスをエントリにドラッグすることで、範囲を選択することができます。

すでに相手側に存在するケースをコピーする場合、相手側のケースはコピーするケースに置き換わります。

解析モジュール

クイックスタート

せっかちなあなたのために...

解析に関するヘルプをお読みいただくと、より効率的に作業を進めることができますので、ぜひご一読ください。後で読んで、すぐにでも始めたいという方は、この要約を読めばすぐにでも始められるはずです。

ケースから始めるか否か?

多くの場合、分析は患者さんに関連するものであり、後で参照するために保存しておくといからです。このような場合、まずケースを作成するか、既存のケースを開いておくと、分析結果が適切な場所に保存されるため、お勧めです。一度開いたケースには、簡単に新しい分析を追加することができます。ケースと分析の整理の仕方についての詳しい情報は、セクションケースモジュールをお読みください。

実際のケースと関係なく、簡単な分析を行いたい場合は、ケースを開いたり作成したりしないで、デフォルトのケースが自動的に作成され (*Unnamed case*)、分析結果がそこに保存されます。解析結果は、今日の日付でラベル付けされたそのケースで確認することができます。

ループリックの追加

分析にループリックを追加するのは簡単です。まず、*Book* モジュールでループリックを選択します。明るい黄色で表示されたループリックが選択されています。そして、Enterキーを押してください。(メニューオプション*症例/追加, control-R*).適切なループリックを見つけるには、*Find* モジュールが役に立ちます。

概要

メニューオプション

(メニューオプション*症例/新しい症例, control-N*).
(メニューオプション*症例/分析を付け加えて, control-A*).
(メニューオプション*症例/分析に追加, control-S*).
(メニューオプション*症例/追加, control-R*).

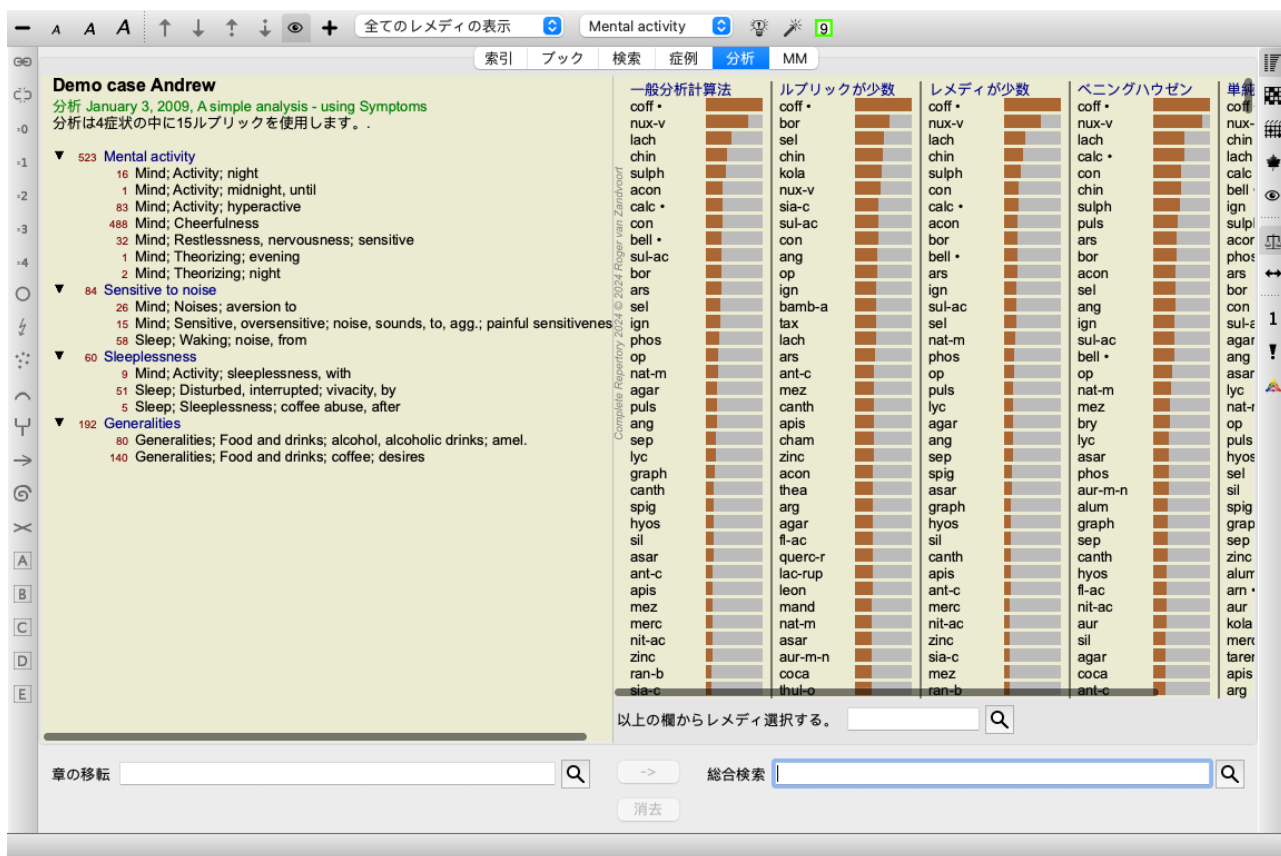
アクション

分析なしで、新しいケースを作成します。
開いているケースに解析を追加する。
解析に症状を追加する。
分析にレポートリー・ループリックを追加する。
ループリックを選択した後、*Book* または *Find* モジュールから実行します。

解析の作成

Analysis モジュールを開く

Analysis タブをクリックし、*Analysis* モジュールに移動します。(メニューオプション*表示/分析, ⌘-R*).すでにケースを開き、分析を選択していると仮定すると、このような画面になります。



ウィンドウは2つのセクションに分かれています。
 - この分析に使用された症状とループリックを紹介します。
 - 解析結果
 1つ目から順に詳しく説明します。

ここで使用されている例は、Case モジュールの 'Other' グループにあるデモケースの一部であることに注意してください。これらの例は、自由に遊んでいただいて結構です。Complete Dynamicsを起動するたびに、元のデモケースは「その他」グループに戻されます。

症状 vs ループリック

患者さんの情報を集めたら、レパートリーの中から患者さんの状況に合ったループリックを探すのが従来のやり方でした。この方法の大きな欠点は、患者の症状によっては1つのレパートリー・ループリックが必要であるが、他の症状では、その訴えを表現するいくつかのループリックを一緒に見つけることができることである。一つの症状を表すのに複数のループリックを使用した場合、その症状に合致するレメディが自動的に強くカウントされるため、他の症状に比べて誇張された数値が得られる。

また、レパートリー言語という言葉で症状を表現することもない。特に、患者の症状を100%文字で表現できるルビがない場合、レパートリー・ルビ集は患者の訴えを正しく表現したものとは言えなくなる。

Complete Dynamicsは、SymptomsとRubricsを区別することで、これらの問題を解決しています。

まず、分析された患者さんの症状を入力することができます。第二に、レパートリー・ルビをこれらのSymptomsと結びつけることができます。

Analysisモジュールは、少ないループリックで表現されるSymptomがあれば、多くのループリックで表現されるSymptomもあることから、分析結果を自動的に補正することができます。ですから、患者さんの症状を十分にレパートリー・ループリックに表現するために必要なループリックの数を、分析結果に偏りが出ないように自由に選択することができます。

症状は患者-ループリックはレパートリーの言語である。

Symptomsを使うメリットはまだあります。症状は患者の言葉であるため、個々のループリックの順位を明示的に操作することなく、症状に対して重要度の順位をつけることが容易にできる（これらを症状重み、ループリック重みと呼び、別項で説明する）。他にもメリットはありますが、それはご自分の目で確かめてください。

もちろん、素早くシンプルな解析を行うためには、Symptomを作成すると、必要ないオーバーヘッドが発生します。この場合、Symptomsを作らないようにすればいいのです。すべてのループリックは、自動的に「一般的な症状」の下に配置され、あなたには見えません。

一例を挙げます。以下はDemo case Andrew のスクリーンショットで、Symptoms を使用しない場合と使用した場合の2つです。

- 16 Mind; Activity; night
- 1 Mind; Activity; midnight, until
- 9 Mind; Activity; sleeplessness, with
- 83 Mind; Activity; hyperactive
- 488 Mind; Cheerfulness
- 26 Mind; Noises; aversion to
- 32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
- 15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; painful sensitiveness to
- 1 Mind; Theorizing; evening
- 2 Mind; Theorizing; night
- 51 Sleep; Disturbed, interrupted; vivacity, by
- 5 Sleep; Sleeplessness; coffee abuse, after
- 58 Sleep; Waking; noise, from
- 80 Generalities; Food and drinks; alcohol, alcoholic drinks; amel.
- 140 Generalities; Food and drinks; coffee; desires

- ▼ 523 Mental activity
 - 16 Mind; Activity; night
 - 1 Mind; Activity; midnight, until
 - 83 Mind; Activity; hyperactive
 - 488 Mind; Cheerfulness
 - 32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
 - 1 Mind; Theorizing; evening
 - 2 Mind; Theorizing; night
- ▼ 84 Sensitive to noise
 - 26 Mind; Noises; aversion to
 - 15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; painful sensitiveness to
 - 58 Sleep; Waking; noise, from
- ▼ 60 Sleeplessness
 - 9 Mind; Activity; sleeplessness, with
 - 51 Sleep; Disturbed, interrupted; vivacity, by
 - 5 Sleep; Sleeplessness; coffee abuse, after
- ▼ 192 Generalities
 - 80 Generalities; Food and drinks; alcohol, alcoholic drinks; amel.
 - 140 Generalities; Food and drinks; coffee; desires

バリエーション Symptoms の方がより分かりやすい!

症状の作成とループリックの追加

ケースを開き、分析を選択した状態で、分析に新しい症状を追加することができます。(メニューオプション *症例 / 分析に追加*, *control-S*, ポップアップメニューオプション *分析に追加*).

症状(およびそれに関連するすべてのループリック)を削除するには、マウスまたはキーボードで症状を選択し、Delete キーを押します。(メニューオプション *症例 / 削除*, ポップアップメニューオプション *削除*).

症状の詳細をダブルクリックすると、編集できます。(メニューオプション *症例 / 症状を編集する*, ポップアップメニューオプション *症状を編集する*).

ループリックは常に *Book* または *Find* モジュールから追加されます。(メニューオプション *症例 / 追加*, *control-R*, ポップアップメニューオプション *ループリックを分析に追加*). ループリックを選択し、Enter キーを押す。(メニューオプション *症例 / 追加*, *control-R*).

そして、症状リストで「現在」の症状として選択されている症状にループリックが追加されます。画面上部のツールバーで、どの Symptom が確認できます。

Mental activity

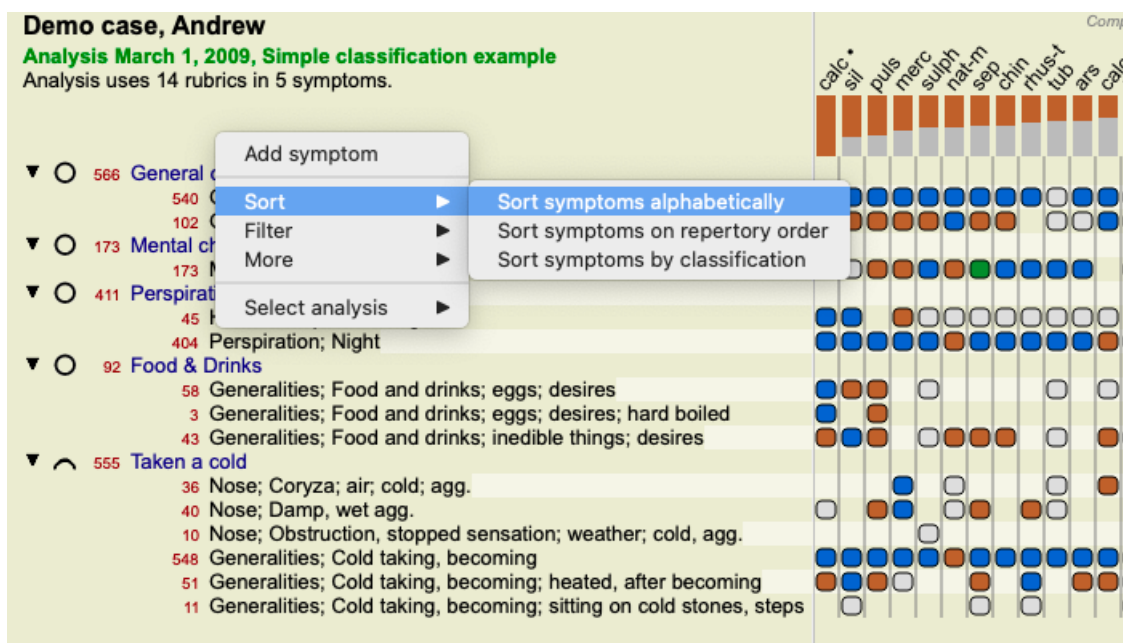
ツールバーから、ループリックを追加する別の症状を簡単に選択することができます。Symptoms が定義されていない場合、「Generic symptoms」というテキストが表示されます。

分析からループリックを削除するには、リストでループリックを選択し、Delete キーを押すことで行います。(メニューオプション *症例 / 削除*).

症状・ループリックの整理

症状の整理順を変更することが可能です。Symptom を選択すると、その Symptom を移動することができます。(メニューオプション *移転 / 上へ*, ツールバーボタン ↑, メニューオプション *移転 / 下へ*, ツールバーボタン ↓).

ポップアップメニューのいくつかのメニューオプションで、症状を自動的にソートすることができます。



ループリックは、同じメニューオプションとツールバーボタンで、次の症状や前の症状に移動することができます。Symptom 内では、Rubrics は常にBook の順番に従って並べられます。

結果

解析結果

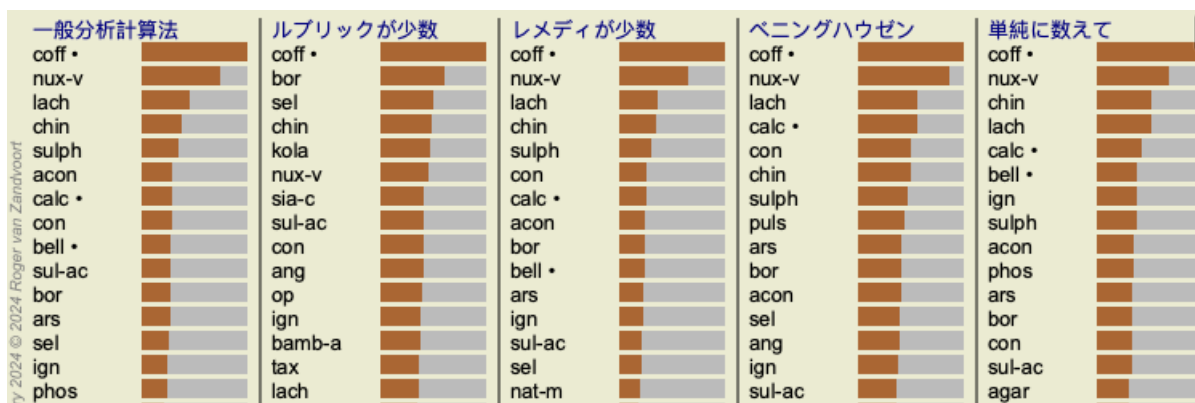
AnalysisにSymptomsとRubricsが追加されたら、次は結果を見ます。これらの結果は、ウインドウの右側に表示されます。

解析結果の見方には、基本的に2つの方法があります。
 - 同じ分析結果で、複数の結果を概観することができます。
 - 1つの分析結果の詳細な概要を表示します。

また、個々のレメディーではなく、キングダム&ファミリーを対象にした分析も可能です。

複数の解析結果を表示する

複数の結果の概要を選択することができます。(メニューオプション分析/一覧表, ツールバーボタン).
 このように表示されます。



標準的な分析方法

この写真の標準的な結果は、次のような意味です。

- 標準** 厳選されたパラメータに基づく標準的な解析結果です。
- 小型レメディー** この結果、大きなレメディー（ポリクレスト）よりも小さなレメディーの方が重要視されることになります。これは、レメディの出現率がレパートリー全体で不均等であることを補うものです。ポリクレストは分析から外されているわけではなく、優位性が低下しているに過ぎません。
- 小型ループリック** この結果、救済措置の少ないルビコンが救済措置の多いルビコンよりも重視されることになった。このように、ごく一般的なループリックよりも、より特徴的なループリックの方が結果に与える影響は大きくなります。

- ベニングハウゼン この分析では、レパートリー内の関連するループリックでの出現率に基づいてレメデイがカウントされる。ベニングハウゼン分析は、主に大規模で汎用的なループリックで使用されます。また、極ルビに対する補正もより重要です。詳しくは、*Analysis - Bönninghausen* をご覧ください。
- シンプルなカウント これは、昔、鉛筆と紙だけでやっていたような、とてもシンプルな数え方です。分析対象のすべてのループリックについて、すべてのレメデイの階調を単純に加算している。

使用する分析手法の選択

Complete Dynamicsが提供する標準的な解析手法のすべてに興味があるわけではないのかもしれませんが。どの分析を表示するか、どのような順序で表示するかを決めることができます。環境設定の設定で変更することができます。詳しくは、「環境設定」をご覧ください。

解析結果の詳細

上の写真の結果を見ると、数字が一切印刷されていないことに気がつくと思います。すべてのレメデイの後ろにバーが表示され、レメデイの相対的な重要性を示しています。レメデイは重要なものから順に並んでいます。色のついた棒が短いほど、そのレメデイが与えられた結果において重要でないことを示しています。

レメデイ名の上にマウスを移動させると、より詳細な情報がウィンドウ下部のメッセージエリアに表示されます。例えば、*chin*の上にマウスを移動させると、メッセージエリアが表示されます。

4: chin = China officinalis. Relative score 45, from 8 rubrics in 3 symptoms

これは、エントリ番号4、*chin* はレメデイ *China officinalis* を意味し、最も高いレメデイ (*coff*) と比較して相対重要度が45%であり、そのレメデイは3症状で計8ループリックで発生したことを意味しています。なお、解析結果「単純集計」の場合、相対スコアは与えられたレメデイの評点の合計となります。その他の分析結果では、最も高い改善策に相対値100を与え、その他の値はこの最も高い値に対する相対値とする。

結果に数字を表示させたい場合は、ツールバーのボタンを押すことができます。(メニューオプション分析/数字の表示、ツールバーボタン 1)。
すると、このような結果になります。

一般分析計算法			ループリックが少数			レメデイが		
coff •	100 / 12 / 3		coff •	100 / 12 / 3		coff •		
nux-v	75 / 10 / 4		bor	61 / 6 / 4		nux-v		
lach	46 / 8 / 4		sel	51 / 5 / 4		lach		
chin	39 / 9 / 4		chin	49 / 9 / 4		chin		
sulph	36 / 6 / 4		kola	48 / 5 / 3		sulph		
acon	30 / 5 / 4		nux-v	46 / 10 / 4		con		
calc •	30 / 6 / 3		sia-c	42 / 4 / 4		calc •		
con	30 / 5 / 3		sul-ac	42 / 5 / 4		acon		
bell •	29 / 6 / 3		con	41 / 5 / 3		bor		
sul-ac	29 / 5 / 4		ang	41 / 5 / 4		bell •		
bor	28 / 6 / 4		op	40 / 5 / 3		ars		
ars	28 / 7 / 3		ign	39 / 6 / 3		ign		
sel	27 / 5 / 4		bamb-a	38 / 4 / 4		sul-ac		
ign	26 / 6 / 3		tax	38 / 4 / 3		sel		
phos	24 / 6 / 4		lach	38 / 8 / 4		nat-m		
op	22 / 5 / 3		ars	36 / 7 / 3		phos		
nat-m	22 / 5 / 4		ant-c	35 / 5 / 3		op		
agar	20 / 5 / 3		mez	35 / 4 / 3		puls		
nuls	20 / 4 / 3		canth	35 / 5 / 3		luc		

状況によっては、結果を重要な順に並べ替えるのではなく、レメデイが出現する症状やループリックの数に応じて並べ替えたい場合もあります。

そして、ツールバーのボタン 1 を押すと、「症状/ループリックの数で分析を並べ替える」という意味になります。(メニューオプション分析/ループリックの数で順番を決める、ツールバーボタン 1)。

既に処方されている治療薬

すでに処方されているレメデイがすぐにわかるので便利なことも多い。過去に処方されたことのあるレメデイには、名前の後ろに点がついています。

ループリックとレメデイの関係性を見出す

ループリックとレメデイの関係は、結果内のループリック、レメデイのどちらかをクリックすることですぐに確認することができます。その際、対応するレメデイやループリックが強調表示されます。

例ループリック *Mind; sensitive, oversensitive; noise, to; painful sensitiveness to* をクリックすると、結果エリアに次のように表示されます。

一般分析計算法	ルブリックが少数	レメディが少数	ベニングハウ
coff •	coff •	coff •	coff •
nux-v	bor	nux-v	nux-v
lach	sel	lach	lach
chin	chin	chin	calc •
sulph	kola	sulph	con
acon	nux-v	con	chin
calc •	sia-c	calc •	sulph
con	sul-ac	acon	puls
bell •	con	bor	ars
sul-ac	ang	bell •	bor
bor	op	ars	acon
ars	ign	ign	sel
sel	bamb-a	sul-ac	ang
ign	tax	sel	ign
phos	lach	nat-m	sul-ac
op	ars	phos	bell •
nat-m	ant-c	op	op
agar	mez	puls	nat-m
nuls	canth	luc	mez

どのレメディがそのルブリックに入っているのか、一目瞭然です

例remedysulph をクリックすると、次のような Symptom と Rubric の概要が表示されます。

▼ 523	Mental activity
16	Mind; Activity; night
1	Mind; Activity; midnight, until
83	Mind; Activity; hyperactive
488	Mind; Cheerfulness
32	Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
1	Mind; Theorizing; evening
2	Mind; Theorizing; night
▼ 84	Sensitive to noise
26	Mind; Noises; aversion to
15	Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; painful sensitiveness to
58	Sleep; Waking; noise, from
▼ 60	Sleeplessness
9	Mind; Activity; sleeplessness, with
51	Sleep; Disturbed, interrupted; vivacity, by
5	Sleep; Sleeplessness; coffee abuse, after
▼ 192	Generalities
80	Generalities; Food and drinks; alcohol, alcoholic drinks; amel.
140	Generalities; Food and drinks; coffee; desires

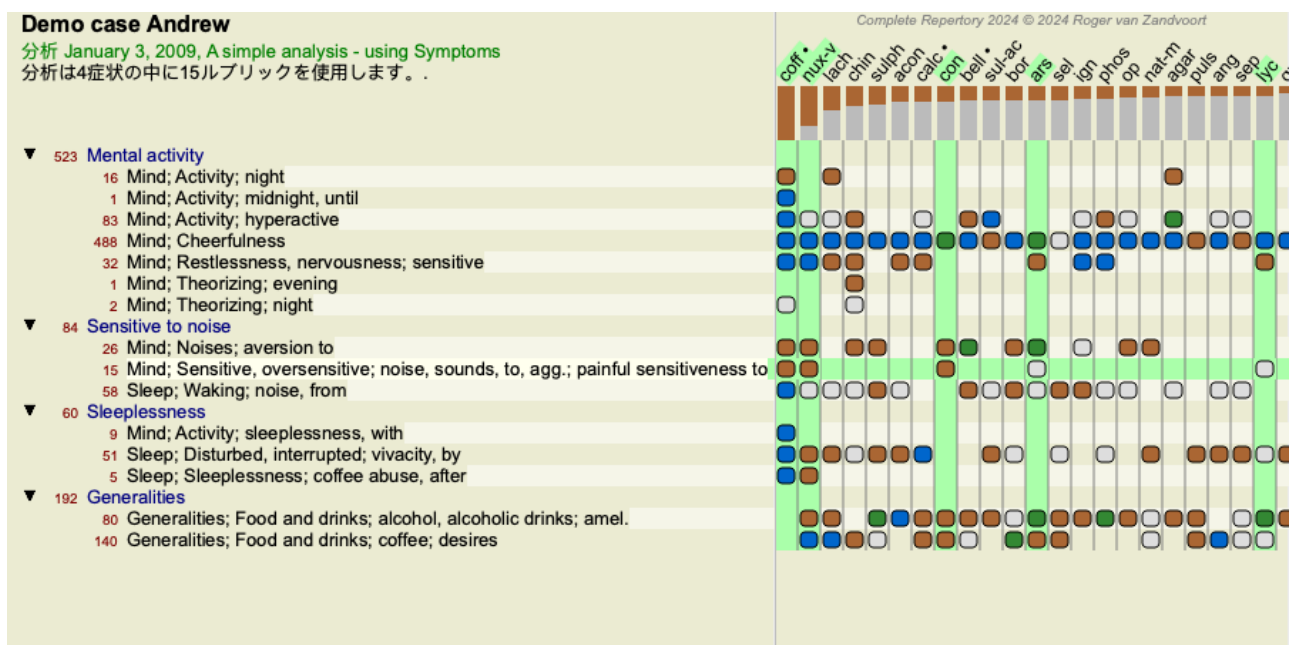
そして、どのルビでsulphが発生するのかをチラッと見ることができます。さらに、選択したレメディは他の分析結果でもハイライト表示されるので、異なる分析での相対的な順位が一目瞭然です。

ここまでの、複数解析の概要です。それでは、1つの解析結果の詳細な概要を見てみましょう...

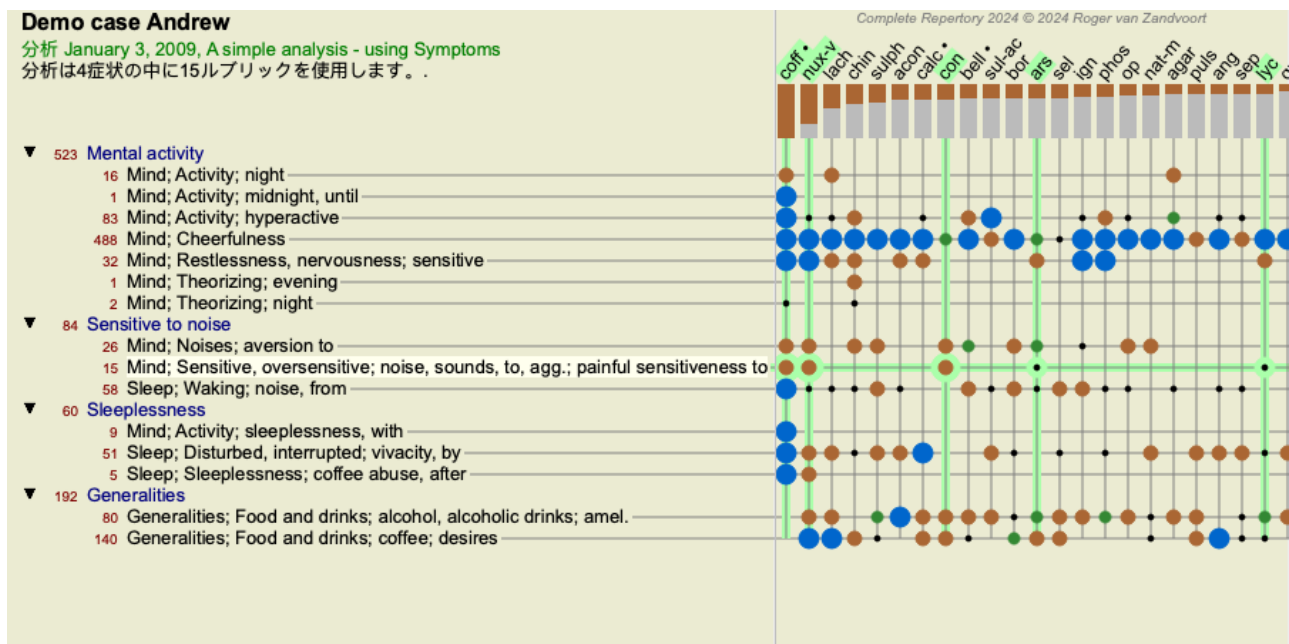
1つの分析結果の詳細な概観を表示する

1つの分析について、より詳細な概要を、好みに応じて、テーブル表示またはグリッド表示で表示することができます。
(メニューオプション分析/表 (将棋盤), ツールバーボタン , メニューオプション分析/表 (碁盤), ツールバーボタン ).

テーブルビューはこのようになります。



Gridビューはこのようになります。



こうすることで、ルブリックとレメデイの関係を一枚の絵で見ることができるようになるのです。もちろん、これは1つの解析に対してのみ可能です。

ラスターの下には、選択ボックスが表示され、利用可能な解析結果を切り替えることができます。

ブロックまたはドットは、ルブリックで救済措置が発生することを示します。

- ☐ グレード1
- ☒ グレード2
- ☐ グレード3
- ☒ グレード4

箇条書きにマウスを乗せると、そのルブリックのレメデイの著者情報など詳細な情報が表示されます。下部のメッセージエリアに再度表示されます。 *coff* と *Mind; cheerfulness* の交点にある青い弾丸にマウスを移動させると、以下の情報が表示されます。

coff = Coffea cruda (Bönninghausen, Gallavardin, Hering, Jahr, Knerr, Lippe, Vithoulkas)

より詳細な情報が必要な場合は、弾丸をダブルクリックすると、完全なレメディー情報を得ることができます。

ルブリック: MIND; CHEERFULNESS.

レメディの略語: coff, レメディのグレード: 4. ルブリックの中のレメディの順位は488の内20です。
 ホメオパシーで規格されたレメディの名前: Coffea cruda.

分類法: 界 *Plantae*, サブキングダム *Viridiplantae*, インフラ王国 *Streptophyta*, スーパー部門 *Embryophyta*, 部門 *Tracheophyta*, サブ部門 *Spermatophytina*, 綱 *Magnoliopsida*, スーパーオーダー *Asteranae*, 目 *Gentianales*, 植物の家族 *Rubiaceae*, 属 *Coffea*, 種 *Coffea arabica*.

APGIIの分類: : angiosperms, eudicots, core eudicots, asterids, euasterids I, Gentianales, Rubiaceae.

関係のあるルブリックに存在する回数: 5, 平均グレード: 2.2.
 (同様のルブリック: 0, サブルブリック: 5, 章: 1).

ライブラリーのソース・コード.

Bönninghausen C M von *Systematisches alphabetisches Repertorium der antipsorischen und nicht-antipsorischen Arzneien with handwritten annotations*, 1833.

Gallavardin J P *Repertory of psychic medicines with Materia Medica*, 1897.

Hering C *Analytical Repertory of Symptoms of Mind*, 1881.

Hering C *Guiding Symptoms of our Materia Medica*, 1879.

Jahr G H G *Handbuch der Haupt-Anzeigen für die richtige Wahl der homöopathischen Heilmittel*, Herrmann Bethmann, 1851.

Jahr G H G *Systematisch-alphabetisches Repertorium der homöopathischen Arzneimittellehre*, Herrmann Bethman (Leipzig), 1848.

終了

結果エリアの上部にあるレメディ名にマウスを合わせると、先に示した複数の結果の概要と同じように、より詳細な情報を見ることができます。また、ルビやレメディをクリックすると、ハイライト表示させることができます。

Demo case Andrew

分析 January 3, 2009, A simple analysis - using Symptoms
 分析は4症状の中に15ルブリックを使用します。.

Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort

	coff	nux-v	lach	chin	sulph	acon	calc	con	bell	sul-ac	bor	ars	sel	ign	phos	op	nat-m	agar	puls	ang	sep	lyc
▼ 523 Mental activity																						
16 Mind; Activity; night																						
1 Mind; Activity; midnight, until																						
83 Mind; Activity; hyperactive																						
488 Mind; Cheerfulness																						
32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive																						
1 Mind; Theorizing; evening																						
2 Mind; Theorizing; night																						
▼ 84 Sensitive to noise																						
26 Mind; Noises; aversion to																						
15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; painful sensitiveness to																						
58 Sleep; Waking; noise, from																						
▼ 60 Sleeplessness																						
9 Mind; Activity; sleeplessness, with																						
51 Sleep; Disturbed, interrupted; vivacity, by																						
5 Sleep; Sleeplessness; coffee abuse, after																						
▼ 192 Generalities																						
80 Generalities; Food and drinks; alcohol, alcoholic drinks; amel.																						
140 Generalities; Food and drinks; coffee; desires																						

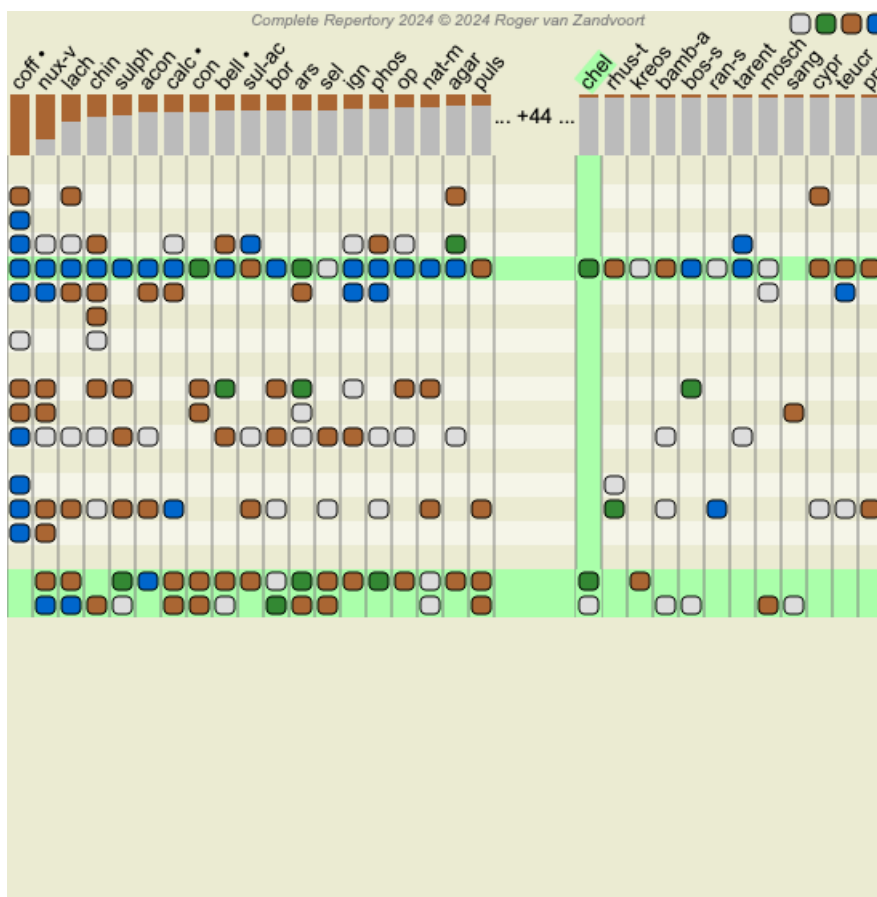
もちろん、ツールバーのボタン「BUTTON:analysisviewshownumbers」「BUTTON:analysisviewsortonrubrics」で数字を表示したり、ソート順を変更することも可能です。

解析結果の中から救済策を探す

分析結果の上位を見るだけでなく、その中で特定のレメディがどの位置にあるかを正確に知りたい場合もあります。

あとは、分析結果の下にある *Locate remedy* の欄にレメディの略称を入力するだけです。
 解析は必要に応じて再描画し、結果の一部をスキップして、お客様の救済策が表示されるようにします。
 お探しのレメディは、自動的にハイライト表示され、より見やすくなっています。

一般分析計算法	ルブリックが少数	レメディが少数	ベニングハウゼン
coff •	coff •	coff •	coff •
nux-v	bor	nux-v	nux-v
lach	sel	lach	lach
chin	chin	chin	calc •
sulph	kola	sulph	con
acon	nux-v	con	chin
calc •	sia-c	calc •	sulph
con	sul-ac	acon	puls
bell •	con	bor	ars
sul-ac	ang	bell •	bor
bor	op	ars	acon
ars	ign	ign	sel
sel	bamb-a	sul-ac	ang
ign	tax	sel	ign
phos	lach	nat-m	sul-ac
op	ars	phos	bell •
nat-m	ant-c	op	op
agar	mez	puls	nat-m
puls	canth	lyc	mez
ang	apis	agar	bry
sep	cham	ang	lyc
... +42 +30 +48 +32 ...
chel	chel	chel	chel
rhus-t	cygn-c	cypr	ferr
kreos	aur	teucr	cham
bamb-a	calc •	kali-bi	cocc
bos-s	hyos	prun	leon
ran-s	cocc	tarent	cur
tarent	ven-m	onc-t	kreos
mosch	onc-t	agav-t	am •
sang	sang	leon	aur-s
cypr	caps	nat-p	tritic-v
teucr	crat	brom	staph
prun	am-c	crat	bos-s
kali-bi	ruta	cygn-c	onc-t

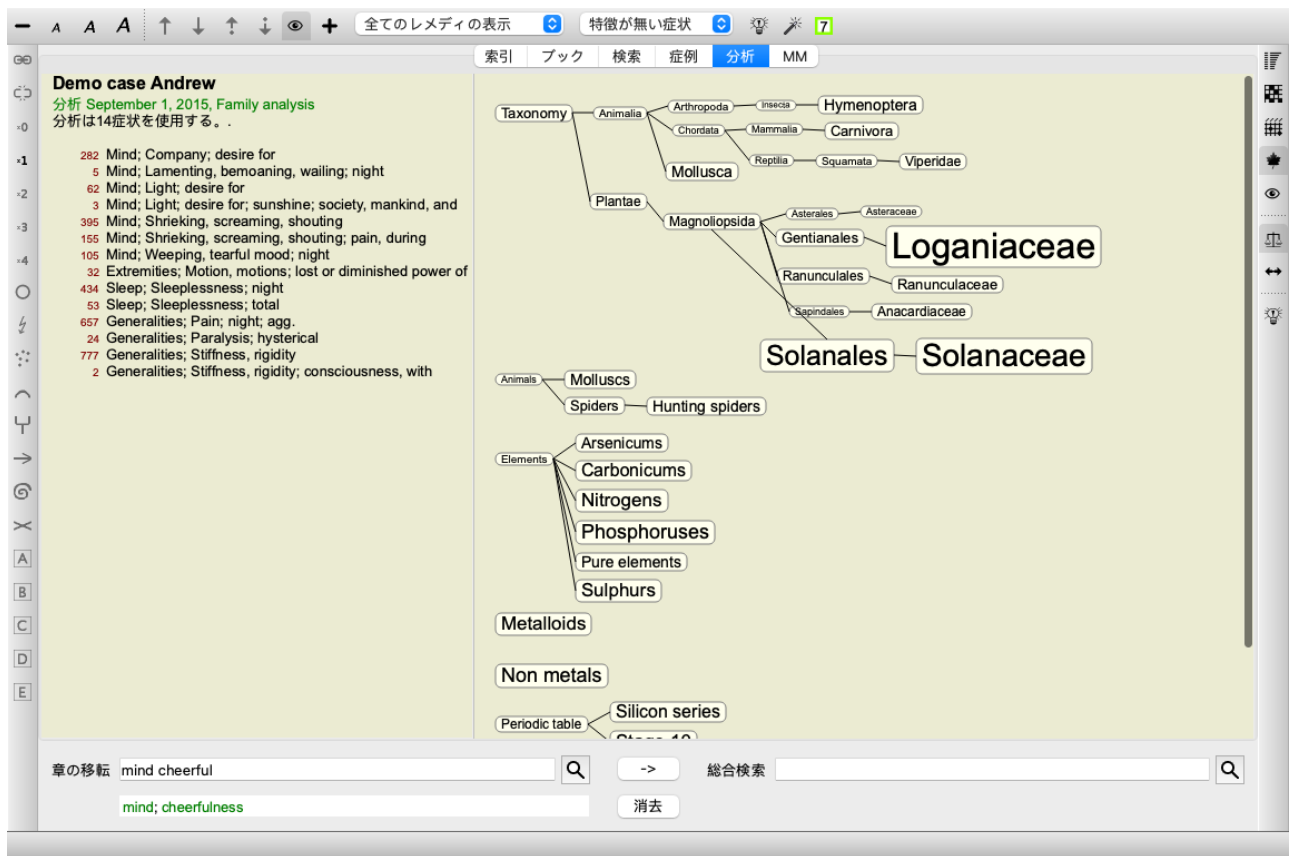


レメディの検索の欄にレメディを入力する代わりに、結果グラフをクリックしてそこに入力することもできます。
この状態でEscapeキーを押すと、選択した内容がクリアされます。

キングダム&ファミリーの分析

キングダム&ファミリーの解析ビューを選択することができます。(メニューオプション分析/界と科, ツールバーボタン🌟)

次の例は、Stramoniumが選択されたレメディーである。

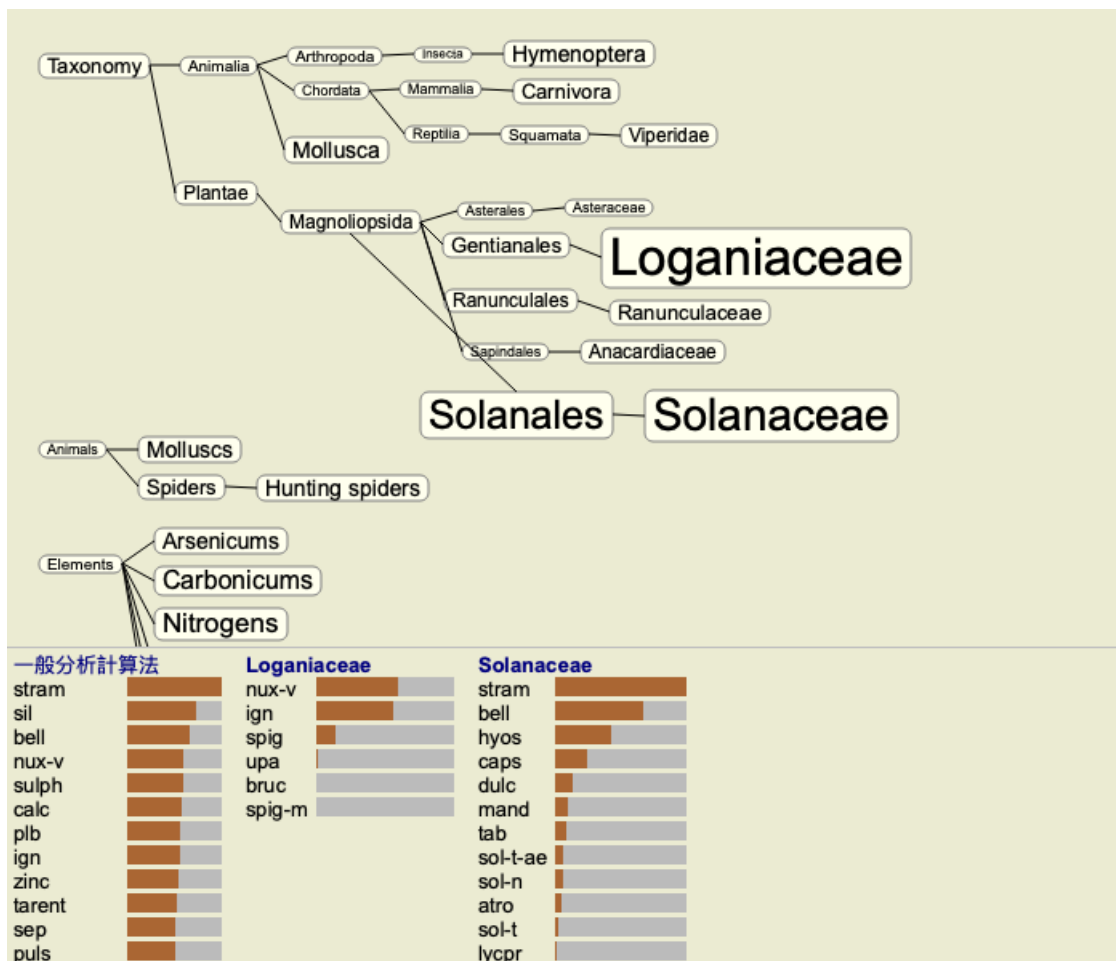


ファミリー分析では、関連性の高いファミリーは関連性の低いファミリーよりも大きく描かれる。関連性が非常に低いと思われる家庭は、全く描かれていない。

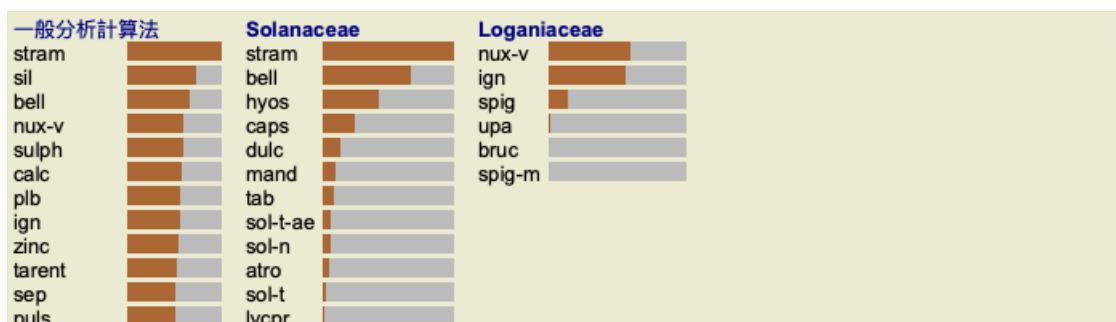
家族の比較

この例では、最も関連性の高い科がナス科とロガニー科であることがわかりますね。Stramoniumがナス科の植物であることから、ナス科が明らかである。しかし、なぜLoganiaceaeも関連性があると考えられているのか、知りたいところでしょう。

SolanaceaeとLoganiaceaeをダブルクリックします。各ファミリーの複数の解析結果という形で、追加情報が表示されるようになります。最初の分析リストは、すべてのレメディーに対する汎用的な分析です。



グラフ内のファミリーをダブルクリックするたびに、追加されたファミリーの左側に配置されます。つまり、今もう一度「Solanaceae」をクリックすると、「Standard」と「Loganiaceae」の間に配置されるわけです。

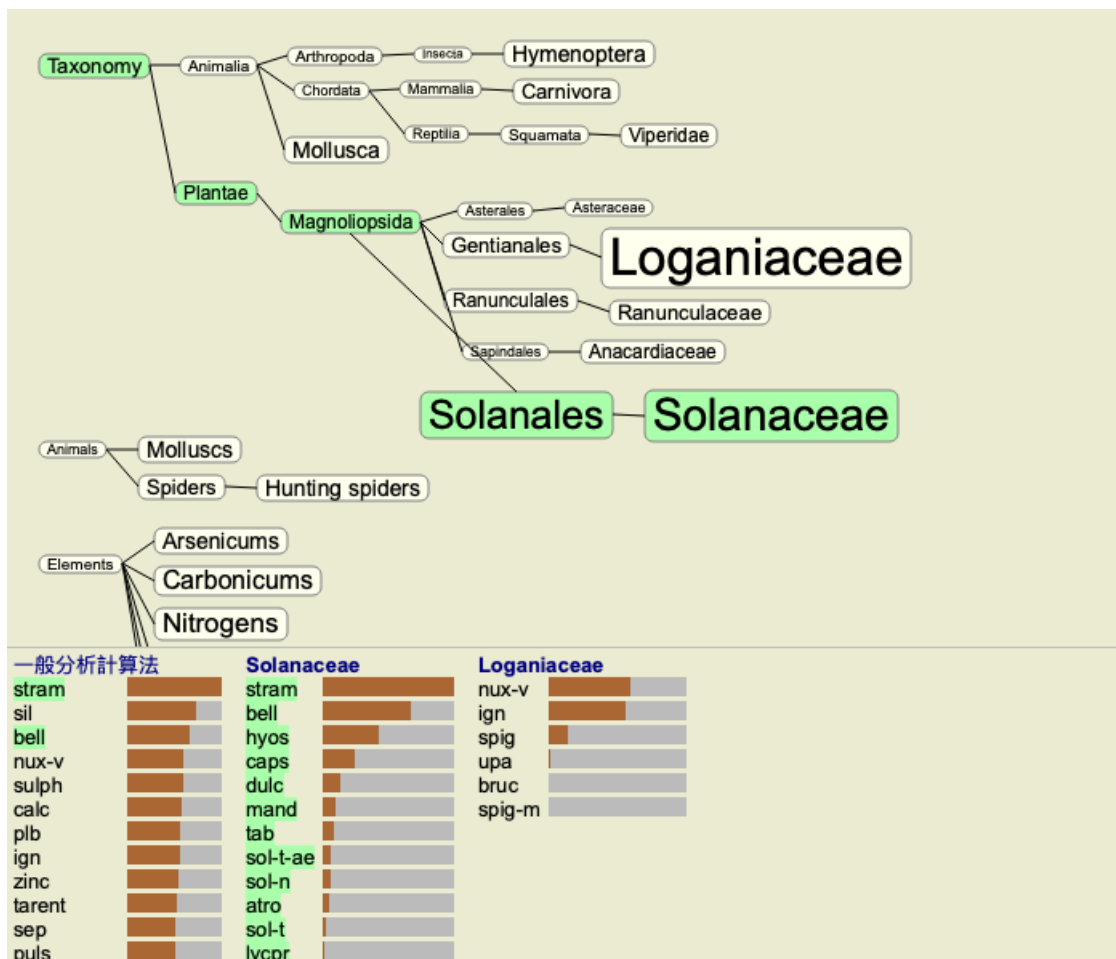


この追加情報は、いつでも表示・非表示を切り替えることができます。(ツールバーボタン).

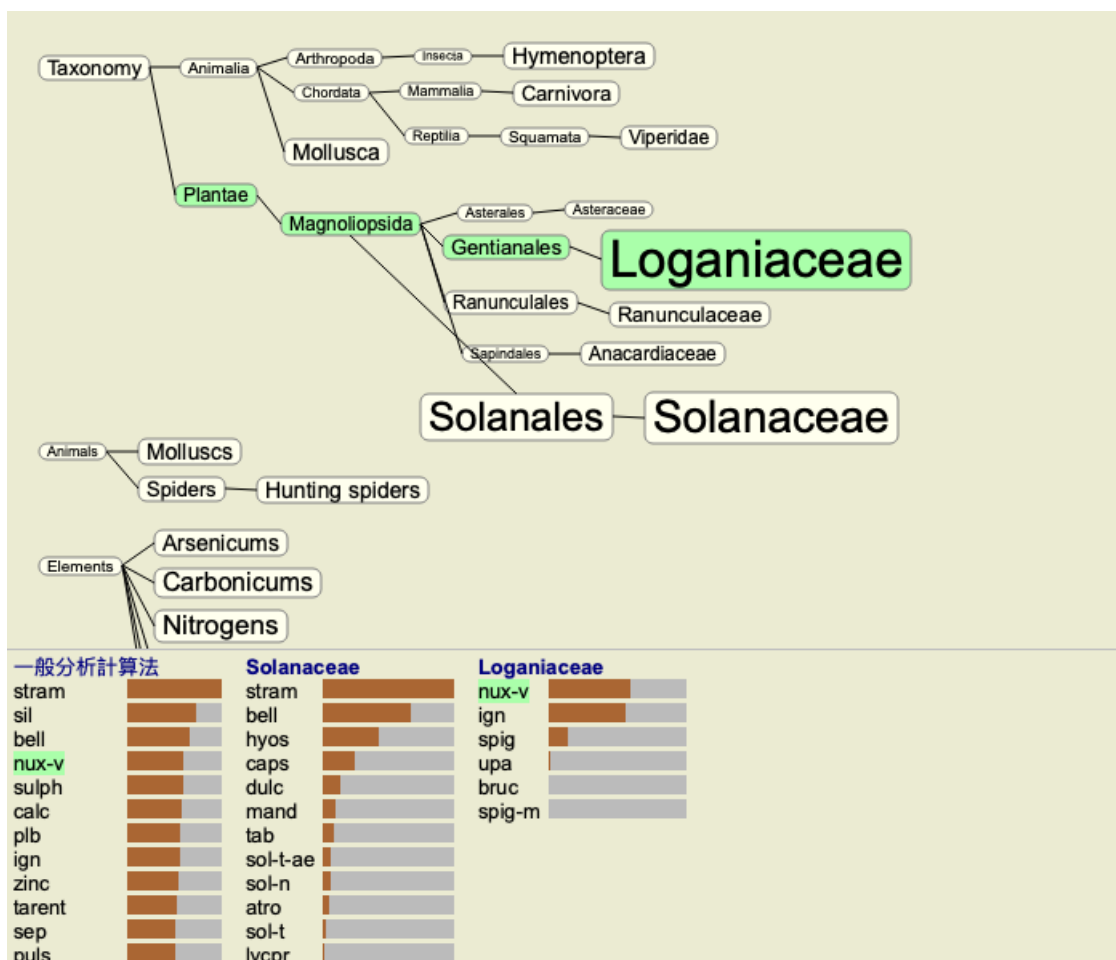
家族とレメデイの関係を示す。

分析における家族の関連性を研究する場合、家族とレメデイの関係を見ることができるようする必要があります。

グラフ内のファミリーをクリックすると、そのレメデイの分析結果が表示されます。対応するファミリーもファミリーグラフでハイライトされているのがわかると思います。これにより、家族の関連性をすぐに確認することができます。



レメディー名をクリックすると、そのレメディーが別の分析で強調表示されます。また、そのレメデイを含むすべてのファミリーがグラフ内でハイライト表示されます。



解析結果のフィルタリング

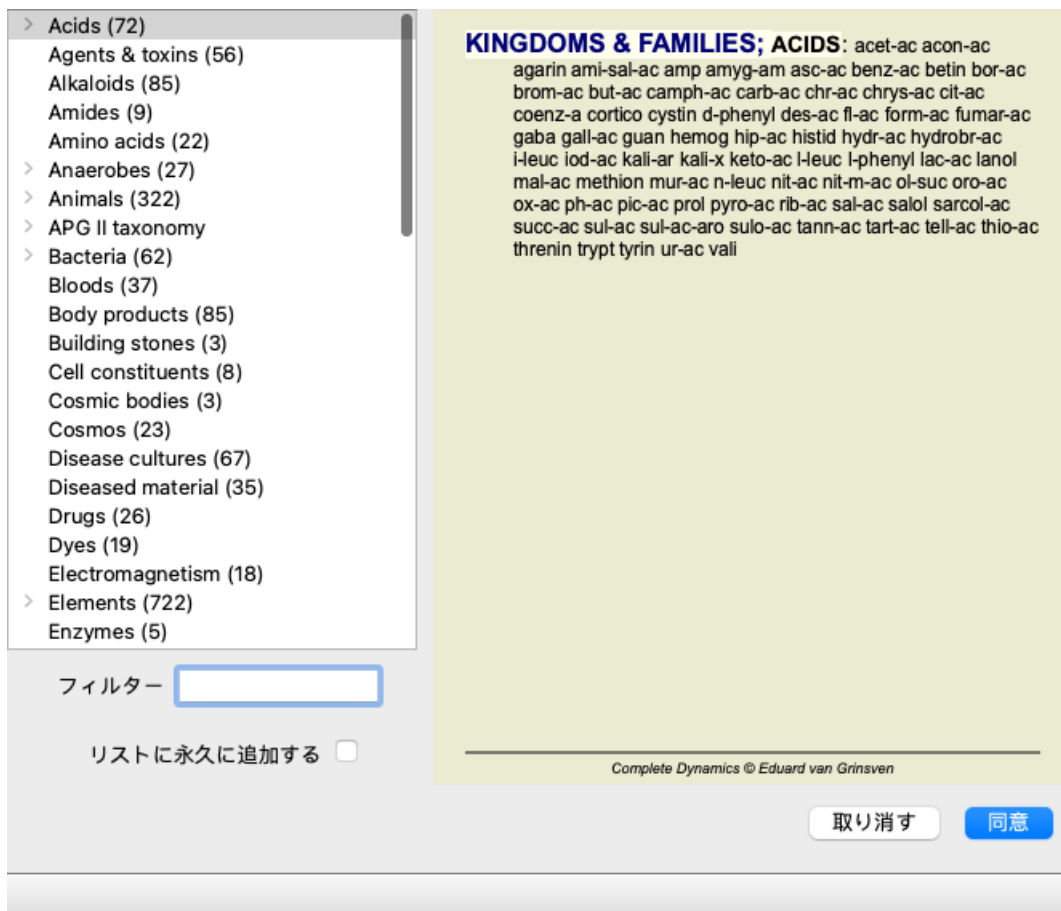
レメディーファミリーで結果を絞り込む

通常、解析結果にはすべてのレメディーが表示されます。

レメディーの検索結果を、特定の王国、ファミリー、その他のグループに属するレメディーのみに制限することができます。そのためには、ツールバーのドロップダウンリストから選択するだけです。



よく使われるグループ（鉱物、植物、動物、ノゾーデ）があらかじめ設定されています。他のグループを選択するには、オプションその他...を選択すると、ダイアログが表示され、キングダム＆ファミリーセクションにあるグループの中から1つを選択することができます。



オプション *Permanently add to list* をチェックすると、選択したグループがリスト内の標準グループに恒久的に追加されます。次にプログラムを起動したときにも、そのグループはリストに残っています。後で削除したい場合は、*Other...* オプションで同じグループを再度選択し、オプションの選択を解除してください。

解析モジュール ループリックベースフィルタ

解析モジュールは、ループリックのレメディーに基づく、強力なフィルタリング機構を提供します。

このフィルターを使えば、分析対象の救済策を、あるループリック（「消去法」）、またはループリックの組み合わせで発生する救済策に簡単に限定することができます。

フィルタの設定は、メニューバー (*Menu / Analysis / Filter*) のいくつかのオプション、またはポップアップメニューで行います。

使用可能なオプションは次のとおりです。

- すべてのレメディーを表示する。(メニューオプション *分析 / フィルター / 全てのレメディーを表示する*, シフトキー *control-C*).
フィルターが無効になっています。レメディーはすべて通常通り表示されています。
- ループリックのレメディーに設定する。(メニューオプション *分析 / フィルター / ループリックの中のレメディーに合わせる*, シフトキー *control-S*).
選択したループリックで発生する救済措置がフィルターに設定されます。ループリックにないレメディーは、フィルターで除外される（「消去法」）。

このオプションは、単一のループリックを選択した場合のみ使用できます。

- ループリックの救済措置に限定する。(メニューオプション分析/フィルター/このループリックのレメディーに限定して計算して、シフトキー-control-R).
選択されたルビは、フィルタの制限に使用されます。選択されたループリックのいずれにも該当しないレメディーは、フィルターで除外されます。このオプションは、すでにアクティブなフィルタをさらに制限するものです。
このオプションは、少なくとも1つのループリックが選択されている場合に使用できます。
- ループリックの救済措置で延長する。(メニューオプション分析/フィルター/ループリックの救済策で拡張する、シフトキー-control-E).
選択されたループリックのいずれかに発生した救済措置がすべて表示されます。このオプションは、選択されたループリックで発生し、以前はフィルターで除外されていた救済策をフィルターに追加するものです。
このオプションは、少なくとも1つのループリックが選択されている場合に使用できます。
- ルビの交差に設定する。(メニューオプション分析/フィルター/ループリックのクロス集計に設定して).
このオプションは、選択されたすべてのループリックで発生する救済策を素早くフィルターに設定するための便利なオプションです。
このオプションは、少なくとも2つのループリックが選択されている場合にのみ使用できます。
- ルビの組み合わせに設定する。(メニューオプション分析/フィルター/ループリックの組み合わせに設定します).
このオプションは、選択したループリックのいずれかに出現する救済策を素早くフィルターに設定するための便利なオプションです。
このオプションは、少なくとも2つのループリックが選択されている場合にのみ使用できます。

一般に、救済措置はそのループリックで行われるはずなので、フィルターを所定のループリックに設定することから始めます。その後、*restrict*（「ここにも存在するべきだ、もつと見せて」）、または*extend*（「実はここにもあってもいい、もつと見せて」）フィルターで微調整を行うのです。

家族へのフィルタリング

Families Analysisグラフでのフィルタリング


ファミリー分析グラフでは、ファミリーに基づいてレメディーフィルターを素早く変更することができます。フィルタリングオプションは、ファミリーのポップアップメニューにあります。オプションは、上記のループリックベースのフィルタと同じです。

これらのフィルターオプションを使用すると、他の分析結果の救済フィルターが変更されます。レメディーではなく、ファミリーで構成されているため、ファミリー分析グラフ自体にフィルターがかかることはありません。

その他の分析ビューでのフィルタリング

レメディーが属するファミリーの分析結果を簡単にフィルタリングすることができます。ファミリーフィルターは、レメディーのポップアップメニューで利用できます。

レイアウトウィザード

解析レイアウトウィザードを使えば、ボタン一つで解析結果に好みの設定を適用することができます。(メニューオプション分析/レイアウトウィザード, F2, ツールバーボタン)

これらの環境設定は簡単に行うことができます。(メニューオプション分析/レイアウトウィザード構成, シフトキー-F2).

アドバンストピックス

分析の微調整

解析の作成と結果の解釈の基本を学んだところで、次は、患者さんの情報の解釈に従って解析を微調整するための上級者向けのトピックを紹介します。

取り上げるトピックは

- 重りを使うこと。
- 症状のバランスをとる。
- 極ルビとコントラ表示。
- ループリックグループ
- ループリックの概要
- レメディーファミリーで結果を絞り込む。

選択された複数の行に対して、一度に多くのアクションを実行することができます。

ウェイトの使用

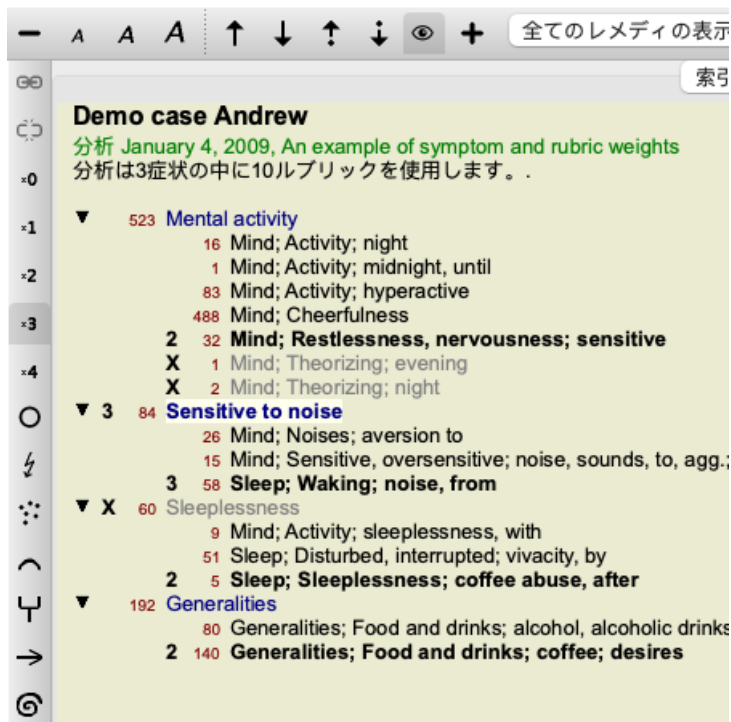
すべての症状とループリックに、所定のウェイトを割り当てることができる。患者さんの症状に一定の重要性を持たせるように、あるいはレパートリーのレメディーに異なるグレードが発生するように、症状やループリックにもそれぞれ一定の重要性を持たせることができるのです。

高い値を設定することで、その症状やループリックが分析結果においてより重要視されるようになる。
また、重みを0にすることで、その症状やループリックを分析から完全に除外することができる。

重みを設定するには、まず、症状やループリックをマウスでクリックして選択します。さて、重量の設定にはいくつかの方法があります。

- キー0 (メニューオプション **症例 / 重み / 計算外**, ツールバーボタン **×0**).
- キー1 (メニューオプション **症例 / 重み / 普通**, ツールバーボタン **×1**).
- キー2 (メニューオプション **症例 / 重み / 重みx 2**, ツールバーボタン **×2**).
- キー3 (メニューオプション **症例 / 重み / 重みx 3**, ツールバーボタン **×3**).
- キー4 (メニューオプション **症例 / 重み / 重みx 4**, ツールバーボタン **×4**).

次の例は、重みが設定されている解析です（あくまでデモンストレーションです）。



左側にツールバーのボタンが表示されていますね。ツールバーのボタンには、選択した症状やループリックの実際の重量が常に表示されます。

症状やループリックの前のXは、重み付けが0であることを示し、分析から除外される。

症状のバランスをとる

Balancing of Symptomsは、1つのSymptomに含まれるRubricの数が多いか少ないかを補正する、高度な解析メカニズムである。balancingがオンになっている場合（通常はオンになっています）、分析を妨げることなく、症状の下に好きなだけループリックを配置することができます。

従来の分析では、ある症状を表現するために多くのループリックを使用すると、その一つの症状に合致するレメディーが分析を支配するようになるため、分析するループリックを慎重に選択する必要がありました。同様に、1つのループリックのみを使用した場合、他の症状に使用したループリックと比較して、そのループリックのレメディーは全体の分析に十分に貢献しない。

症状のバランス調整」をオンにすると、すべての症状は、その下に1つのループリックを置いた場合でも、たとえば10個のループリックを置いた場合でも、それに割り当てられた重み（**重みの使用**を参照）でカウントされるようになります。

バランス調整のオン・オフは、ウィンドウの右側にあるツールバーボタン **☐**で行います。（メニューオプション **分析 / 症状の平衡化**, ツールバーボタン **☐**）。

一例を見てみましょう。以下の分析では、頭の痛みを表現するために多くのルビを振っています。balancingを使用しない場合、*Glonoinum* が結果を支配し、balancing *Natrum Muriaticum* がより顕著になります。

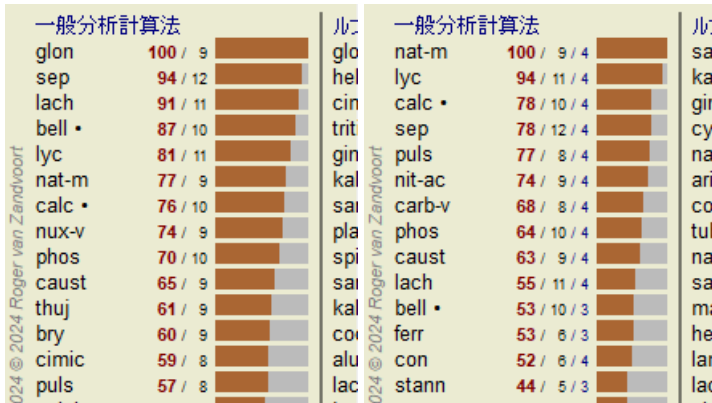
Demo case Andrew

分析 February 1, 2009, Symptoms with many or few rubrics.
分析は4症状の中に13ルブリックを使用します。

- ▼ 954 Head pains
 - 14 Head; Pain, headache; morning; agg.; six am.
 - 160 Head; Pain, headache; extending to; backward
 - 189 Head; Pain, headache; extending to; occiput
 - 110 Head; Pain, headache; extending to; temples
 - 119 Head; Pain, headache; extending to; upward
 - 944 Head; Pain, headache; forehead
 - 58 Head; Pain, headache; forehead; air; open; agg.
 - 48 Head; Pain, headache; forehead; eyes; above; morning
 - 14 Head; Pain, headache; bursting; menses; during
- ▼ 84 Sadness
 - 84 Mind; Sadness, depression; menses; before
- ▼ 163 Menses
 - 127 Female; Menses; pale, watery
 - 105 Female; Menses; thin, liquid
- ▼ 176 Aversions and desires
 - 176 Generalities; Food and drinks; salt or salty food; desires

解析結果。

No バランス調整



バランス調整付き

注: バランシング症状は基本解析に影響しません シンプルカウンティング。

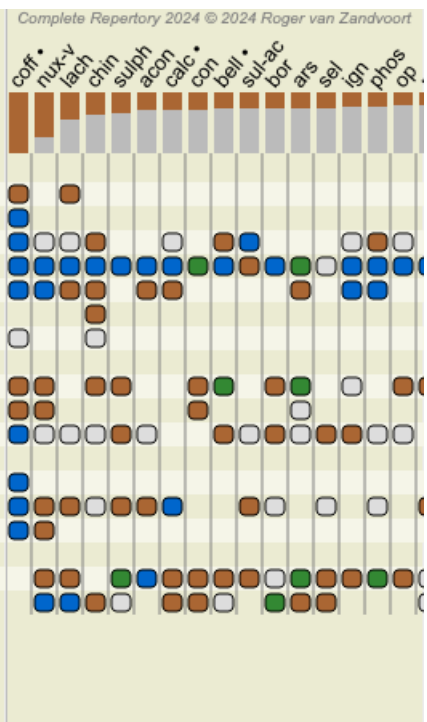
ポーラ・ループブリックとコントラ・インジケータ

極ルビとは、反対の意味を持つ2つのルビのことです。
例えば、簡単な例として、最初にレメデイ *coff* が処方された場合を考えてみよう。

Demo case Andrew

分析 January 3, 2009, A simple analysis - using Symptoms
分析は4症状の中に15ルブリックを使用します。

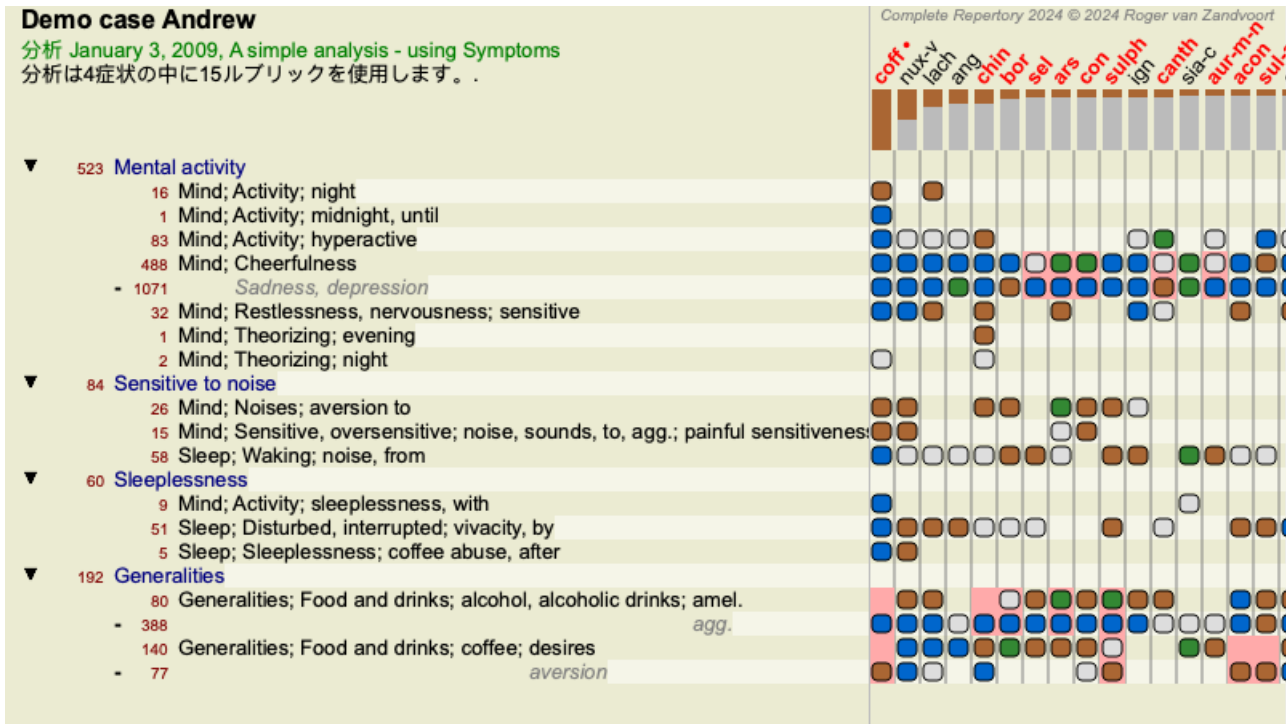
- ▼ 523 Mental activity
 - 16 Mind; Activity; night
 - 1 Mind; Activity; midnight, until
 - 83 Mind; Activity; hyperactive
 - 488 Mind; Cheerfulness
 - 32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
 - 1 Mind; Theorizing; evening
 - 2 Mind; Theorizing; night
- ▼ 84 Sensitive to noise
 - 26 Mind; Noises; aversion to
 - 15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; painful sensitiveness to
 - 58 Sleep; Waking; noise, from
- ▼ 60 Sleeplessness
 - 9 Mind; Activity; sleeplessness, with
 - 51 Sleep; Disturbed, interrupted; vivacity, by
 - 5 Sleep; Sleeplessness; coffee abuse, after
- ▼ 192 Generalities
 - 80 Generalities; Food and drinks; alcohol, alcoholic drinks; amel.
 - 140 Generalities; Food and drinks; coffee; desires



Generalities の下には、2つのループブリックがあり、いずれも極性ループブリックであることがわかります。

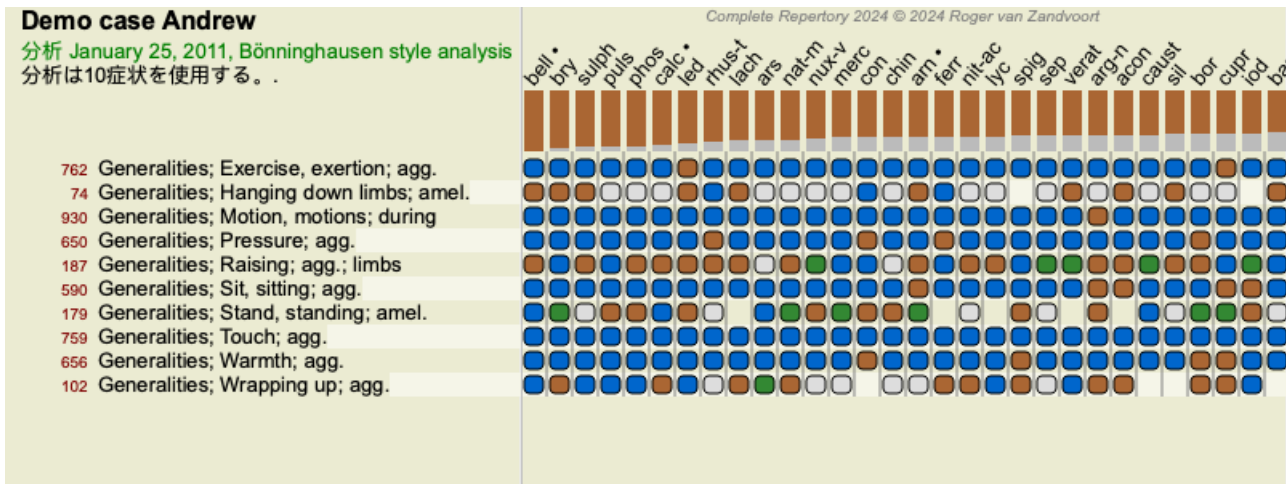
-amel -agg.
-desires - aversion.

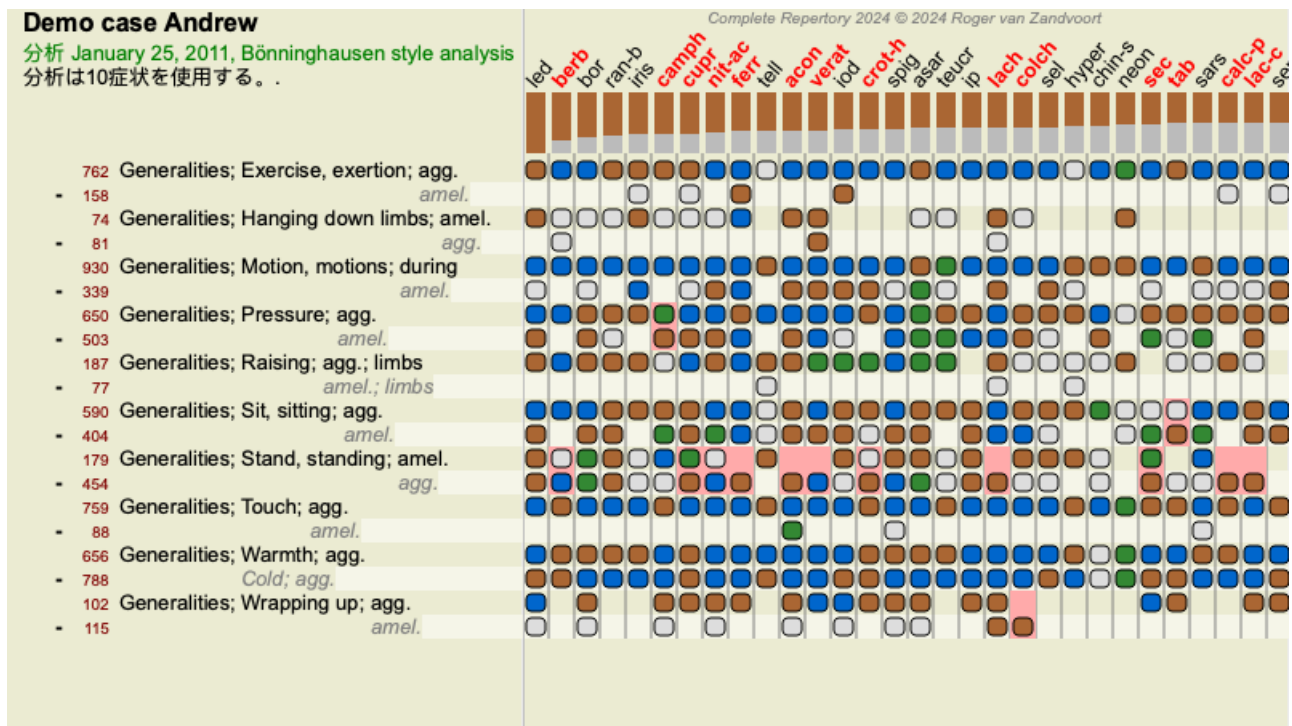
この極ループリックは、ウィンドウの右側にあるツールバーボタン↔を押すことで分析に利用することができます。(メニューオプション分析/極性ルブリック, ツールバーボタン↔).
amel とdesires の両方のループリックの下に、その極ループリックが表示されるようになりました。
また、レメデイの値を極ルビの値で補正するようになったため、解析結果も変化しています。



レメデイ coff は、この分析ではコントラ表示であるため、赤色で表示されるようになりました。
コントラ表示とは、あるループリックでは低評価（1、2、または全く評価されない）で、極ループリックでは高評価（3、4）で救済措置が発生する状況を指す。

より複雑な例は、次のBönninghausen様式の分析で示される。





ループリックグループ

ループリックのグループ化は、2つ以上のループリックをあたかも1つのループリックであるかのようにカウントしたい場合に行います。

ループリックのグループ分けには、2つの方法があります。

- クロスする。ALLループリックに出現するレメディーだけを使用する。
- 組み合わせる。どのループリックからもレメディーが使用される。

グループ化の例

ループリックの掛け合わせは、患者の症状を正確に表現するループリックがレパートリーになく、より一般的なループリックしかない場合に有効である。

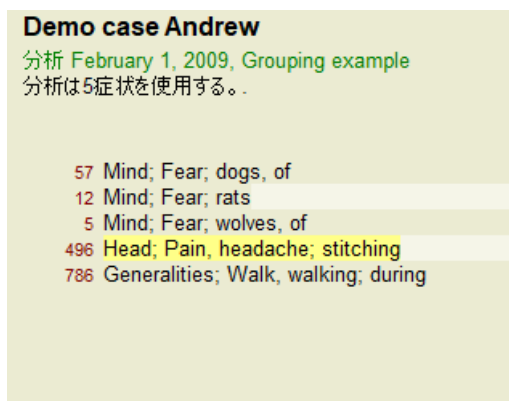
例えば、発熱時に「朝、ベッドにいるのが不安だ」と患者さんが言ったとします。レパートリーにはループリックがない心; 不安; 朝; ベッドで; 熱; 中。しかし、この代わりに、さらに2つの一般的なルビがあるMind; anxiety; morning; bed, inとMind; anxiety; fever heat; during。この2つのループリックを掛け合わせることで、両方のループリックで発生する改善点のみを含む新しいグループ化されたループリックが作成されます。

ループリックを組み合わせることで、正確には見つからないが、より具体的な症状の下に見つかるような症状がある場合に有効である。

例えば、ピザを食べたいという欲求。なぜ、患者さんはピザが好きなのでしょう? 多分、生地 (ファリナスティックフード)、トマト、サラミ、アンチョビ、チーズ、オリーブなどでしょう。患者の主訴と比較して、あまり重要でない特定のループリックをたくさん追加して分析式を乱すことなく、そのような特定のループリックをいくつか組み合わせて新しいループリックにすることは有用である。

ループリックグループの作成

一例として、歩行中に頭が縫うように痛み、数種類の動物が怖いという症例があります。



頭の痛みを表現する2つのルビを一緒に交差させたいと思います。ループリックHead; pain; stitching をクリックして選択し、ツールバーボタン を押してください。(メニューオプション症例/ ループリック・グループ/ 他のループリックとグループにまとめる, ツールバーボタン , ポップアップメニューオプションループリック・グループ/ 他のループリックとグループに

まとめる)。

ダイアログが表示され、選択したルブリックと連携できるルブリックを選択することができます。

上部で、オプションクロスを選択します。ルブリック *Generalities; walk, walking; during* を選択し、OKボタンを押す。

集計方法 ☒ クロス集計 (全てのルブリックに入ったレメディのみを計算に入れる)
☐ 組み合わせ集計 (一つ以上のルブリックに該当するレメディのすべて)


ラベル

以下を選択して、ルブリックをグループに追加

ルブリック

Mind; Fear; dogs, of
Mind; Fear; rats
Mind; Fear; wolves, of
Head; Pain, headache; stitching
Generalities; Walk, walking; during

取り消す 同意

2つ目のグループには、別の方法を用います。 *Mind; fear* の3つのルビを選択し、もう一度  を押してください。

Demo case Andrew
分析 February 1, 2009, Grouping example
分析は4症状を使用する。

57	Mind; Fear; dogs, of
12	Mind; Fear; rats
5	Mind; Fear; wolves, of
▼ 408	クロス (レメディが少なくなる集計)
496	Head; Pain, headache; stitching
786	Generalities; Walk, walking; during

ここで、オプション *Combine* を選択し、OKボタンを押します。

集計方法 ☐ クロス集計 (全てのルブリックに入ったレメディのみを計算に入れる)
☒ 組み合わせ集計 (一つ以上のルブリックに該当するレメディのすべて)

ラベル

以下を選択して、ルブリックをグループに追加

ルブリック

Mind; Fear; dogs, of
Mind; Fear; rats
Mind; Fear; wolves, of

取り消す 同意






その結果、ルブリックリストは今、こうなった。

Demo case Andrew

分析 February 1, 2009, Grouping example

分析は2症状を使用する。

- ▼ 66 組み合わせ (レメディが増える集計)
 - 57 Mind; Fear; dogs, of
 - 12 Mind; Fear; rats
 - 5 Mind; Fear; wolves, of
- ▼ 408 クロス (レメディが少なくなる集計)
 - 496 Head; Pain, headache; stitching
 - 786 Generalities; Walk, walking; during

グループを変更するには、グループのメインルブリックをクリックし、を押すだけです。ダイアログで、ルブリックのオン・オフを切り替えることができます。また、ルブリックをクリックしてを押すと、グループからルブリックを削除することができます。(メニューオプション症例/ルブリック・グループ/ルブリック・グループの削除, ツールバーボタン, ポップアップメニューオプションルブリック・グループ/ルブリック・グループの削除). グループを完全に削除するには、グループのメインルブリックをクリックし、を押してください。(メニューオプション症例/ルブリック・グループ/ルブリック・グループの削除, ツールバーボタン, ポップアップメニューオプションルブリック・グループ/ルブリック・グループの削除).

上図のように、ダイアログでルブリックを選択することなく、素早くグループを作成できるメニューが2つ用意されています。

最初に2つ以上のルブリックを選択し、それらを結合することができます。(メニューオプション症例/ルブリック・グループ/選択したルブリックを組み合わせる, ポップアップメニューオプションルブリック・グループ/選択したルブリックを組み合わせる).

最初に2つ以上のルブリックを選択し、それらをクロスさせることができます。(メニューオプション症例/ルブリック・グループ/選択したルブリックをクロス, ポップアップメニューオプションルブリック・グループ/選択したルブリックをクロス).

ルブリックグループは分析にどのように使用されるか

複数のルブリックを横断する場合、そのグループにはすべてで発生するレメディーだけが含まれます。救済措置の評点は、すべてのルブリックにおいて、最低のの評点とします。

[/TAG_ERROR] 複数のルブリックを組み合わせる場合、グループ内のルブリックのうちいずれかで発生する救済措置がグループに含まれる。[/TAG_ERROR] 救済措置の評点は、グループ内のどのルブリックでも、その救済措置について見つかったの最高評点とします。

ルブリックの概要

ある分析に含まれるすべてのルブリックの概要とその対処法を知ることができると便利な場合があります。また、グループ化されたルブリックの場合、結果的にどのレメディーが出現するかを確認するのもよいでしょう。

すべてのルブリックの概要を知るには、「ルブリックの概要を表示」を選択するだけです。(メニューオプション症例/ルブリックの概観, control-V, ポップアップメニューオプションその他/ルブリックの概観).

Find モジュールが開き、以下のように表示されます。

COMBINED RUBRICS: MIND; FEAR; DOGS, OF / MIND; FEAR; RATS / MIND; FEAR;

WOLVES, OF: absin acon agar **Alum** amph androc arm astac **BAC BELL BOS-S BUFO CALC** calc-ar carc **CAUST** cer chel **CHIN** choc **CIMIC Con** cupr-acet dor dpt dysp-n **Hydrog HYOS** insul **LAC-C** lac-d lac-f lac-h lach lycpr lyss mag-c **Manc** mand med **NAT-M** nat-p nit-ac op ory-c phos **Plac** plat **PLUT-N** polyst pras-c **PULS Sanic Scirr SCORP** sep sil sol-t **STRAM** sulph syc-co tax **TUB** tub-k verat **Xan**

MIND; FEAR; dogs, of: agar **Alum** amph androc astac **BAC BELL BUFO CALC** carc **CAUST** cer chel **CHIN** choc **Con** cupr-acet dor dpt dysp-n **Hydrog HYOS** insul **LAC-C** lac-d lac-f lac-h lach lycpr lyss mag-c **Manc** mand med **NAT-M** nat-p nit-ac ory-c phos plat **PLUT-N** polyst pras-c **PULS Sanic Scirr SCORP** sil sol-t **STRAM** sulph syc-co tax **TUB** tub-k verat **Xan**

MIND; FEAR; rats: absin acon arm bell **BOS-S CALC** calc-ar **CIMIC** op phos **Plac** sep

MIND; FEAR; wolves, of: amph bell cer chel dor

CROSSED RUBRICS: HEAD; PAIN, HEADACHE; STITCHING / GENERALITIES; WALK,

WALKING; DURING: acan-p **ACON** act-sp adam **AESC AETH AGAR AGN** aids alch-v **ALL-C** allox **ALOE ALUM ALUM-P ALUM-SIL ALUMN AM-C AM-M AMBR** ammc **ANAC** anag **ANATH ANG ANT-C ANT-T APIS** apoc aq-des **ARAN ARG ARG-N ARN ARS ARS-I** ars-met ars-s-f **Ars-s-r** arum-t **ASAF Asar** asc-t astac aster **ATRO AUR** aur-ar aur-i **AUR-M-N** aur-s bacch-a **Bad BAMB-A** bapt **Bar-acet BAR-C** bar-i bar-m bar-s **BELL** bell-p **BERB** biti-g blatta **BOR** bos-s both-a **BOV BROM Bros-g** bruc **BRY BUFO** bux cadm-s cahin **Calad CALC Calc-acet** calc-ar calc-caust calc-f calc-i **CALC-P CALC-S** calc-sil calen **CAMPH CANN-I** cann-s **CANTH CAPS** caras carb-ac **CARB-AN CARB-V** carbn-o **CARBN-S CARC** card-b carl **Cassi-s** cast caul **CAUST** cedr cere-b **CHAM CHEL CHIN** chin-ar **Chin-s** choc **CIC CIMIC CINA** cinnb cist **CLEM** cob **COC-C COCC** coff **COLCH COLOC** colocin com **CON** cop com **CROC** crot-c **CROT-H Croto-t Cund CUPR** cupr-ar cupr-s **CUR Curc CYCL Cyt-I** daph der **DIG Dios** diox dirc **DROS DULC** echi-a **ELAPS** emer epip equis ery-a eug euon eup-per **EUPH EUPHR** eupi **Fago** falco-p **FERR Ferr-acet** ferr-ar **FERR-I FERR-P** fic-i fic-m **Fl-ac Flor-p** form galeoc-c gall **Gamb GELS** gent-c gink gins **GLON Gran GRAPH GRAT GUAI** harp **HELL Helo** helod-c hema-h **HEP** her-s hipp hom hydr **Hydr-ac HYOS** hyosin hyper **IGN** ind indg insul inul **IOD** iodof **IP** irid-m iris jatr **JUG-C** kali-ar **KALI-BI KALI-C** kali-chl kali-cy **KALI-I KALI-N KALI-P** kali-s kali-sil **KALM Kola KREOS** kurch **LAC-C** lac-h lac-m **LACH** lachn **LACT Lam** lap-laz lappa **Laur** lec **LED LIL-T** lipp **Lith-c Lob** lob-c lol loxo-t **LYC** lycpr **LYSS M-ARCT M-art M-AUST MAG-C MAG-M MAG-P** mag-s magn-gr **MANG MANG** mang-acet mell-a menth **MENY MERC MERC-C** merc-i-f merc-s **MERL** methyl-p-h **MEZ Mill Mim-p** morpho-m **Mosch MUR-AC** naja naja-m nat-ar **NAT-C** nat-glt nat-hchl **NAT-M NAT-P NAT-S** nat-sil nept-m **NICC NIT-AC** nit-m-ac nuph **NUX-M NUX-V Ol-an** ol-j olea **Olnd** onc-t **Op OZON** paeon **Par** paraf paul-p perl **PETR PH-AC Phel PHOS** phyl-a phys phyt **PIC-AC** pier-b **Pimp Pip-m** pitu-a plan **PLAT PLB Plb-acet** plect pras-s **PRUN PSOR PTEL PULS** pyrog pyrus-c rad-br **RAN-B RAN-S** raph **Rat** rheum **RHOD RHUS-T** ros-d **RUTA SABAD SABIN** sac-l sal-ac **Samb SANG SANIC SARS** scan sec **SEL** senec **Seneg SEP SIL** sol-n **SPIG SPONG SQUIL STANN STAPH** stel still **STRAM STRONT-C STRY SUL-AC** sul-i **SULPH Syph TAB TARAX TARENT-C Tax** teg-a tell telo-s **Ter Teucr THER THUJ Til Tong** toxop-p **Tritic-v Trom TUB** tung upa **URAN** vac **VALER VERAT VERB** vesp vib vinc **Vince** viol-o **VIOL-T** vip visc with-s **X-ray ZINC** zinc-acet zinc-p **Zing** ziz

HEAD; PAIN, headache; stitching: **ACAN-P** acher-a **ACON** acon-ac act-sp adam aego-p **AESC AETH AGAR** agath-a **AGN AIDS** alch-v **Alco ALL-C** allox **ALOE ALUM ALUM-P ALUM-SIL ALUMN AM-C AM-M AMBR** amet ammc **ANAC Anac-oc** anag **ANATH** ander andri-q androg-p **ANG ANT-C ANT-O ANT-T** aphis **APIS** apoc aq-des **ARAN ARAN-IX ARG ARG-N**

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven - Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort



分類

症状別分類の紹介

Samuel Hahnemann'Organon andChronic Diseases を見ると、ハーネマンは患者の現在あるいは過去の状況に見られるすべての症状に基づいてレメディーを選択したのではないことがわかる。彼は、患者さんの症状を丁寧に分類し、その分類に基づいた治療を行いました。

ハーネマンの分類はもちろん、ユーザー定義のA、B、C、D、Eグループも用意されており、自由に使うことができます。

画面左側のツールバーで利用できる分類のオプション。

シンボル マーク	名称	意味
○	プソラ	コアの乱れ。 オルガノン第6版§80（psoric miasma）。
⚡	インシデント	患者さんの身の回りで行ったこと、患者さんに影響を与えたこと。 急性疾患です。 オルガノン§72（有害な影響）。
❖	エピデミック	外部から感染する病気；インフルエンザ、レジオネラ菌、SARS、はしか、おたふく かぜなど。（中間感染症）。 オルガノン§73（流行性疾患）。
く	アキュートミ ズム	病気は内側から来るもので、多くの場合、外から来る事件や刺激が引き金となる。 不満は深刻です。 オルガノン§73（潜在的なプソラの一過性の爆発）。
フ	遺伝的傾向	先祖代々続いてきた病気、遺伝的に患者さんに受け継がれるもの。
↑	医原性	薬の使用状況や予防接種の状況。 オルガノン』第74巻。
🌀	サイコシス	淋病に感染したこと。 オルガノン』第79条（sycotic miasma）。
X	梅毒	梅毒に感染したこと。 オルガノン§79（梅毒の瘰癧）。
A	ユーザーA	ご自由にお使いください。

B	ユーザーB	ご自由にお使いください。
C	ユーザーC	ご自由にお使いください。
D	ユーザーD	ご自由にお使いください。
E	ユーザーE	ご自由にお使いください。

この分類は、「症状」のレベル、または個々のRubricsに適用することができます。
 症状」に分類を設定すると、その設定は「症状」内のすべてのルーブリックに適用されます。これにより、ルーブリックに適用されていた設定は使用されなくなります。

デモ事例簡単な分類例 もご覧ください。

レメディーフィルターと分類

症状やルーブリックの分類を分析に使用した場合、各分析の救済措置は自動的にフィルタリングされます。このフィルタリングは、ハーネマンの著作にある情報に基づいて行われています。

Psora の場合、レメディーは、すべてのミネラルとノゾーズ、それにLach, Lyc, Sepを加えるが、Mercは除く。
Incident, Acute Miasmatic, Epidemic の場合、レメディーは：すべての植物と動物、それにMerc, Ars, Ant-c.
Iatrogenic の場合、レメディーはルーブリック*Intoxication after medicaments*、および*Ailments from vaccination*にあるものである。
 受け継がれた傾向の場合、レメディーは：すべてのノゾーズです。
 その他のグループについては、すべてのレメディーを表示しています。

クリップボード


A-B-C-D-Eのクラスは、クリップボードとしても使用可能です。これらをSymptomsや個々のRubricsに割り当てることで、分析結果に対して異なる見方をすることが非常に容易になります。

詳細はこちら

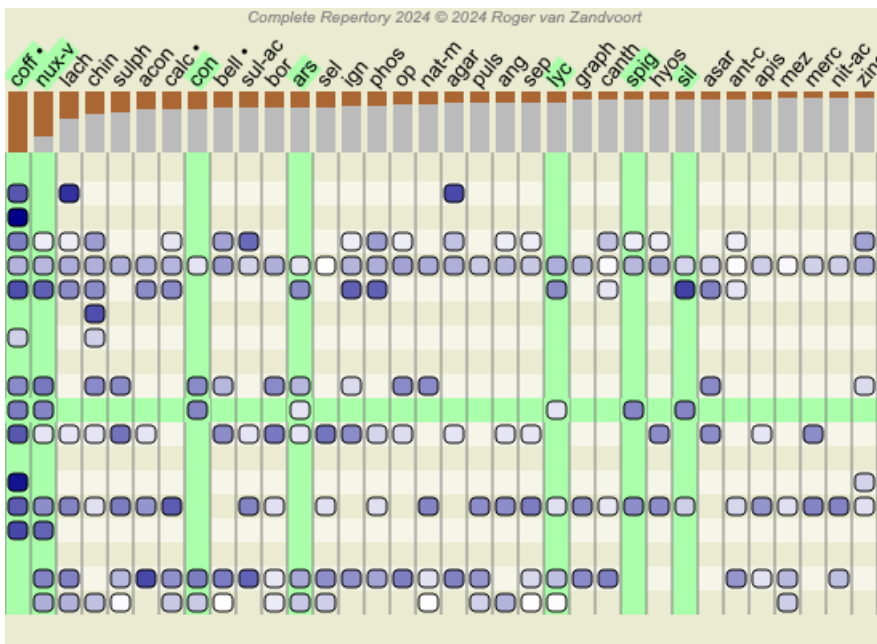
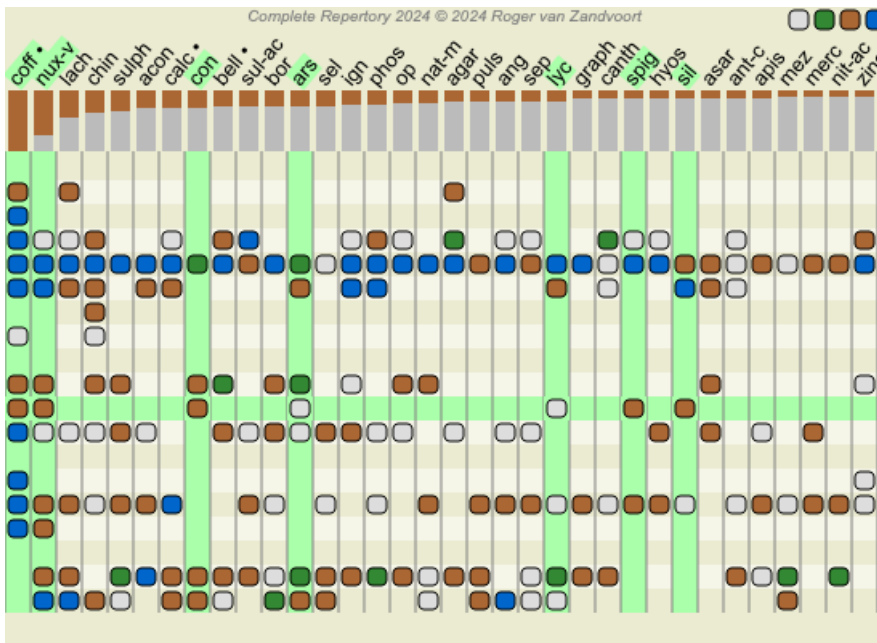
上記の分類に関する情報は限られています。
 ハーネマンの分類の使用に関する優れた情報は、ウェブサイト<http://www.ewaldstoteler.com> で見ることができます。

相対的な重要性を示す

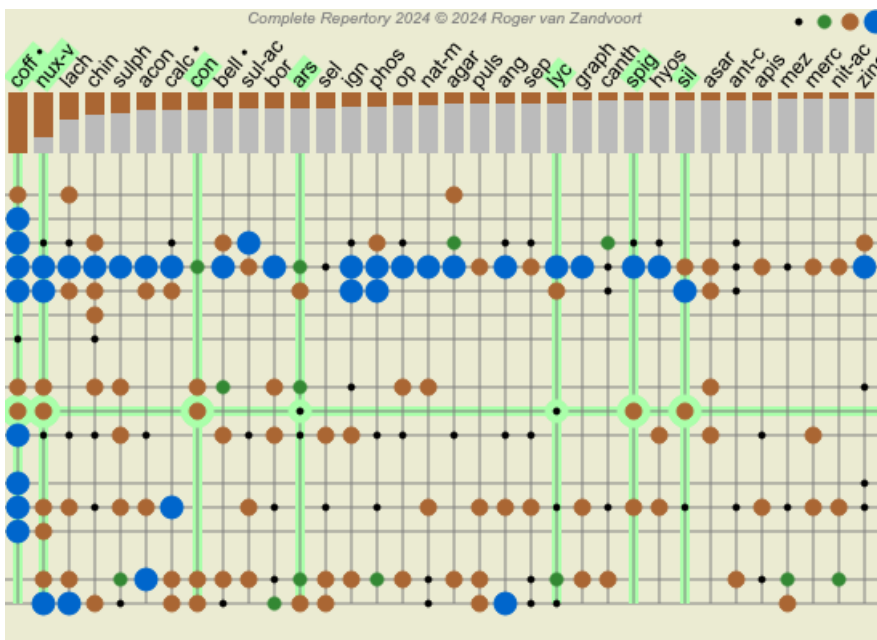
表とグリッド分析グラフでは、レメディをグレード別に4種類のスタイルで表示します。分析式の計算では、各レメディーに1-2-3-4だけでなく、より細かい数値が使われます。分析結果において、各レメディーがどの程度のウェイトを占めているかを確認することも重要でしょう。特に、独自の解析式を適用する場合には、この点が重要です。

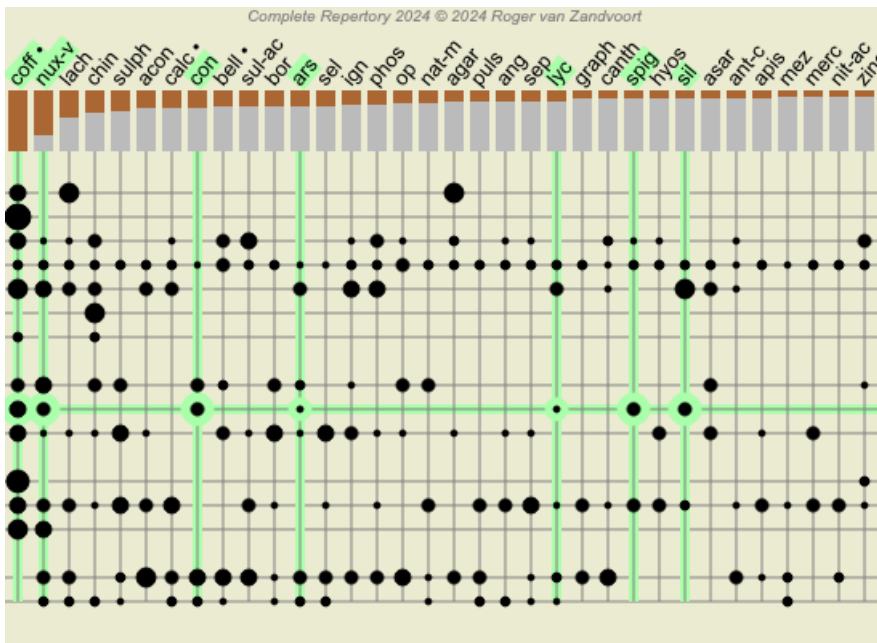
BUTTON:AnalysisViewShowRelevance]をクリックすると、各レメディの相対的な重要度を表示することができます。(メニューオプション分析/相対的な重要性を示す, ツールバーボタン)

テーブルビューでは、レメディーは四角形で表示され、色は明暗で表示されます。色が濃いほど、分析におけるレメディの相対的な重要性が高いことを示します。
 同じ解析結果を次の2枚の写真で比較してみてください。最初の図は、レメディをグレード1から4で示したもので、2番目の図は、分析における相対的重要度に応じたレメディを示したものです。



グリッドビューでは、通常、レメディーは異なる色とサイズで表示されます。相対的な重要性を示す場合、すべてのレメディーは大きさを変えた黒い点で描かれています。ドットが大きいほど、分析において救済策が相対的に重要視されていることを示す。





マルチビュー

これで、解析の作り方がわかりましたね。また、このケースはこういう症状だという解釈で、分析を微調整する方法も知っていますね。

症状やループリックに重みをつけている場合があります。分類を割り当てている場合があります。使用するループリックの救済措置の重要度を量るための分析式を選択しました。そして、もしかしたら、与えられたレメディー王国で結果をフィルタリングしているかもしれません。

これらの設定はすべて、あなたの解釈に基づいて、最適な解析結果を得るためのものです。

しかし、それは患者さんの症状に対するあなたの解釈、あなたの見方です。これらの症状は不変のものであり、あなたが収集した観察された事実です。どのような意見を持っても、観測された症状こそが現実なのです。(Organon §18)

しかし、同じ症状でも、別の視点から、別の見方で、解釈してみることも考えてみてはいかがでしょうか。もちろん、解析の設定をすべて変えて、様子を見ることもできます。しかし、そうすると元の分析結果が変わってしまい、再び見るためには、変更した設定をすべて元に戻さなければなりません。

解析の設定を変更しても、元の設定が失われないようにするために、Multiple Viewsを作成しました。

アナリシスビューとは?

分析ビューは、分析に適用できるすべての設定の総称です。

重量	×0 ×1 ×2 ×3 ×4
分類	○ ⚡ ✨ ⤴ ⤵ ➡ ⤶ × A B C D E
バランス症状	⚖
コレクトポラー	↔
解析式	例えば "Small Remedies".
レメディーフィルター	例えば、"植物"

複数のビューを作成し、それぞれ独自の設定コレクションを持つことができます。
例として、デモケース アンドリユー、分析マルチビューを見てください。

ビューの作成

メニューやツールバーから、新しいビューを作成することができます。(メニューオプション分析/表示/新しいビューを追加する, ツールバーボタン+, ポップアップメニューオプション表示/新しいビューを追加する)。

新しいビューは、元のビューのコピーで、まったく同じ設定になっています。新しいビューの設定に加えた変更は、そのビューにのみ適用されます。他のビューはすべて元のままです。

必要であれば、新しいビューにオプションで名前を付けることができます。


すべてのビューで、まったく同じ症状とループリックのコレクションを使用していることに注意してください。患者さんの状況は同じで、見方によって違うのは自分の解釈です。

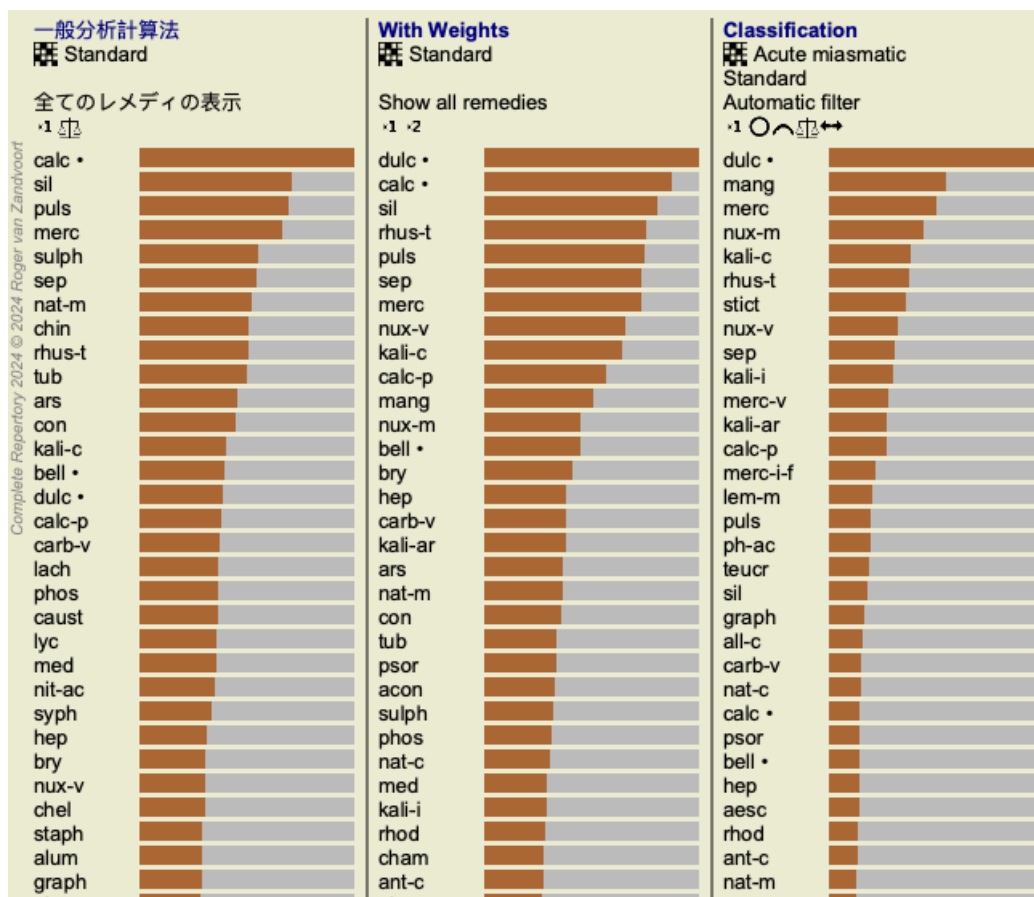
メニューから簡単に表示を切り替えることができます。(メニューオプション分析/表示/Standard, ツールバーボタン⊙, ポップアップメニューオプション表示/Standard)。
また、ツールバーでビューを選択することもできます。

選択したビューが不要になった場合は、削除することができます。(メニューオプション分析/表示/現在のビューを削除する, ポップアップメニューオプション表示/現在のビューを削除する).
 ビューに付けた名前はいつでも変更可能です。(メニューオプション分析/表示/現在のビューの名前を変更, ポップアップメニューオプション表示/現在のビューの名前を変更).
 また、メニューやツールバーに表示されるビューの順序を変更することもできます。(メニューオプション分析/表示/現在のビューを左に移動します, ポップアップメニューオプション表示/現在のビューを左に移動します).

各ビューの解析結果を見える

画面右側の解析結果エリアには、選択したビューの解析結果が表示されます。他のビューに切り替えると、そのビューの結果に変更されます。

また、すべてのビュー結果を同時に見ることができます。(メニューオプション分析/マルチビュー, ツールバーボタン).
 このように表示されます。



解析のリスト概要と似ていますが、1つのビューに1つの結果リストを表示します。
 上部に、各ビューで使用されている設定の概要が表示されます。

- 表の出力スタイルに選択された分析。
- 分類を用いた分析の場合、使用する分析式。
- 使用するレメディーフィルターです。
- 有効な各解析設定に対応した小画像を表示します。

鑑別診断

解析の次は、一般的に「鑑別診断」を行います。分析結果に基づき、いくつかの救済措置が関連すると考えられ、それらの間で差別化を図る必要がある。

これには、いくつかのアプローチがあります。

- 一般的なものも含め、分析したすべての症状についてレメディーを比較する。
- ある症状に対する具体的な違いを研究する。
- 一般的な差異を研究し、分析でまだ出ていない症状を調べる。

この研究の一部は、マテリアメディカを使って行うことになっています。
 しかし、ほとんどの作業は、レポートリーの内容を使って行うことができます。
 Analysis module の特別なDifferential Diagnosis (鑑別診断) 機能がそれを支援します。分析結果とFind モジュールのレメディー鑑別機能との間に使いやすい接続を形成しています。


いくつかの例を挙げて、その仕組みを紹介します。

例：セピア色のケース

以下の分析は、デモケース *Andrew* にあり、*DD example - Sepia case* と呼ばれています。

The screenshot shows the 'Complete Dynamics' software interface. The title bar indicates 'Mental' and 'Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort'. The main window is titled 'Demo case Andrew' and shows a list of symptoms on the left and a grid of remedies on the right. The symptoms listed include 'Mental', 'Headache', 'Nausea', 'Leucorrhea and menses', and '特徴が無い症状'. The remedies listed include 'sep', 'nux-v', 'puls', 'nat-m', 'coc', 'calc', 'sulph', 'phos', 'sil', 'stann', 'cham', 'thuy', 'dcl', 'ferr', 'omn', 'plac', 'nit-ac', 'bell', 'cac', 'mag-c', 'nat-p', 'zinc', and 'ph'. The grid shows the presence of each remedy for each symptom, with colors indicating the strength of the match. The bottom section contains a search bar and a '総合検索' button.

Sepia のスコアが最も高いが、これは必ずしも処方すべきレメディであることを意味しない。この場合、*Sepia* と *Nux Vomica*、これらのレメディーは補完的であり、どちらも分析では比較的高いスコアであるため、区別したいと考えました。

鑑別診断を開始する。(メニューオプション分析/鑑別診断ウィザード, ツールバーボタン)。ダイアログが開きます。

レメディ

ルブリック

mind; irritability
head; pain, headache
head; pain, headache; cutting, darting, stab
stomach; nausea
female; leucorrhea, discharge
female; menses
female; menses; early, too, frequent
back; pain
face; brown
generalities; food and drinks
generalities; food and drinks; food in general

ルブリックの種類

交互に替わる状態 ☒
側面 ☒
時間 ☒
(症状) の広がる状態 ☒
身体にある場所 ☒
モダリテイ ☒
"as if" 症状、感作、観察出来る症状 ☒

適用する
終了

このダイアログでは、3つのセクションが表示されます。

- レメディです。
ここでは、区別したいレメディの略称を入力します。
スタンダード、相対スコアが50%以上のレメディが最大10個まで記入されます。ほとんどの場合、このリストを自分で修正したいと思うでしょう。
- ルブリック
このリストは、分析のルブリックをもとに作成されています。分析におけるルブリックの全現象を収録しています。必要であれば、このリストの中から特定の症状を選択し、その症状のみのDDを生成することも可能です。
- ルブリックの種類
ここでは、どのような症状で差別化を図るかを指定することができます。

この例では、レメディを *sep mux-v* に変更し、他のセクションは変更しないようにします。現時点での私たちの意図は、分析対象のすべての症状について、汎用的なDDを作ることです。

レメディ

sep nux-v|

ルブリック

mind; irritability
head; pain, headache
head; pain, headache; cutting, darting, stab
stomach; nausea
female; leucorrhea, discharge
female; menses
female; menses; early, too, frequent
back; pain
face; brown
generalities; food and drinks
generalities; food and drinks; food in general

ルブリックの種類

交互に替わる状態 ☒
側面 ☒
時間 ☒
(症状) の広がる状態 ☒
身体にある場所 ☒
モダリティ ☒
"as if" 症状、感作、観察出来る症状 ☒

適用する 終了

このダイアログを画面上の都合の良い位置に移動し、開いたままにしておくと、DDの条件を素早く変更することができます。いつでも、Close ボタンで閉じることができます。

適用 ボタンをクリックすると、選択した条件でDDが開始されます。Find モジュールが開き、選択した基準に対して最も差別化できるルブリックが表示されます。

ウィザード
全て
Nux-v
Sep

MIND

IRRITABILITY; anxiety; with; suicide, attempt to commit, afraid to die: **NUX-V**
IRRITABILITY; emissions, pollutions, seminal; after: **NUX-V** (+14)

HEAD

PAIN, headache; morning; agg.; opening eyes, on: **NUX-V** (+11)
PAIN, headache; morning; agg.; rising; amel.: **NUX-V** (+37)
PAIN, headache; evening; amel.; bed, in: **NUX-V** (+4)
PAIN, headache; alcohol, alcoholic drinks; agg.: **NUX-V** (+101)
PAIN, headache; alcohol, alcoholic drinks; amel.: sep (+12)
PAIN, headache; bathing, washing; agg.: **SEP** (+45)
PAIN, headache; bathing, washing; agg.; cold: **SEP** (+14)
PAIN, headache; bathing, washing; amel.: **NUX-V** (+70)
PAIN, headache; bathing, washing; amel.; cold: **NUX-V** (+51)
PAIN, headache; coffee; agg.: **NUX-V** (+33)
PAIN, headache; leucorrhea; during: **SEP** (+8)
PAIN, headache; lying; amel.; side, on; painless: **NUX-V** (+4)
PAIN, headache; room; agg.: **SEP** (+152)
PAIN, headache; room; amel.: **NUX-V** (+41)
PAIN, headache; sleep; loss of, from late hours: **NUX-V** (+34)
PAIN, headache; walk, walking; while; air, in open: **NUX-V** sep (+81)
PAIN, headache; walk, walking; amel.; air, in open: **NUX-V** **SEP** (+95)
PAIN, headache; forehead; left; extending to; occiput: **SEP** (+13)
PAIN, headache; forehead; morning; agg.; bed, in: **NUX-V** (+11)
PAIN, headache; forehead; morning; agg.; rising; agg.: sep (+39)
PAIN, headache; forehead; morning; agg.; rising; amel.: **NUX-V** (+11)
PAIN, headache; forehead; air; open; agg.: **NUX-V** sep (+56)
PAIN, headache; forehead; air; open; amel.: **SEP** (+71)
PAIN, headache; forehead; eating; agg.: **NUX-V** sep (+56)
PAIN, headache; forehead; eating; amel.: **SEP** (+23)
PAIN, headache; brain; morning; waking, on: **NUX-V** (+2)

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven - Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort

表示されるルビは、ほとんどがヘッド症状になっているので、ボタン=を数回クリックしてルビを少なく表示します。

ウィザード
全て
Nux-v
Sep

HEAD

PAIN, headache; morning; agg.; rising; amel.: **NUX-V** (+37)
PAIN, headache; evening; amel.; bed, in: **NUX-V** (+4)
PAIN, headache; bathing, washing; agg.: **SEP** (+45)
PAIN, headache; bathing, washing; agg.; cold: **SEP** (+14)
PAIN, headache; bathing, washing; amel.: **NUX-V** (+70)
PAIN, headache; bathing, washing; amel.; cold: **NUX-V** (+51)
PAIN, headache; coffee; agg.: **NUX-V** (+33)
PAIN, headache; forehead; left; extending to; occiput: **SEP** (+13)
PAIN, headache; forehead; morning; agg.; rising; agg.: sep (+39)
PAIN, headache; forehead; morning; agg.; rising; amel.: **NUX-V** (+11)
PAIN, headache; forehead; eating; agg.: **NUX-V** sep (+56)
PAIN, headache; forehead; eating; amel.: **SEP** (+23)
PAIN, headache; brain; morning; waking, on: **NUX-V** (+2)
PAIN, headache; bursting; morning; rising amel.: **NUX-V**
PAIN, headache; bursting; morning; waking, on: **NUX-V** (+7)
PAIN, headache; pressing; forehead; eyes; above; walking; agg.; air, in open: **NUX-V** sep (+105)
PAIN, headache; pressing; forehead; eyes; above; walking; amel., in open air: **SEP**
PAIN, headache; shooting; forehead; eyes; above; left; extending to; occiput: **SEP**
PAIN, headache; stunning, stupefying; morning; bed, in: **NUX-V** (+1)
PAIN, headache; stunning, stupefying; morning; rising, after; amel.: **NUX-V** (+2)
PAIN, headache; stunning, stupefying; morning; waking, on or after: **NUX-V** (+1)
PAIN, headache; tearing; temples; left; extending to left upper side: **SEP**

STOMACH

NAUSEA; morning; bed, in: **NUX-V** (+17)
NAUSEA; lying; agg.: **SEP** (+51)
NAUSEA; lying; amel.: **NUX-V** sep (+54)

FEMALE

LEUCORRHEA, discharge; daytime: **SEP** (+10)
LEUCORRHEA, discharge; daytime; only: **SEP** (+7)

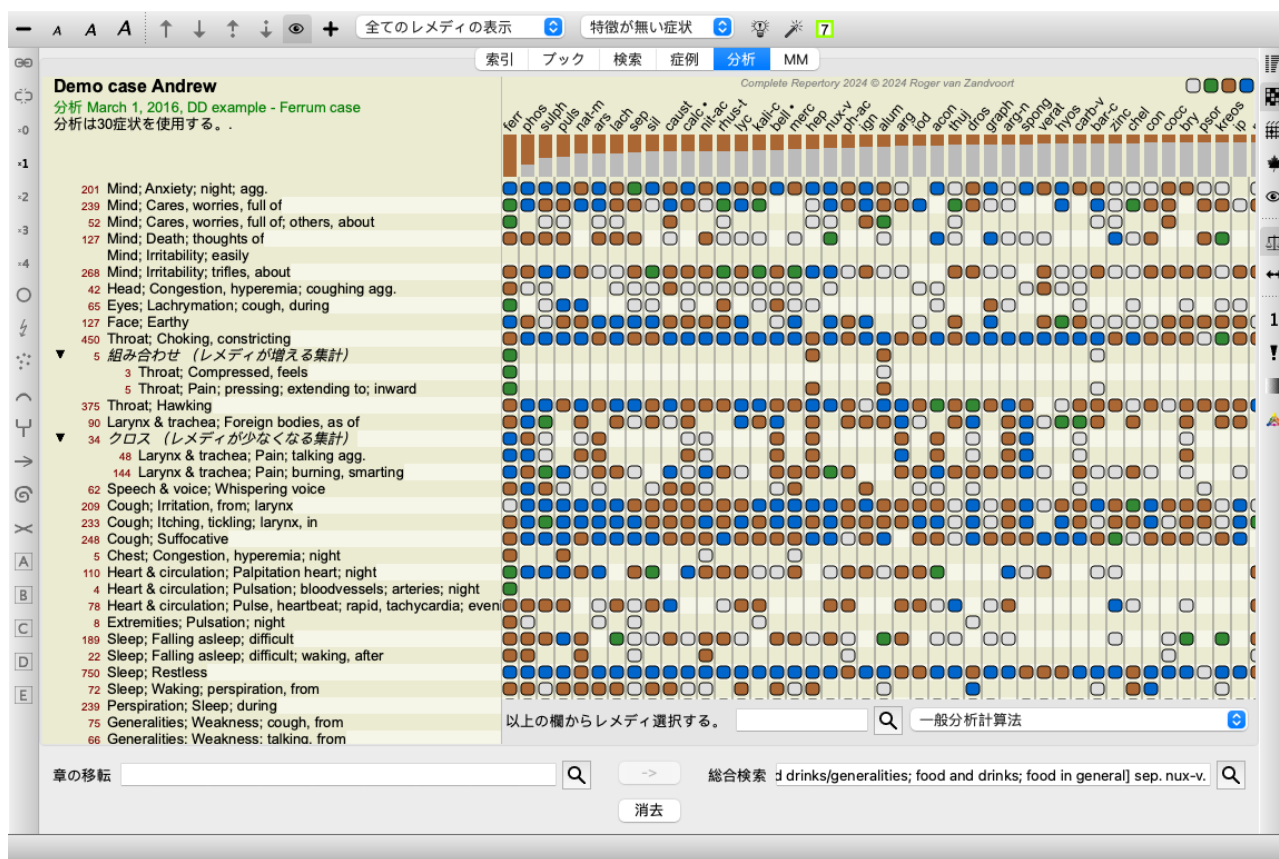
Complete Dynamics © Eduard van Grinsven - Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort

これにより、分析に使用する症状の選択について、両レメデイの関連する違いをよく理解することができます。

結果はFind モジュールに表示されるため、すぐに関連するループリックを分析に追加することができ、提供された新しい情報に従って分析結果を修正することができます。

例：フェルムの場合

以下の分析は、デモケース *Andrew*、と呼ばれる *DD example - Ferrum case* で見ることができます。



DDを起動した後、レメディ *ferr phos puls ars nat-m* を選択し、*Apply* ボタンをクリックしました。

ウィザード
全て
Ars
Ferr
Nat-m
Phos
Puls

MIND

ANXIETY; evening; agg.; twilight, at: **ARS PHOS** puls (+15)
ANXIETY; evening; agg.; bed, in: **ARS** nat-m phos **PULS** (+59)
ANXIETY; night; agg.; bed; in: **ARS** (+19)
ANXIETY; night; agg.; bed; driving out of: **ARS** (+4)
ANXIETY; night; agg.; children, in: **ARS** (+31)
ANXIETY; night; agg.; lying on; left: **PHOS**
ANXIETY; night; agg.; perspiration, with: **ARS Nat-m** (+6)
ANXIETY; midnight; after: **ARS** nat-m **PHOS PULS** (+40)
ANXIETY; midnight; after; three am.: **ARS** (+11)
ANXIETY; alone, while: **ARS PHOS** (+45)
ANXIETY; anger, vexation; during: **ARS** nat-m phos **PULS** (+41)
ANXIETY; asthmatic complaints, with: **ARS FERR** (+29)
ANXIETY; bed; driving out of: **ARS** nat-m **PULS** (+25)
ANXIETY; children, in: **ARS PHOS** (+44)
ANXIETY; cholera, in: **ARS** (+17)
ANXIETY; congestion, with: **PHOS PULS** (+30)
ANXIETY; congestion, with; head, in: **PHOS PULS** (+15)
ANXIETY; cough; during: **ARS PHOS** (+42)
ANXIETY; delivery, parturition; during: **ars NAT-M** (+19)
ANXIETY; excitement, emotional, agg.: **NAT-M PHOS** (+16)
ANXIETY; faintness; with: **ARS ferr PULS** (+23)
ANXIETY; hurry, with: **ARS NAT-M** (+16)
ANXIETY; lying; agg.: **ARS NAT-M PHOS PULS** (+34)
ANXIETY; lying; agg.; down, on: **ARS PHOS PULS** (+13)
ANXIETY; lying; agg.; side, on: **NAT-M PHOS PULS** (+9)
ANXIETY; lying; agg.; side, on; left: **NAT-M PHOS PULS** (+8)
ANXIETY; menses; before: **NAT-M PULS** (+30)
ANXIETY; motion; amel.: **ARS PULS** (+17)
ANXIETY; nausea; with: **ARS NAT-M PULS** (+80)

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven - Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort

あとは、特定の症状やループリックの種類を選択するオプションを使って、結果がどのように変わるかを試してみてください。

ベニングハウゼン

Bönninghausen解析に関するいくつかの情報

ボーニングハウゼン分析法は、他のレパートリーを使うのではなく、他の分析法と同様にComplete Repertory を使って作業します。古いBönninghausesのレパートリーにあるすべてのループリックは、Complete Repertory に存在します。ベニングハウゼンの分析システムは、患者さんの症状が必要なときに使う方法論で、特定の種類のレパートリーとは関係なく、どのレパートリーにもある一般化されたループリックに関係するものなのです。

その違いは、計算の仕方にあります。
あるレメディがあるループリックでどのように表現されているかを見るだけでなく、レパートリーの他の部分にある関連ループリックでの表現に重きを置いています。

計算はこのように行います。

- ループリックに表示されている救済措置の評点は無視する。
- 代わりに、関連するループリックでの救済措置の発生から算出される救済措置評点を使用する。
- レメディが、異なるレパートリーセクションの、より関連性の高いループリック（心、頭、一般性など）に出現する場合、より重要視する。
- 極ルビでの発生を修正する（amel.-agg.やdesire-aversionなど）。

ベニングハウゼン分析スタイルでは、一般的に、より一般的で大きなループリックを使用することになります。特定のループリックと一般的なループリックを混在させることは、一般的に有用ではありません。

解析テンプレート

新しい分析を作成した場合、SymptomsやRubricsは含まれません。
しかし、多くの場面で、似たようなケースに似たような症状を使うことが多いのではないのでしょうか。

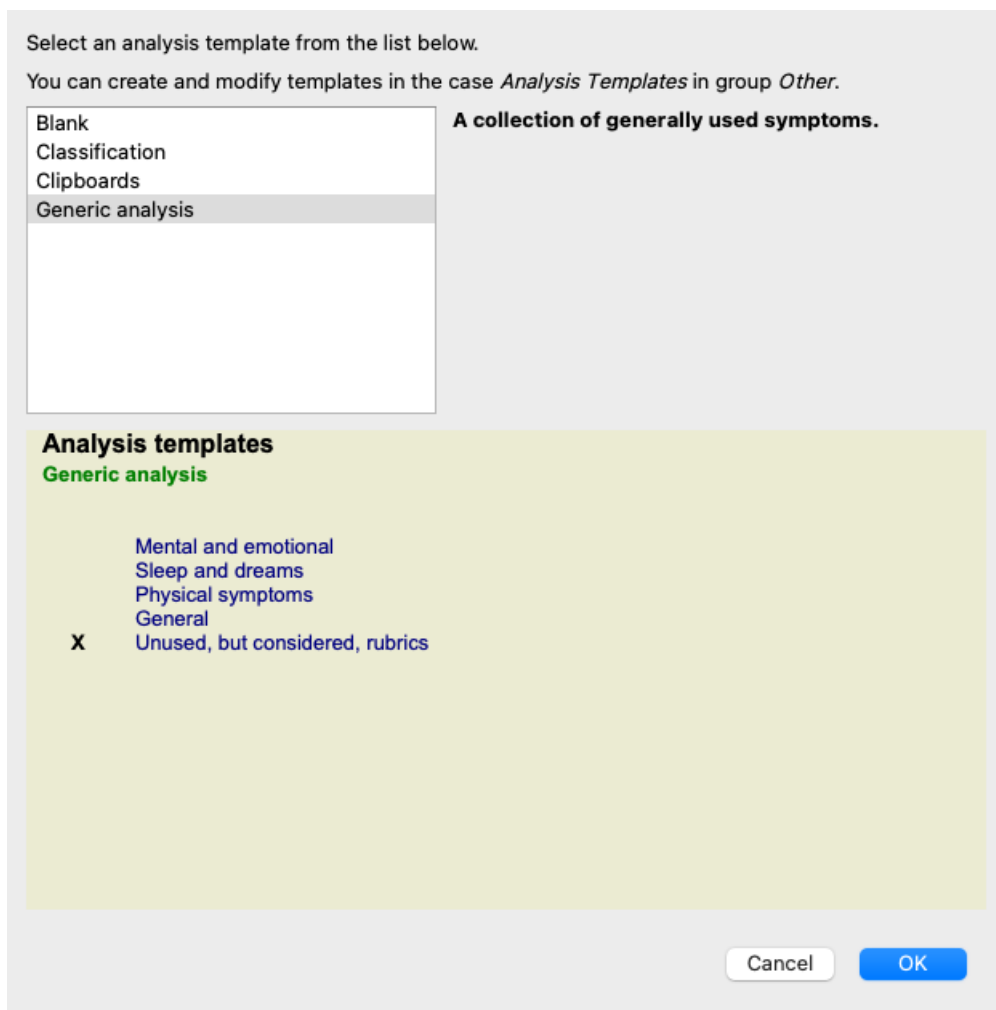
これを容易にするために、分析テンプレートを作成することができます。解析テンプレートは、新しい解析の出発点であり、すでにいくつかの定義済みの要素を含んでいます。これらは、よく使われるレパートリー・ループリックと同様に、Symptomsとすることができます。

テンプレートからの解析の作成

新しい分析を作成するには、まず新しいケースを作成するか、すでに存在するケースを開く必要があります。ケースファイ

ルの作成およびケースファイルのオープンを参照してください。

テンプレートから新しい分析を作成します。(メニューオプション *症例 / テンプレートに基づいて, control-T*).
ダイアログが表示され、テンプレートを選択することができます。



テンプレートを選択すると、画面下半分にその内容の例が表示されます。

独自の分析テンプレート作成

テンプレートの作成はとても簡単です。

すべてのテンプレートは、*Analysis templates* という特殊なケースファイルに格納されています。ケースグループ *Other* にあり、*Demo case - Andrew case file* と共にご覧いただけます。

このケースファイルでは、他のケースファイルで通常の分析を作成するのと同じように、新しい分析を作成することができます。この分析に加えたメモが、テンプレートの説明文として使われます。*Analysis templates* のケースファイルを開くだけで、その仕組みがすぐにわかりますよ。

ケースファイルのどこかにすでに分析があり、それを新しいテンプレートとして使用したい場合は、その分析を複製してから、*Analysis templates* ケースファイルに転送するだけです。(メニューオプション *症例 / 分析を複製する, control-D*, メニューオプション *症例 / 分析を症例に移す*).

テンプレートを他の人と共有する

分析テンプレートは、他の分析結果を共有するのと同じように、同僚と共有することができます。詳しくは、「ケース共有」をご覧ください。

書き出したファイルは、インターネット上でも簡単に共有することができます。

計算式

独自の解析式で

Complete Dynamicsでは、最も一般的な解析手法が標準で組み込まれています。多くのユーザーにとって、これらの処方がすべてであろう。

自分の好みや職業上の経験に応じて、独自の数式を作成し、カスタマイズすることができます。

新しい解析式を作成するには、*Preferences, section Analysis* を開きます。

基本設定 プック 検索 症例 **分析** MM

HFA のレメディ色 ☒

ルブリックの重みがゼロとでレメディはハイライトされません。 ☐

分析計算法

☒ 一般分析計算法
 ☒ ルブリックが少数
 ☐ レメディが少数
 ☒ ペニングハウゼン
 ☒ 単純に数えて
 ☐ Eduard test
 ☐ TestFormula

+ - ↑ ↓

表示したい分析計算法。 ☒

分析計算法

取り消す 同意

既存の解析式の一つを選び、**+**ボタンを押します。新しい分析式が作成され、自分で修正することができます。この新しい数式は、リストで選択していた解析の設定から始まります。

分析計算法の名前

レメディのグレード

関係があるルブリックの平均グレード ☐

関係があるルブリック

ソースの数

ルブリックが少ないレメディ

レメディが少ないルブリック

症状の完成された程度

症状が適用される領域

重み因子の利用 ☒

症状の平衡を取る

正反対ルブリックの補正

正反対ルブリックの補正

極地ボーナスはありません

なお、標準的な解析式の設定を変更することはできません。自分で追加した数式のみ変更可能です。標準的な計算式の設定を見て、どのように構成されているかを確認することができます。

スライダーエディターでは、分析式の中のいくつかの要素に重みを持たせることができます。スライダーを右側に移動するほど、その部分の計算式に価値が与えられます。

以下の説明では、いくつかの選択肢で、**関連するループリック**という単語が使われています。あるループリックがより具体的なループリックの一般化である場合、より具体的なループリックは、より一般化されたループリックの**関連ループリック**と呼ばれます。

例えばHead; pain; morning; agg[/RUBRIC] はよりも**具体的**である。

同様にHead; pain; morning; agg はHead; pain よりも具体的である。

式名	ここで、この数式に付けたい名前、例えばFred-1を入力します。これは、Analysis モジュールで分析に表示される名前です。
レメディーグレード	ループリックで救済措置の評点に与える重要度を設定します（1～4）。 最低設定では、すべてのレメディーがグレード1を持つものとして扱われます。 高い設定にすることで、1級と4級の差がより重要になります。
関連ループリックの平均評点	このオプションをチェックすると、救済措置の評点は関連するループリックの同じ救済措置の評点と一緒に修正されます。あるループリックで評点が4であつても、関連するほとんどのループリックで評点が低い場合は、低い方の平均値が使用されます。 チェックされていない場合、救済措置は常に与えられたループリックの救済措置に示されている評点が与えられます。
関連ループリック	あるレメディーが関連するルビにも出現している場合、他のレメディーよりもより多くの関連ルビに出現していれば、特別に重要視することができる。 この設定が高いほど、関連するループリックでの出現率が重要視される。
小型レメディー	スモールレメディーとは、ポリクレストのようにレパートリーであまり取り上げられていないレメディーのことです。ポリクレストは、多くのループリックに登場し、成績も高いことが多いので、分析上、比較的重要視される傾向にある。 この設定により、より小さなレメディーを重要視することができます。
小型ループリック	救済措置が多いループリックは、非常に汎用性の高いループリックであることが多い。非常に具体的なルビは、少ない数の救済措置しかないことが多い。このような小さなルビは、他の方法では見過ごされる救済策を指し示す可能性があるため、分析にとって非常に重要な意味を持ちます。 この設定により、これらの小さなループリックの救済をより重要視することができます。
症状の完全性	レパートリーに含まれるすべてのループリックは、いくつかのタイプの情報の組み合わせです。ループリックの中には、タイムモダリティについてしか書かれていないものもあります。他のループリックは、特定の現象について、時間モダリティとの関係で、あるいは拡張子について語る、などなど。 ループリックがこれらの複数の側面をカバーしていればいるほど、より具体的な症状を記述していることになる。 この設定により、一般的な症状ではなく、完全な症状をより重要視することができますようになりました。
症状別カバー率	各レメディーは、いくつかのSymptomsとRubricsで発生します。改善策の対象となるSymptomsやRubricsが多いほど、その改善策が分析上重要である可能性があります。 この設定により、より多くの患者さんの症状をカバーするレメディーを重要視することができます。
ウェイトファクターを使用する	分析では、SymptomsとRubricsに重み付けを設定することができます。 このオプションをオンにすると、これらの重みが解析式に使用されます。 このオプションをオフにすると、重みの設定は無視されます。
バランス症状	この設定は、Complete Dynamics 解析の Symptom Balancing 機能をどのように使用するかを決定します。 常に:バランシングは常に行われます。 Never:バランス調整は行いません。 ユーザー選択可能:Analysis モジュールの 冪 ボタンで設定を制御します。
極ルビに修正	極ルビの補正をどのように行うかを設定します。 常に:極ルビは常に正しい。 決して:極ルビを訂正しないでください。 ユーザーが選択可能な。Analysis モジュールの ↔ ボタンで設定を制御します。
ポーター補償	極ルビの補正をどの程度強く行うかを決定する。 最高設定では、レメディーが極ループリックで発生した場合、完全に補正されます。
ポーターボーナスで欠席	レメディーがポーターループリックに存在しない場合、レメディーをより重要視すること。

全く役に立たない解析式を作ることは、とても簡単です。これらのオプションを賢く利用しましょう。標準的な数式を厳選しています。

計算式のファインチューニング

解析式を自作する場合、すべての設定を最適な値に調整するのは難しく感じるかもしれません。Analysisモジュールでは、結果を単に1～4の等級ではなく、相対的な重要度に従って表示することができます。これは、解析用フォーマルが思い通りに設定されているかどうかを確認するのに非常に役立ちます。詳しくは、Analysis module / Advanced topics / Show relative importance をご覧ください。

分析品質

良い分析をする技術

患者さんの症状を的確に分析することは芸術であり、その熟練度は明らかではありません。学校によって指導方法は異なります。個々の教師は、それぞれのスタイルや理論を推進しています。そして、良い分析は患者ごとに異なります。

分析品質ツールは、一般的なエラーを防止し、成功の可能性を高めるお手伝いをします。

品質指標

Analysisモジュールのページ上部に、小さな色のボタンがあります。
色は分析の質を示しています。

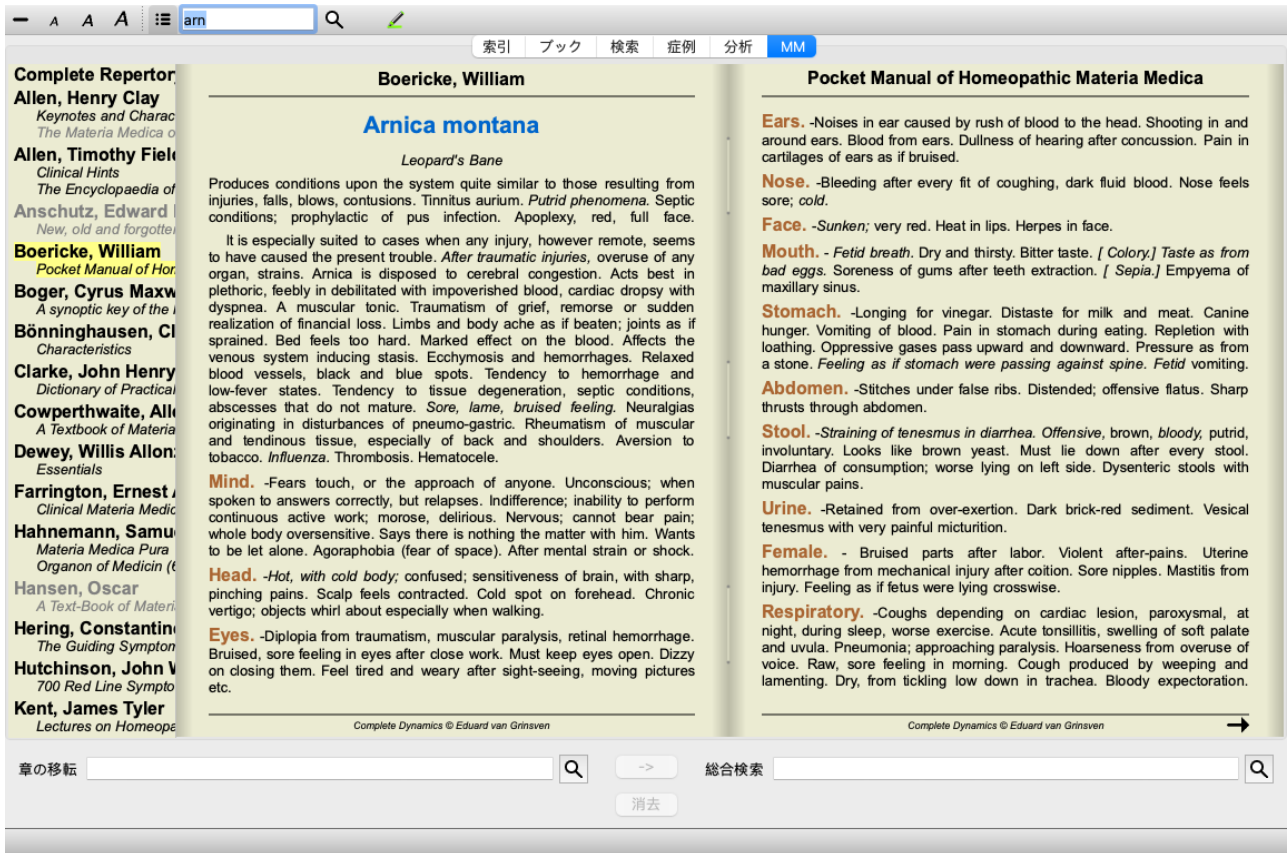
- 緑：軽微な改善勧告のみ。
- 黄色：品質は改善可能。
- 赤：この分析には重大な問題があります。

品質指標をクリックすると、改善の可能性を示唆するレポートが表示されます。

マテリアメデイカモジュール

Materia Medica モジュールを開く

MM タブをクリックし、Materia Medica モジュールに移動します。(メニューオプション表示/マテリア・メデイカ, ⌘-M).

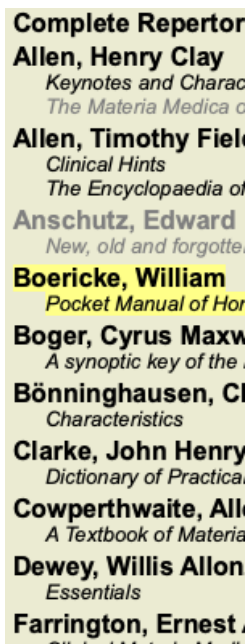


救済措置の選択

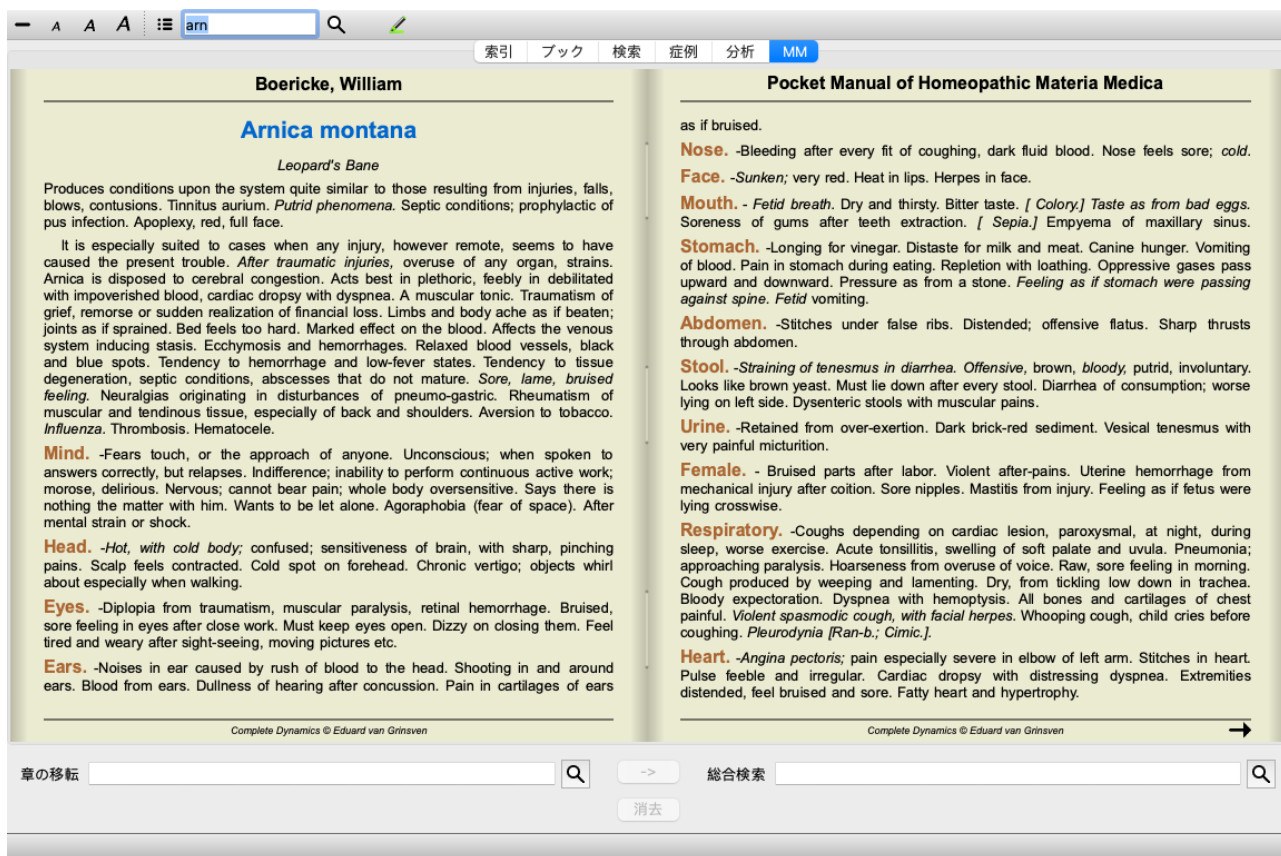
ツールバーの上のフィールドにレメデイの略語を入力することができます。略語がわからない場合は、欄外の🔍を押すことで救済策を調べることができます。

本を選ぶ

レメディーを選択した後、画面左側に表示されているマテリアメデイカのソースを任意に選択することができます。選択したレメディーがブック内に存在しない場合は、ブックタイトルがグレーで表示されます。

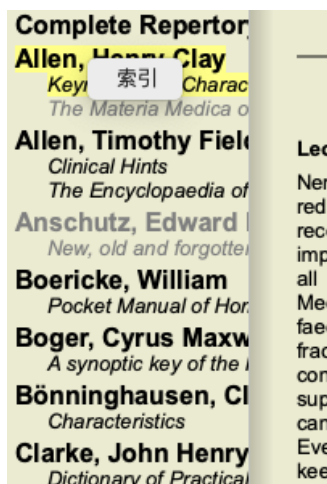


読書スペースを確保したい場合は、ツールバーのボタン⌵でインデックスを非表示にすることができます。



レメディインデックス

書籍に収録されているすべてのレメディの概要を知るには、書籍タイトルのポップアップメニューを開いてください。(ポップアップメニューオプション索引)。



収録されているすべてのレメディが掲載されているリストが表示されます。レメディー名をクリックすると、そのレメディーのブックを開くことができます。

Allen, Henry Clay / Keynotes and Characteristics

Abrotanum
Aceticum acidum
Aconitum napellus
Aesculus hippocastanum
Aethusa cynapium
Agaricus muscarius
Agnus castus
Allium cepa
Aloe socotrina
Alumina
Ambra grisea
Ammonium carbonicum
Ammonium muriaticum
Amylenum nitrosum
Anacardium orientale
Anthracinum
Antimonium crudum
Antimonium tartaricum
Apis mellifera
Apocynum cannabinum
Argentum metallicum
Argentum nitricum
Arnica montana
Arsenicum album
Arum triphyllum
Asarum europaeum
Asterias rubens
Aurum metallicum

Baptisia tinctoria
Barvta carbonica

利用可能な書籍やインターネットサイト

Materia Medicaモジュールには、いくつかの書籍が用意されています。これらの書籍は、お客様の言語設定により、ご利用いただける言語が異なる場合があります。


Materia Medicaモジュールは、レメディー情報を提供するいくつかのインターネットウェブサイトと統合しています。これらのウェブサイトが利用可能かどうかは、お客様の言語設定によって異なります。
なお、インターネット上のウェブサイトのコンテンツは、Complete Dynamics には含まれませんが、便宜上、Materia Medicaモジュールにのみ表示されています。
一部のウェブサイトでは、情報へのアクセスに際して料金を請求する場合があります。これは純粋にウェブサイト所有者のポリシーであり、お客様のComplete Dynamicsライセンスとは一切関係ありません。

リバースマテリアメデイカ

Reverse Materia Medica は、指定されたレメディーのレパートリーの中から、最も重要な症状をそのまま表示します。通常のマテリアメデイカのように、人間の専門家による解釈は行われません。*Reverse Materia Medica* は、レパートリーに蓄積された専門知識に完全に基づいています。
Book モジュール内のループリックに移動するには、そのループリックをダブルクリックするだけです。

重要な症状ほど大きく印刷されるので、様々な症状の相対的な重要性を簡単に見分けることができます。

以下のボタンで結果を修正することができます。

- | | | |
|---|--|--|
| — | 症状が少ない。 | |
| + | より多くの症状 | |
| フィルター | フィルタードロップダウンリストでは、逆マテリアメデイカに表示されるルビの基準を選択することができます。 | |
| | 自動 | 最も関連性の高いループリックが自動的に選択されます。 |
| | 確認された症状 | グレード3または4のレメディーのみが使用されます。これらは、実際に確認されている症状を示しています。 |
| | 完全な症状 | 完全な症状のみを使用しています。症状は、少なくとも3種類の情報が組み合わさって完成します。例時間+場所+延長 |
| | 確認済み・完了 | 確定と完全の症状のみ表示されます。 |
| | レッドライン症状 | より多くのレパートリーで関連性のある症状が発生するものを優先する。 |
| | キーノート | レメディーのグレードは3か4だが、他のレメディーはすべて低いグレードである。 |
| | | ユニークなループリックレメディーが唯一発生しているルビだけを表示する。 |
|  | Differential Diagnosisのオン/オフ。オンになっている場合は、その症状の他の重要なレメディーを示す。 | |

リバースマテリアメデイカにおける代替療法

ツールバーの🔍ボタンを押すと、その症状に対するいくつかの対処法が追加で表示されます。(メニューオプション表示/レメデイ/レメデイ比較表示, ツールバーボタン🔍, ポップアップメニューオプションレメデイ/レメデイ比較表示).

MIND ANGUISH ; heart complaints, in; angina pectoris , in: ARN (+1) dd: ami-n ANSWER , answering, answers; stupor returns quickly after: ARN (+26) dd: BAPT HYOS DESPAIR ; concussion, after: ARN DULLNESS ; injuries of head, after: ARN (+10) FEAR ; touch, of; gout , in: ARN (+1) dd: colch FORGETFULNESS ; injuries, after: ARN (+8) dd: HYPER INDIFFERENCE , apathy; fever ; during: ARN (+40) dd: CHIN CON OP PH-AC PHOS SEP INDIFFERENCE , apathy; heat; during: ARN (+10) dd: PH-AC PULS Op Phos Sep INDIFFERENCE , apathy; stool; after: ARN (+1) dd: cycl RESTLESSNESS , nervousness; perspiration ; during: ARN (+39) STUPEFACTION , as if intoxicated; concussion of brain, after: ARN STUPEFACTION , as if intoxicated; injury , after: ARN (+5) dd: cic con hell puls rhus-t STUPEFACTION , as if intoxicated; perspiration ; during: ARN (+14) dd: HYOS OP PH-AC PHOS RHUS-T UNCONSCIOUSNESS , coma; brain complaints, in: ARN (+47) dd: APIS OP UNCONSCIOUSNESS , coma; fever , during: ARN (+72) UNCONSCIOUSNESS , coma; injury , after: ARN (+12) dd: CALEN WEeping , tearful mood; cough ; before: ARN (+8) dd: BELL BRY HEP WEeping , tearful mood; cough ; during: ARN (+33) dd: BELL HEP NAT-M HEAD CONGESTION , hyperemia; chill ; during: ARN (+26) dd: CHIN ARS CEDR MERC SEP M-arct M-aust CONGESTION , hyperemia; thirst , with: ARN (+3) dd: Mang Thuj bov HEAT ; chilliness; during: ARN (+25) dd: BELL BRY HEAT ; coldness, with; body , of: ARN (+42) INFLAMMATION ; meninges, meningitis; injuries, after: ARN (+5) dd: HEP HYPER NAT-S OP bell PAIN , headache; brain complaints, in: ARN (+25) dd: ACON PAIN , headache; injuries, after: ARN (+42) dd: ACON NAT-S	HEAD (cont.) PAIN , headache; injuries, after; concussion : ARN (+23) dd: ACON BELL CHIN CIC HYPER KALI-BR Hell PAIN , headache; injuries, after; fall, after a: ARN (+7) dd: CIC HYOS Thiosin hyper nat-s rhus-t sul-ac PAIN , headache; forehead; warmth; agg.: ARN (+15) dd: APIS PAIN , headache; burning, smarting; coldness of body, with: ARN (+1) dd: coff-t PAIN , headache; stitching; cough; during: ARN (+43) dd: BRY SABAD SULPH SWELLING ; children: ARN (+2) dd: RHUS-T Sil EYES CATARACT , opacity of lens; injuries, after: ARN (+17) dd: ACON CATARACT , opacity of lens; operations, after: ARN (+5) dd: ACON ALUMN SENEG STAPH rhus-t DUST ; agg.: ARN (+32) dd: ACON CALC HEP SIL STAPH SULPH HEMORRHAGE ; coughing agg.: ARN (+5) dd: HAM LED NUX-V carb-v cham HEMORRHAGE ; injuries, after: ARN (+5) dd: LED NUX-V bry erig sul-ac INFLAMMATION ; injuries, after: ARN (+28) dd: ACON CALC HEP SIL STAPH SULPH INFLAMMATION ; injuries, after; foreign bodies, from: ARN (+7) dd: ACON HEP SIL CALC PULS ham sulph INJECTED ; cough, during: ARN PAIN , ophthalmia; injuries, after: ARN (+6) dd: SYMPH BRY LED SULPH asar hyper PAIN , ophthalmia; injuries, after; obtuse body, infants fist, ball, etc.: ARN (+1) dd: SYMPH EARS INJURIES , after: ARN (+13) dd: CAPS CHIN-S TELL Arist-cl Lach Nat-m HEARING IMPAIRED , difficult; injuries or blows, after: ARN (+5) dd: CHIN-S TELL carb-v croc thiosin NOSE EPISTAXIS , hemorrhage; morning; agg.; blowing nose agg.: ARN (+34) dd: CHIN LACH AGAR BOV CAUST PULS
---	--

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven - Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort





各症状に対して、最大7つの代替療法が表示されます。

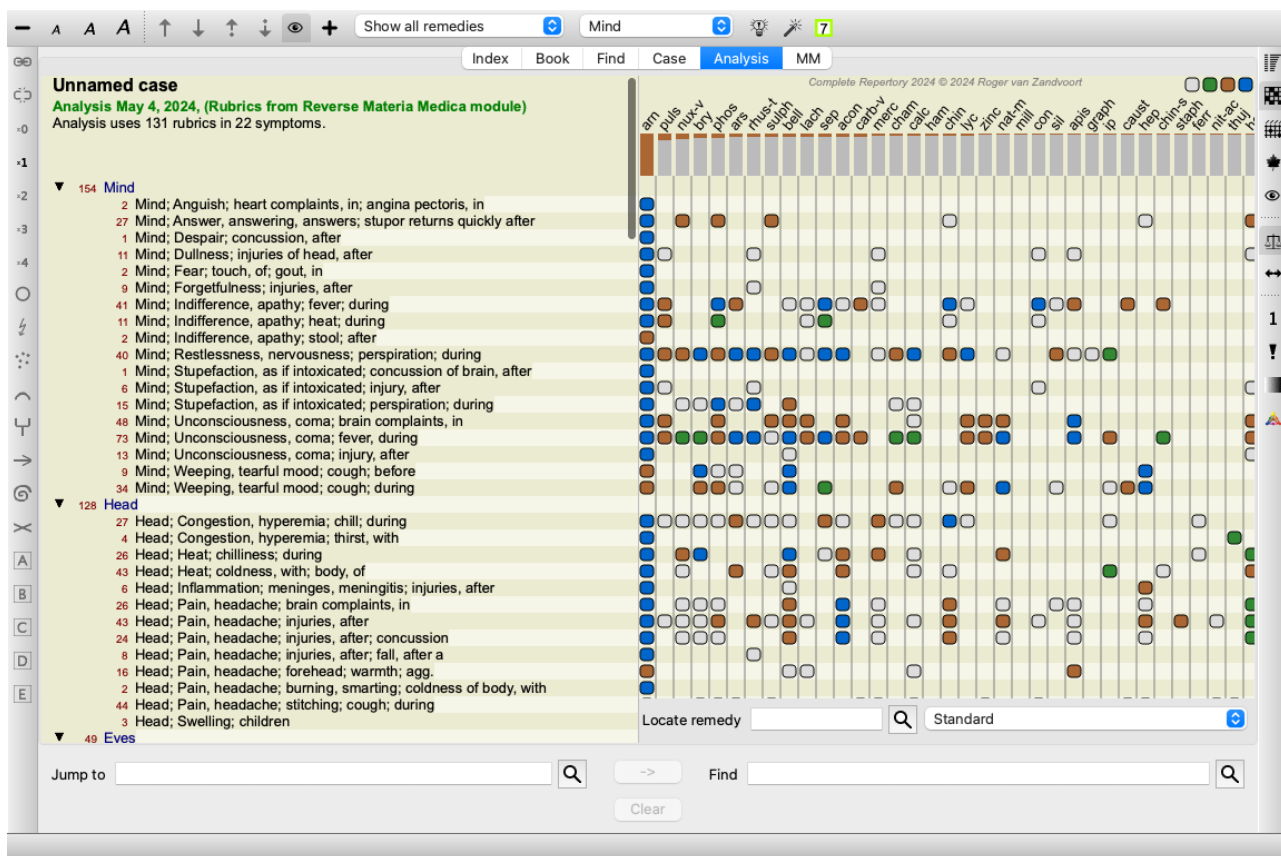
この例では、7つのレメデイが表示されることもあれば、もっと少ないこともあることがわかります。これは、あるグレードのレメデイーは、ALLが表示できる場合にのみ表示されるからです。

つまり、グレード4とグレード3のレメデイーが表示されている場合、そのループリックにはグレード4や3のレメデイーは存在しないが、表示されていないグレード2や1のレメデイーが存在する可能性があることを意味します。

レメデイーが全く表示されない場合は、ループリックに同じ重要度のレメデイーが8つ以上含まれているか、代替手段が全くないかのどちらかだと思われます。

詳細なループリックの概要

逆マテリアメデイカに表示されているすべてのルピの詳細を見るには、ボタンを押してください。(メニューオプション分析/表(将棋盤), ツールバーボタン)。これにより、すべてのループリックをレポートリーセクションごとに整理した表形式の分析表が一時的に作成されます。解析結果は、現在のケースに保存され、ケースを閉じると削除されます。

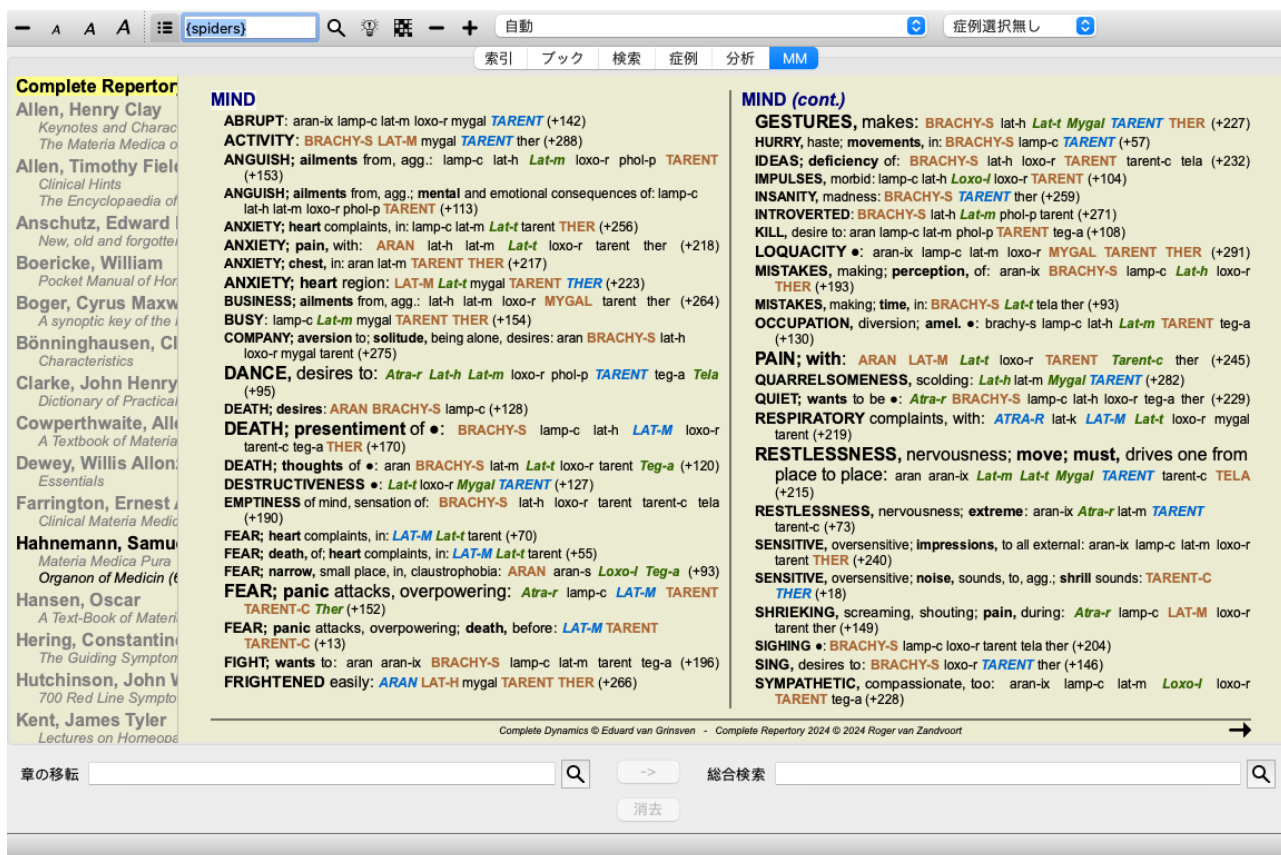


キングダム&ファミリーのための逆マテリアメデイカ

一つのレメデイの逆マテリアメデイカを作るだけでなく、ある王国やファミリーの最も重要なルビを検索することができます。

ファミリーを選択するには、{}の間に名前を入力します。入力する名前は、「王国と家族」の章にあるループリックの名前と一致する必要があります。名前を調べるには、Qボタンを押してから、ボタンGroups...を押してください。

次の例は、{spiders}の逆マテリアメデイカを表しています。



マテリアメデイカの追加

他のユーザーが作成したマテリアメデイカの本は、Complete Dynamics に簡単に追加することができます。マテリアメデイカの本は、ファイルに保存され、他のユーザーと共有することができます。新しいブックをインストールするには、ファイルを Documents フォルダの下にある Complete Dynamics というフォルダにコピーしてください。その後、Complete Dynamics を停止して再起動します。そうすると、新しい本が自動的にあなたの MM セクションに表示されるようになります。

新しいマテリアメデイカブックを作成するには、Master Edition のライセンスが必要です。

マテリアメデイカ早わかり

複数の書籍のマテリアメデイカのテキストを同時に素早く見ることができ、とても便利です。

Materia Medica quick view ウィンドウでは、よりコンパクトなマテリアメデイカ本のテキストを複数同時に表示します。(メニューオプション表示 / マテリアメデイカクイックビュー, ポップアップメニューオプションマテリアメデイカクイックビュー)。

Cyclamen Europaeum
700 Red Line Symptoms (Hutchinson)
1. - Flickering before the eyes, as of various colours, glittering needles, fiery specks and sparks.
Keynotes of the homeopathic Materia Medica (Lippe)
Sow Bread
Pressing, drawing and tearing pain, principally in the periosteum. Chilblains of the feet.
As long as he walks about he feels well with the exception of languor, but as soon as he sits down, especially in the evening, he suffers various inconveniences.
Thirstlessness.
Menses too profuse.
Bad effects from eating much fat food (pork).
Aggravation in the evening and while at rest.
Amelioration whilst walking.
Keynotes and Characteristics (Allen)
Sow Bread Primulaceae
Best suited for leucophlegmatic persons with anaemic or chlorotic conditions; easily fatigued, and in consequence not inclined to any kind of labor; feeble or suspended functions of organs or special senses. *Pale, chlorotic; deranged menses* (Ferr., Puls.), accompanied by vertigo, headache, dim vision. Pains; pressive, drawing or tearing of parts where bone lie near the surface. Ailments: from suppressed grief and terrors of conscience; from duty not done or bad act committed. Great sadness and peevishness, irritable, morose, ill-humored; inclined to weep; desire for solitude; *aversion to open air* (reverse of Puls.). Headache in anaemic patients, with flickering before eyes or dim vision, on rising in morning. Flickering before eyes, fiery sparks, as of various colors, glittering needles, dim vision of fog or smoke. Satiety after a few mouthfuls (Lyc.), food then

終了

このウィンドウは、あなたが明示的に閉じるまで開いたままになります。そうすることで、レメディーを素早く比較することができるようになります。Book,Find,Analysis モジュール内の任意のレメディー名をクリックするだけで、別のレメディーを選択することができます。

自分のマテリアメデイカを管理する

新規書籍の作成

新しいマテリアメデイカブックを作成することができます。(メニューオプションMM / 新しいMateria Medicaブックを作成する)。

最初に、新しいファイルの名前を入力するよう求められます。このファイルは、Documents フォルダの下にある Complete Dynamics フォルダに格納されています。意味のある名前にする。

次に、本の詳細を入力する画面が表示されます。

著者

姓

Feelgood

ファーストネーム

John

ミドルネーム

イニシャル

J.W.

著作権

著作権者名

著作権年

0

書籍情報

本のタイトル

The Materia Medica of demonstrations

短い名前

Feelgood demonstration

言語

英語

取り消す

同意

著者名は、ご存知のものをすべてご記入ください。姓は必須です。

書名が正式な書名です。

短い名前は、著者名やタイトルをフルに出さなくても、その本について素早く言及するための短いテキストです。この短縮名は、Find モジュールで、Materia Medica での検索結果を表示する際に使用される。

ブックを作成した後、この情報を修正する必要がある場合は、任意の救済のためのエディタを開き、詳細 ボタンをクリックします。

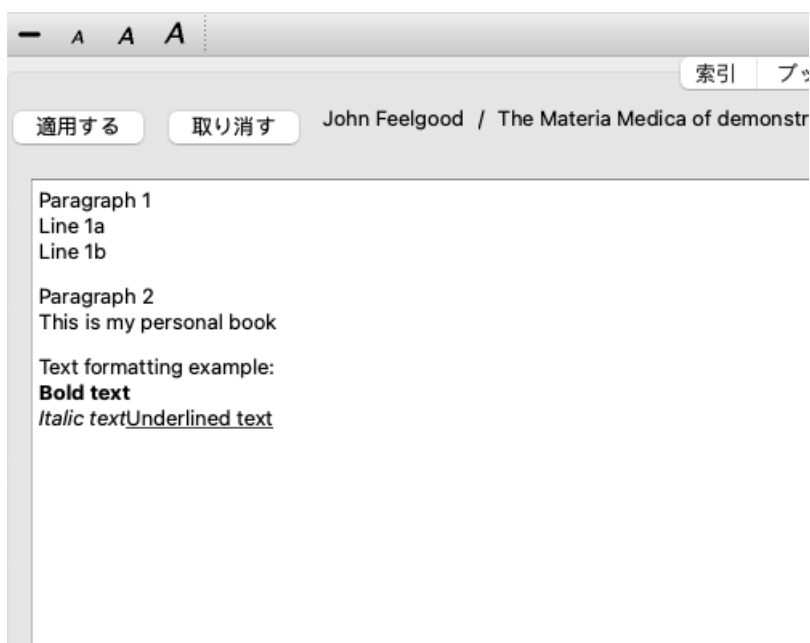
レメディー編集

レメディーを編集するには、まず正しい本と正しいレメディーを選択します。その後、エディタを開くことができます。(メニューオプションMM/ マテリア・メデイカの編集). メニューオプションが無効になっている場合は、本の所有者ではないため、編集はできません。

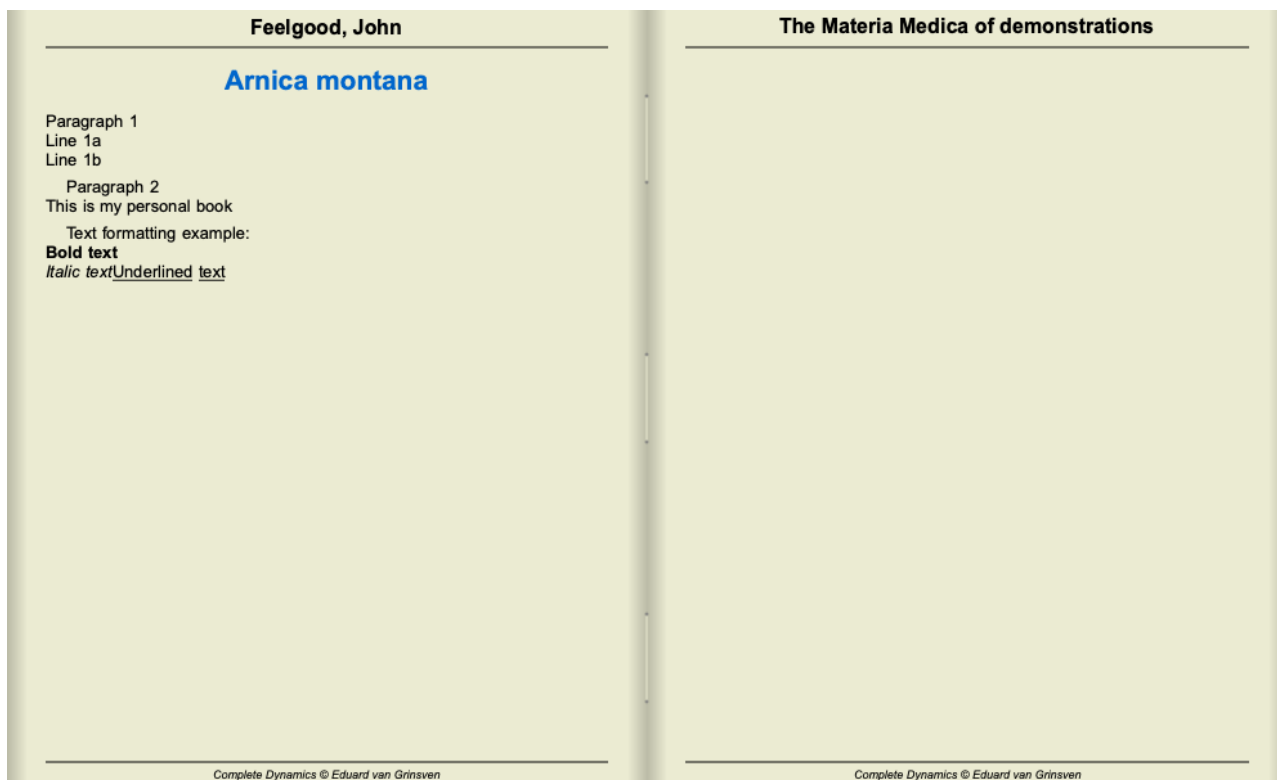
エディターは、テキストの書式設定のいくつかの要素をサポートしています。

- パラグラフ
- 改行する。
- 文字スタイル bold, italic, underline, superscript, subscript.

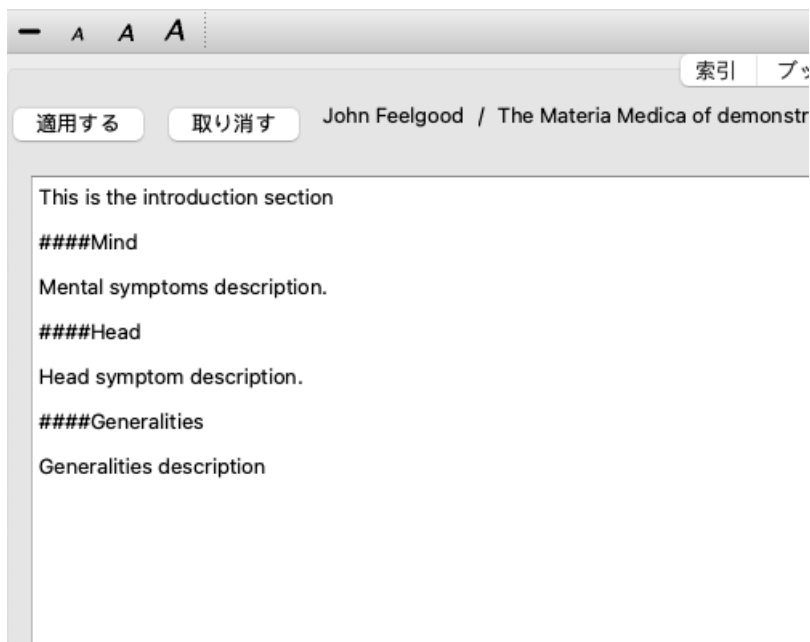
他のスタイルを使用した場合は無視されます。エディターで直接編集することも、コンピューターのクリップボードからテキストを貼り付けることも可能です。



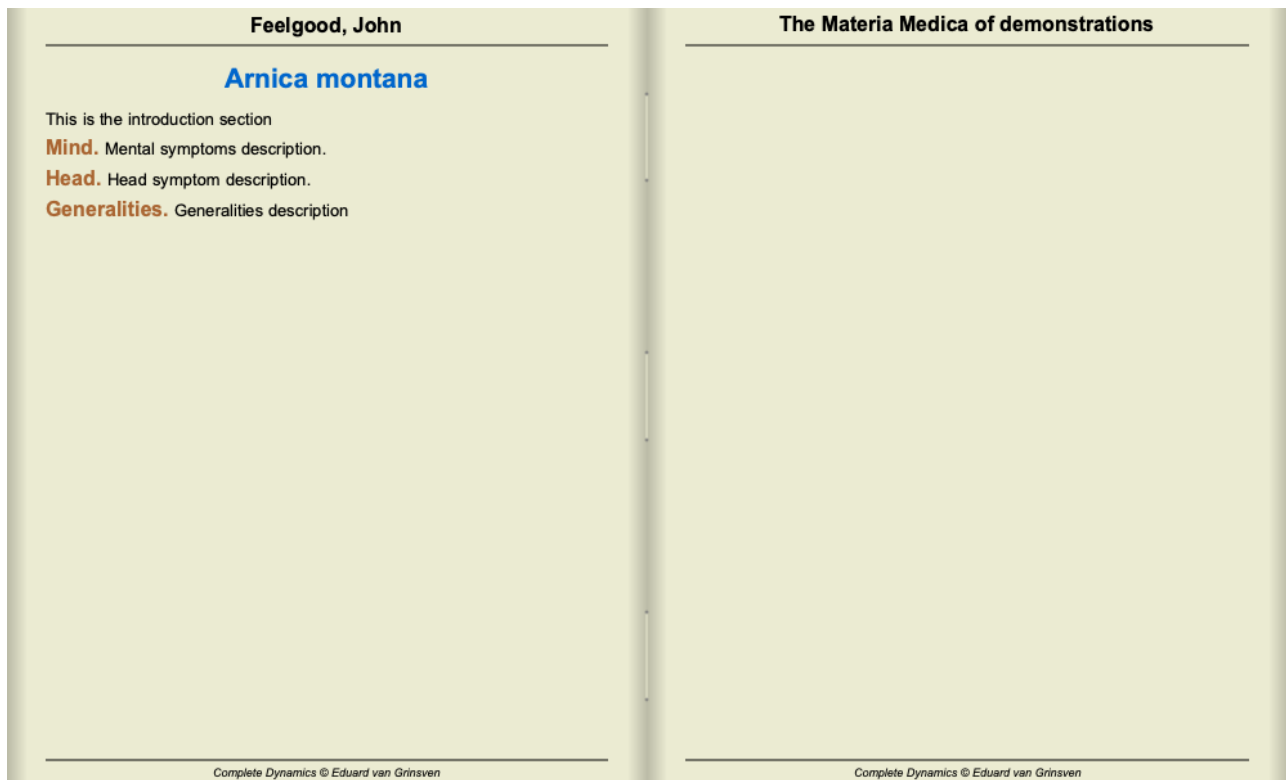
準備ができたなら、*Apply* ボタンをクリックすると、通常のブック表示に戻ります。



マテリアメデイカを個々のセクションにまとめるには、##で始まる行と、その後にラベルを追加します。



この例では、3つの個別のセクションを作成しています。



追加チャプターの作成

レメディーを個別に編集する以外に、レメディーから独立したチャプターを作成することもできます。チャプターを追加で作成するには、任意のレメディーのエディターを開き、*Chapters* ボタンをクリックします。ダイアログが表示され、チャプターを作成したり、順番を決めたりすることができます。

作成したチャプターはすべてインデックスに表示されます。(ポップアップメニューオプション[索引](#))

マテリアメデイカを他の人と共有する

マテリアメデイカの本を他の人と共有するために必要なのは、あなたが作成したファイルだけです。あなたのマテリアメデイカ本のファイルの拡張子は`.rep`です。

なお、他の人はあなたの本をさらに編集することはできません。編集は原著作者に限定されます。

救済情報

救済措置の詳細情報

例として、ループリック *Generalities; Food and drinks; apples; desires* を見てみましょう。

FOOD	GENER.
FOOD and drinks; apples (cont.)	
desires: adam Adon ALOE aml-n ANT-T	
ap-g arge-p Asaf bitl-at bro-s-g Cham	
cit-n cub dama-d fel GUAI Hafn helod-c	
kali-p lac-drom lsd lyss Manc menth	
merl meteo-a ory-c ozon phos polyst	
prun pyrus-c Ruta sabad sep stront-c	
SULPH tax TELL toxop-p Tritic-v vip	
• Food and drinks; cool things, like	
apples, desires (2)	
• Food and drinks; fruits; desires (235)	
• eleven thirty pm., on falling asleep:	
fel	

ループリックのレメディについて詳しく知りたい場合は、レメディ名の上にマウスを移動し、ウィンドウの左下にあるメッセージエリアを見るのが一番簡単な方法です。

REMEDYGRADE3]ant-t[/TAG_ERROR] の上にマウスを移動すると、メッセージが表示されます。

ant-t = Antimonium tartaricum (Allen, Bönninghausen, Lilienthal, Lippe)

Antimoniumが（印刷の仕方で）3級であることだけでなく、その完全名称が*Antimonium tartaricum*であり、前述の4人の著者がこの情報を寄せたために、このルビが振ってあることもわかりいただけたと思います。

詳細は、**ANT-T** をダブルクリックすると表示されます。

これにより、Remedy Informationウィンドウが表示されます。

ルブリック: GENERALITIES; FOOD and drinks; apples; desires.

レメディの略語: ant-t, レメディのグレード: 3. ルブリックの中のレメディの順位は42の内1です。
ホメオパシーで規格されたレメディの名前: Antimonium tartaricum.

関係のあるルブリックに存在する回数: 2, 平均グレード: 2.0.
(同様のループリック: 1, サブループリック: 1, 章: 1).

ライブラリーのソース・コード.

Allen T F	Encyclopedia of Pure Materia Medica, 1874.
Allen T F	Index of Encyclopedia, 1876.
Bönninghausen C M von	Systematisches alphabetisches Repertorium der antipsorischen und nicht-antipsorischen Arzneien with handwritten annotations, 1833.
Knerr C B	Repertory of Hering's Guiding Symptoms, 1896.
Lilienthal S	Homoeopathic Therapeutics, Jain. B. (New Dehli), 1907.
Lippe A von	Keynotes and Red line symptoms of Materia Medica, 1915.
Saine A	Materia Medica Pura Project, 2018.
Trinks C F & Müller C	Handbuch der homöopathischen Arzneimittellehre III, T.O. Weigel (Leipzig), 1847.

終了

関連するループリックでの使用頻度

関連ループリックとは、この救済措置のために閲覧しているループリックと何らかの関係があるループリックのことです。

この例では、これらのループリックは

一般論: 食べ物や飲み物; リンゴのような冷たいもの、欲望

一般論: 飲食物; リンゴ、欲望; 水、冷たいものを欲すること

これらのループリックには、*ant-t* も含まれています。

関連するループリックでの出現回数が多いほど、またその平均的な重みが高いほど、その改善策をより重要視することができます。

類似のループリック

類似ループリックとは、当該ループリックと類似しているが、より具体的な情報を持つループリックにおける救済措置の発生を示すものである。非常に特殊なループリックの場合、Similar Rubricの数値は0になることがほとんどですが、一般的なループリックであればあるほど、数値が高くなる可能性があります。一般に、ルビのSimilar Rubric数が多いほど、他のレパートリーの対応するルビにそのレメディが確認されることが多く、当該レメディがより一般的に重要になることを意味し

ます。

この例では、類似のループリックは*Generalities; Food and drinks; cool things, like apples, desires* で、これには*ant-t* (author *Allen*) も含まれています。

注: 同様に、ループリック*apples; desires* 自身は、Similar Rubric to *fruits; desires*. そのループリック*ant-t* では、Similar Rubricのカウントが2になっています。

注: 類似ループリックは、より詳細なループリックをカウントし、より一般的なループリックをカウントしない。より一般的なループリックにレメディが出現しても、当該ループリックにおけるレメディの重要性が増すわけではありません。

サブ・ルブリカル

関連ループリックが当該ループリックのサブループリックにあることを除けば、類似ループリックと変わりはない。一般的に、Sub Rubricの数が多いほど、より多くのソースから救済策を得たことを意味し、より重要であると考えられることができる。この例の場合、サブルビは「*water, with desire for cold*」です。

注: 上記ループリック *果物; 願望 ant-t* のサブループリックの頻度は3である。

セクション

関連するルビはレパートリーのどこにあってもかまいません。関連するルビがより多くの異なるセクション（章）にある場合、その救済措置はより重要であると考えられることができる。

情報源

レメディの出典をすべて列挙します。これには、少なくとも著者名、書籍や雑誌のタイトル、出版年が含まれます。

ジャンプ先フィールド

目的

ウィンドウの左下にある *Jump to* フィールドは、レパートリーの中から指定されたループリックに素早くジャンプするために使用します。

既知のループリックに素早くジャンプするために使用できます。

探しているものがわからない場合は、代わりに *Find* フィールドを使用します。 *Jump to* フィールドは、行きたい場所がわかっている場合に素早くナビゲートするのに役立ちます。

キーボードフォーカスの移動

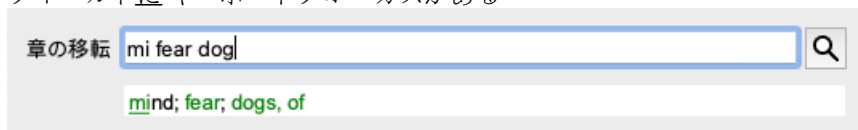
Jump to フィールドがキーボードストロークを受け付けるようにするには、まずそのフィールドを選択する必要があります。

Tabキーを1回または2回押すと、 *Jump to* のフィールドにフォーカスが移動します。(メニューオプション表示 / 章の空欄に移転, ⌘-J)。

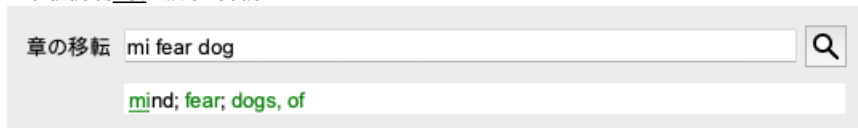
瞬時にブックに戻るには、Enterキーを押してください。

もちろん、マウスでフィールドをクリックすることも可能です。

フィールドに キーボードフォーカスがある



Field doesnot have focus



フィールドの使用

Jump to フィールドに、ジャンプしたいループリックの最初の文字を入力するだけです。ループリックのパーツはスペースで区切られています。

上記の例では、 *Mind; Fear, dogs of* というループリックにジャンプしています。

それぞれのループリックフラグメントを識別するために必要な最小限の文字数だけを入力します。この例では、 *m fe dog* と入力すれば十分である。

入力中は、 *Jump to* フィールドのすぐ下に表示される、解釈に関するフィードバックが提供されます。

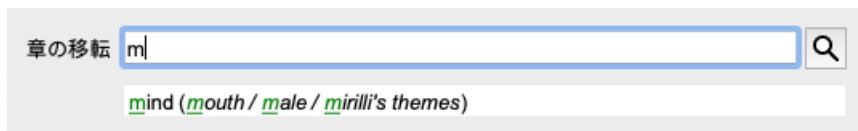
また、文字を入力すると、キーを押すたびに瞬時に新しいルビにジャンプします。

要するに、本にフォーカスが当たっているときは、Tabキーを押して、数文字入力してループリックに移動し、Enterキーを押して本にフォーカスを戻すだけでいいのです。少し練習すれば、このナビゲーションは非常に強力です。

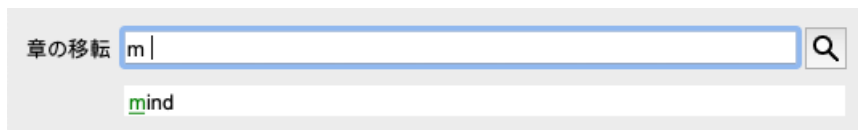
Mind; Fear; dogs, of というループリックを例にとつて、入力中に何が起こるか見てみましょう。

最初の *m* は、 *mind* と解釈されます。括弧内は、同じく *m* で始まる3つの選択肢です。

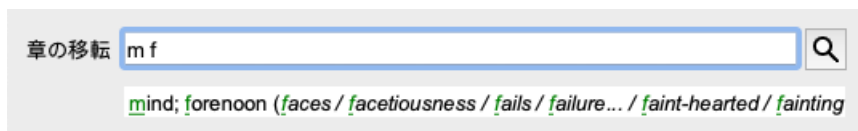
なお、正しいかもしれないと解釈された部分は、緑色で印刷されています (*m inmind, mouth, male, mirilli's themes*)。



スペースバーを押すと、この部分は完了します。 *Mind* は、4つの可能性のうち、確定した選択肢です。



これで、ループリック名の第2部がスタートしました。 *f* は *forenoon* と解釈され、最初の可能な選択肢となる。



forenoon, だから、もう一文字入力してください。今恐怖が選択され、かなりの選択肢が残っている。

単語の後に点がある場合（例： *fed...feeling...* ）は、ルビが本当はもっと長い（*fed, desires to be /feeling, loss of*）が、他の選択肢にスペースを空けるために余計な単語は省かれたことを意味します。

章の移転

mind; fear (fe arlessness / feces / fed... / feeling... / feigning / fever)

ここでも、スペースを押すことで、正しいことが確認できます。

章の移転

mind; fear

d led daytime only.

章の移転

mind; fear; daytime only (day... / delirium... / delirium... / delivery... / delusions.

do は、*doctors* に移動します。

章の移転

mind; fear; doctor, physician (dogs... / dominate... / dominated... / door / downv

そして、犬は、あなたが本当に欲しいものを与える。[/TAG_ERROR]この本は、心；恐怖；犬、のところで開かれている。

章の移転

mind; fear; dogs, of

Enterを押すだけで、目的の場所に移動できます。

注：[/TAG_ERROR]の犬は、全体が緑色で印刷されています。この文脈では、*dog*、この解釈しかありえないからだ。*mind* は、最初の*m*だけが緑色で印刷されています。これは、*m*で始まる選択肢もあるためです。*fear*は緑色の文字が2つ印刷されていますが、これは*fe*がユニークだからです。*feces, fed, feeling, feigning*などの代替案も*fe*で始まる。

失敗するのが人間

もちろん、あなたはすべてのレポトリ構成を暗記しているわけではないでしょう。誰もそんなことはしない。そのため、頻繁にミスをして、間違っただけを入力する可能性が高いです。

例えば、ループリック*Mind; delusions; lions*に行きたいと思います。


正しいルビは *actually Mind; delusion; cats, felines, sees; lions* であるため、このルビは存在しない。

だから、*m delu lion* と入力するのです。

章の移転

mind; delusions, imaginations; lion?

これで、*lion*、一致しないので赤で表示されていることがわかります。

ジャンプ先と検索先の間にあるボタン  を押して、検索に切り替えるだけなので、心配はありません。

これは、*Jump to* フィールドのテキストを *Find* フィールドにコピーして、すぐに検索を開始します。

Find モジュールは、探していたループリックを表示するようになりました。

MIND

DELUSIONS, imaginations; **cats**, felines, sees; **lions**: (2)

DELUSIONS, imaginations; **hand**, hands; **paw** of a lioness, change into: (1)

最初のルビをダブルクリックするだけで、意図した通りの場所に本が開きます。

ブックモジュール

Book モジュールでループリックを選択すると、*Jump to* のフィールドにそのループリックのショートテキストが自動的に入力されます。こうすることで、関連するループリックを簡単に見つけることができます。

例

ループリック *Mind; fear; dogs, of, attacking him, in delirium* を選択すると、*Jump to* のフィールドに自動的に入力されます *min fear dog att.*

ループリック *Generalities; food and drinks; cold; drinks, water; agg.* を選択すると、*Jump to* のフィールドに自動的に入力されます。 *gen foo cold dri agg.*

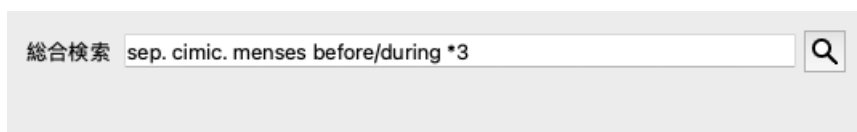
ループリック名の各パーツには、最低3文字が使用される。1～2枚で十分な場合もありますが、その場合は文字が非常に読みづらくなるはずです。

3文字では足りない場合、他のループリックと区別するために、より多くの文字が使われる。

フィールドを探す

パワフルで使い勝手の良い検索

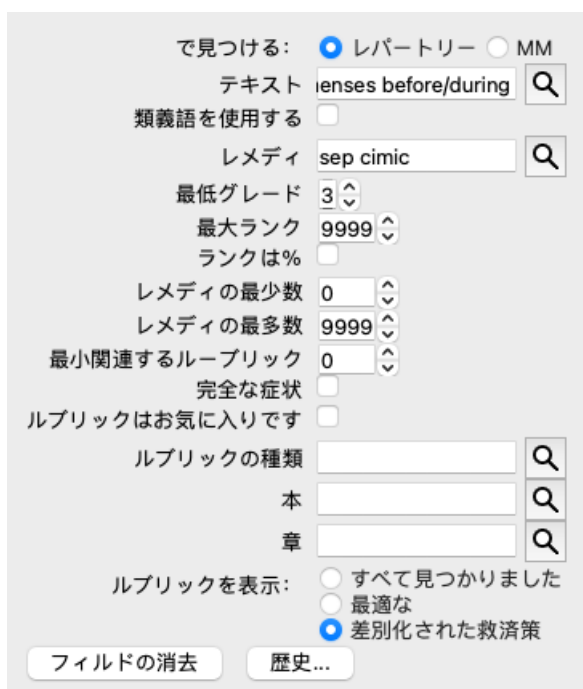
検索フィールドは、非常に効率的で強力かつ迅速な検索を可能にします。



このフィールドには、個々のフィールドに入力できるすべての検索条件を入力できます（「モジュールの検索」セクションを参照）。

しかし、検索フィールドを切り替えることなく、検索したい内容を入力・変更できるため、より効率的な検索が可能です。これは、とてもとても速いことです。

知っておいていただきたいことがいくつかあります。*Find* モジュールの各フィールドに検索条件を入力するたびに、正しくフォーマットされた文字列が *Find* フィールドに自動的に入力されるため、実際には非常に簡単です。これは双方向に作用します。検索フィールドに入力したものは、解釈されたとおりに個々のフィールドに表示されます。



Find フィールドが強力なのは、探しているものを好きな順番で入力できることです。そのため、ルビが多すぎる場合は、いくつかの用語を追加して入力すると、結果が少なくなります。また、以前に入力した基準を繰り返し入力することも可能で、最新の解釈が採用されます（評点、ルブリックサイズ）。

Find フィールドの使用と個々のフィールドを組み合わせることもできます。一方の拠点で変更した内容は、もう一方の拠点でも自動的に反映されます。

ルールは以下の通りです。

テキスト テキストフラグメントは、個々のテキストフィールドに入力したように、自動的にテキストとして解釈されます。

ここでは、/、+、-の使い方は同じです（*Find module* のセクションの例を参照ください）。

上記の例では、*menses* という単語と、*before* または *during* のどちらかを組み合わせて検索しています。

レメディー レメディーの略語はドットで終わらせる必要があります。

Remedies の欄は任意ですが、ここではテキストの断片とレメディーの略語の混乱を避けるため、ドットで終わらせる必要があります。（混同例: *sep* は、*sepia* と *separation* のどちらかの意味になります。）

ここでも / と + の使い方は同じです。例については、セクション *Find module* を参照してください。

上記の例では、*sepia* または *cimicifuga* のいずれかを検索対象としています。

注：それ自体が略語でないレメディー（*Apis* や *Bufo* など）も、最後にドット（*apis. bufo.*）を付ける必要があります。

グラデーション *1,*2,*3, または *4 を入力することにより、最小レメディー階調1~4を指定することができます。この表現は、次のように読み替えることができます。要求されたすべての(*)救済措置は、この等級以上である必要があります。

あるいは、*の付いていない1、2、3、4の数字も同様に最小救済階調と解釈する。つまり、4は、*4 と同じである。

ループリックサ最小および最大のループリックサイズは、>または<の前に数字を付けて指定することができます。
イズ <50は50回以下のレメディーを意味します。
>10は10回以上のレメディーを意味します。
または、5以上の数字で始まるものは、自動的に最大ループリックサイズと解釈される。つまり、50 は、
<50 と同じです。

事例紹介

上記の例を拡張して、最大50個の救済を含むループリックに制限してみましょう。
以下の条件の入力方法は、すべて同じ結果になります。

月経前/月経中 *3 <50
月経前/月経中 3 50
月経の前または中に分離する 3 <50 cemic.
50 月経前 / 月経中 / 半月期3
月経前/月経中 2 cemic.200 50 3

最後の例では、最初のグラデーションが2だったのが、後から3になっていたり、ループリックの最大サイズが200だったのが50になっていたりするのがわかりますね。これは例として分かりにくいかもしれませんが、検索中に検索結果を絞り込みたいときには、実はとても効率的な方法なのです。前に入力した基準を削除することなく、新しい基準を入力することができます。

ヒントテキスト検索では、「=」、「*」、「"」という特殊な表記も使用することをお忘れなく。
=dog will finddog, but notdogmatic.
*ation will findpalpitation as well asperspiration andovulation.
"he is" は、順番が同じなら、he とis だけが見つかります。

プリファレンス設定

プログラムのいくつかのオプションは、個人の好みに応じて設定することができます。これらのオプションは、メニューオプション *Preferences* で変更できます。(メニューオプション全般 / 環境設定).
いくつかのセクションからなるダイアログが表示されます。

一般設定



プログラム言語 ここでは、いくつかの言語オプションが用意されており、そこから選択することができます。
使用できる言語は、Complete Dynamicsのバージョンによって異なります。

アニメーション Complete Dynamicsの一部では、ケースを開いたり閉じたりする際などにアニメーションが使用されています。
これは見た目はいいのですが、仕上がりに時間がかかるんです。これらのアニメーションが不要な場合は、このオプションのチェックを外してください。

標準フォント名 ここで、プログラムで使用するお好みのフォントを選択することができます。

ケントのレパートリーを含む *Kent's Repertory, 6th edition* を別のレパートリーとして利用したい場合は、このオプションにチェックを入れてください。

Kent's Repertory の内容はすべて *Complete Repertory* にすでに収録されています。しかし、人によっては、他の資料からすべての追加をせずに、*Kent* に相談することを好む人もいます。
このオプションにチェックを入れると、*Kent* が *Index* モジュールで利用できるようになります。

図書の設定



- レポートリー言語** レポートリーに使用する言語です。
2つ目のオプションは、ルブリックテキストの後に表示される第二言語です。第二言語は、レポートリー翻訳を購入した場合のみ利用可能です。
- 横スクロール** このオプションにチェックを入れると、横スクロールの機能が有効になります。
この機能は、マウスやトラックパッドが水平方向のスクロールに対応している場合にのみ使用できます。
- ルブリックサイズを表示する** チェックした場合、Bookモジュールは常にルブリックの救済措置の数を表示します。チェックしない場合は、レメデイが表示されていないときのみ、番号が表示されます。
- アルファベット順のルブリック** チェックした場合、Bookモジュールは常にアルファベット順でルブリックを表示します。チェックを入れない場合は、ケントが紹介した標準的なレポートリー順となります。
- レポートリーフィルター** ここで、自分だけのレポートリーフィルターを定義することができます。
詳しくは、[フィルタリング/Bookモジュールのカスタムフィルタ](#)をご覧ください。

設定の検索

自動レイアウト このオプションをオンにすると、画面に十分なスペースがある場合、検索結果が自動的に複数列で描画されます。
 チェックを入れないと、すべてのループリックが一行に描画されます。

ケース設定

最近の事例では最大日数 Caseモジュールは、患者リストを最近の症例のみでフィルタリングすることができます。このオプションでは、このフィルタの日数を選択することができます。

ケースの自動ロックまで患者情報を保護するためにパスワードを設定した場合、このオプションは、Caseモジュールが自動的にロックされるまでの時間を設定します。

ここに0を入力すると、自動ロックは行われません。

アーカイブされたケース アーカイブされたケースを永久に削除するまでの時間を選択します。

を自動的に削除 Never を選択した場合、アーカイブされたケースは自動的に削除されません。

クラウドサーバーの利用 クラウドサーバーにケースのコピーを保存します。

解析設定

レメディ カラーリングHFA このオプションをチェックすると、Grant Bentleyの顔分析手法に従ったカラーレメディが分析できるようになります。Analysisモジュールでは、新しいツールバーボタン (🎨) が表示され、色付けのオン/オフを切り替えられるようになりました。
このオプションの使用は、このメソッドのコースを成功裏に完了した場合にのみ有効です。

関連するループリックの重みを表示する Analysis モジュールでは、ループリックと救済措置の関係が結果の表グラフで示される。重み付けが0になっている症状やループリックは、実際には解析結果に寄与していません。
このオプションをチェックすると、分析結果に寄与しないループリックの救済は、結果表のグラフから除外されます。こうすることで、ループリックが分析結果にどのように寄与しているかが、よりわかりやすくなります。

解析式 Analysisモジュールでは、いくつかの分析式を使用することができます。
これらのうち、どの数式をどの順番で表示するかを選択することができます。
分析の表示順を変更するには、分析名をクリックして選択します。BUTTON:up]、↓のボタンで、リストの上下に移動させることができます。
分析を含めるか除外するかは、in を選択してから、チェックボックスShow analysis をクリックします。

また、自分の好みに合わせて分析式を作成することも可能です。
これについては、「Analysis module / Formulas」で詳しく説明しています。

マテリアメデイカ設定

□

言語 マテリアメデイカの言語が複数用意されています。

デフォルトでは、コンピュータの言語と国の設定、およびライセンスオプションに従って、言語が表示されます。

Materia Medica モジュールで表示する書籍の言語を選択することができます。

言語

Complete Repertory やくしよしごと

Complete Repertoryは様々な言語に翻訳されています。新しい翻訳が定期的に追加されます。

Complete Dynamicsは、標準言語として英語を搭載しています。

他の言語でのレパートリー閲覧や、2言語での同時閲覧も可能です。

Find 機能は、英語で正しい単語がわからない場合、母国語でルビを検索することも可能です。追加言語を使用するには、ライセンスキーの購入が必要です。

現在、以下の言語に対応しています。

- ☐ イングリッシュ これが標準語です。
- ☐ ジャーマン
- ☐ オランダ語
- ☐ フレンチ
- ☐ スペニッシュ
- ☐ ポルトガル語
- ☐ イタリアン
- ☐ ハンガリー語
- ☐ ルーマニア語
- ☐ ブルガリア語
- ☐ ロシア語
- ☐ ヒンディー語
- ☐ やまと

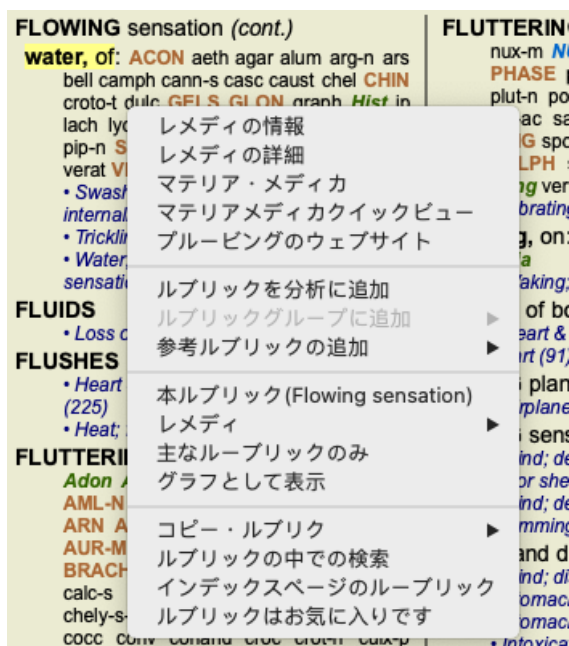
ライセンスキーの購入は、弊社ホームページの「*Menu / Help / Buy extra language*」から行ってください。

翻訳者があなたのために行った作業に対する報酬を支払うために、追加の言語に対して少額の手数料を支払う必要があります。

ホメオパシーレメディーを購入する

このプログラムでは、ホメオパシーのレメディーをオンライン薬局に直接注文することができます。
薬局が利用できるかどうかは、地域や国際的な規制によって、国ごとに異なる場合があります。この可否は、プログラム起動時に決定される。

レメディーを注文するには、Book または Analysis モジュールのレメディー名でポップアップメニューを開き、 オプションレメディーを薬局で購入する を選択します。(ポップアップメニューオプション薬局から薬を購入する).



このオプションがない場合、あなたの国では薬局はサポートされていません。

選択後、自動的に利用可能なオンライン薬局が表示されます。

なお、Complete Dynamics は薬局から独立しています。お客さまへのサービスとして、薬局へのダイレクトアクセスを提供しています。

キーボードショートカット

モジュール選択

command I インデックスモジュール
command B ブックモジュール
command S モジュールの検索
command D ケースモジュール
command R 解析モジュール
command M マテリアメデイカモジュール
command J ジャンプする
command F 探す
command Y フィールドの表示/非表示 ジャンプと検索
F1 ドキュメンテーション

ブックモジュール

	→	次ページへ
	←	前のページに戻る
shift	→	次の章へ
shift	←	前の章へ
	↓	次のループリックに進む
	↑	前のループリックへ
shift	↓	次のメインループリックへ
shift	↑	前のメインのループリックへ
control	↓	同じレベルの次のループリックに進む
control	↑	同じレベルの前のループリックに移動する
control	←	参照先をたどると、前のループリックにジャンプします。
control	→	前方ジャンプ (後方ジャンプの反対)
	スペース	レメディーの表示 / 非表示
	1	全レメディーグレード
	2	レメディーグレード2-3-4
	3	レメディーグレード3-4
	4	レメディーグレード4
command G		グラフ/テキスト ループリック表示

レポートリーチャプター

shift-command A 腹部
shift-command B 背面
shift-command C クリニカル
shift-command E 四肢
shift-command F 女性
shift-command G 一般事項
shift-command H ヘッド
shift-command L 喉頭・気管
shift-command M 心
shift-command P 発汗
shift-command R 呼吸
shift-command S 肌
shift-command T のど
shift-command U 尿道
shift-command V めまい
shift-command X 解剖学的インデックス

ケース

control N 新しいケース
control O 選択したケースを開く

control C ケースを閉じて、別のケースを選択する
control E 選択した案件の情報を編集する
control A 解析の追加
control T テンプレートを利用した解析の追加
control D 重複選択解析
control S 症状追加
control R 分析に選択したレパトリのループリックを追加
control V ループリックの概要を分析で示す
control X 処方箋の追加
command P プリント

分析

command C 選択した行をコピーする
command V コピーした行を貼り付ける
shift ↑ 選択した行を上に移動
shift ↓ 選択した行を下に移動する
1 選択行の重みを1に設定する
2 選択行の重みを2に設定
3 選択行の重みを3に設定
4 選択行のウェイトを4に設定
0 選択した行を解析に含めない
← 症状のルビを隠す（閉じる）
→ 症状のループリックを表示する（公開）
command 1 ① 1
command 2 ② 2
Etcetera...

マテリアメデイカ

→ 次ページへ
← 前のページに戻る
shift → 次の章へ
shift ← 前の章へ

フィードバック

皆様のご協力とご意見をお聞かせください。

Complete Dynamicsの制作者は、最高の品質と操作性、そして商用版としての適度な価格設定を実現することに全力を注いでいます。

品質面では、ソフトウェア開発において、ゼロ・フォールト・トレランスのアプローチをとっています。プログラムの不具合は絶対に許されないので、発見された場合は最優先で解決します。

ユーザビリティは非常に個人的な問題なので、より複雑な問題です。私たちと専門の評価者グループは、お客様の声を常に評価しながら、最高の使い勝手を追求しています。

お客様のご協力により、Complete Dynamicsは常に向上し続けることができます。

フィードバックの方法

インターネットに接続されたパソコンであれば、簡単にフィードバックが可能です。

メニューを開き、オプション *General Feedback* または *Report problem* を選択するだけです。(メニューオプションヘルプ/ このソフトウェアについて、ご意見をおしえてください。、メニューオプションヘルプ/ 経験なされた問題について、報告してください。).

あなたの「ホメオパシー・コンピューター」が直接インターネットに接続できない場合は、support@completedynamics.com までメールを送ってください。